

2025 한일문화미래컨퍼런스

문화예술로 지역을 연결하다

국제심포지움

韓日文化未来コンファレンス

文化芸術で地域をつなぐ

国際シンポジウム



Program

국제심포지움

2025 한일문화미래컨퍼런스
문화예술로 지역을 연결하다

国際シンポジウム

2025 韓日文化未来カンファレンス
文化芸術で地域をつなぐ

구분		내용	참가자 및 발제자
11:00 ~ 11:05	'5	행사안내	
11:05 ~ 11:15	'10	축하공연	
11:15 ~ 11:20	'5	개회사(영상)	 오재환 부산문화재단 대표이사
11:20 ~ 11:35	'15	축사	 마치다 카즈토 등 조선통신사연지연락협의회 이사장
11:35 ~ 11:50	'15	개회 세레머니 및 사진촬영	주요내빈
13:30 ~ 14:00	'30	기조강연 예술은 지역을 어떻게 변화시키나	 기타가와 후라무 세토우치 국제예술제 종합 디렉터
세션1 예술, 변화를 심는 시간 : 문화예술 활동으로 나타난 변화와 지속성			
14:00 ~ 14:30	'30	발제1 사회참여예술의 관점에서 본 문화예술을 통한 사회 변화	 조정운 부산문화재단 문화시민본부장
14:30 ~ 15:15	'30	발제2, 3 예술이 도시를 움직일 때	 노다 쿠니히로 요코하마시립대학 대학원 도시사회문화연구과 객원교수
	'15		 호소부치 타마키 뱅크아트1929 대표
15:15 ~ 15:30	'15	휴식	
세션2 지역을 연결하는 예술의 언어: 예술을 매개로 지역 간, 세대 간, 문화 간 관계가 연결된 사례			
15:30 ~ 16:00	'30	발제4 예술로 구축하는 신뢰	 요시모토 미츠히로 합동회사 문화커먼즈연구소 대표·연구총괄
16:00 ~ 16:45	'15	발제5, 6 세계가 기억하는 평화와 연대	 한경구 전 유네스코한국위원회 사무총장
			 홍순재 / 강원춘 국립해양유산연구소 학예연구사
16:45 ~ 17:45	'60	종합토론 및 질의응답	발제자 전원
17:45 ~ 18:00	'15	휴식	
18:00 ~ 19:00	'60	예술인 토크콘서트 <영혼이 오가는 길>	참여자 ①  이은혜(활동명: 노만 / 시각예술가) ②  후루카와 미카(미술연구자)
19:00 ~ 21:00	'120	리셉션(뱅퀵)	참여자 전원
21:00 ~		클로징	

Program

국제심포지움

2025 한일문화미래컨퍼런스
문화예술로 지역을 연결하다

국제심포지움

2025 韓日文化未来カンファレンス
文化芸術で地域をつなぐ

区分		内容	参加者 および 発題者
11:00 ~ 11:05	'5	行事案内	
11:05 ~ 11:15	'10	祝賀公演	
11:15 ~ 11:20	'5	開会の辞(映像)	<div><div></div>オ・ジェファン 釜山文化財団 代表理事</div>
11:20 ~ 11:35	'15	祝辞	<div><div></div>町田一仁 など 朝鮮通信使 縁地連絡協議会 理事長</div>
11:35 ~ 11:50	'15	開会セレモニーおよび写真撮影	主要関係者
13:30 ~ 14:00	'30	基調演説 芸術は地域をどのように変化させるか	<div><div></div>北川フラム 瀬戸内国際芸術祭総合ディレクター</div>
セッション1 芸術、変化を植える時間 : 「文化芸術活動による変化と持続性」			
14:00 ~ 14:30	'30	発題1 社会的関与型アートの枠組みにおける、 韓国と日本の文化的・芸術的実践と社会変革の 推進力	<div><div></div>ジョ・ジョンユン 釜山文化財団 文化市民本部長</div>
14:30 ~ 15:15	'30	発題2, 3 芸術が都市を動かす時	<div><div></div>野田邦弘 横浜市立大学大学院 都市社会文化研究科 客員教授</div>
	'15		<div><div></div>細淵太麻紀 BankART1929 代表</div>
15:15 ~ 15:30	'15	休憩	
セッション2 地域を繋ぐ芸術の言語 : 「芸術を媒介に地域間、世代間、文化間関係が繋いだ事例」			
15:30 ~ 16:00	'30	発題4 芸術を通じて築く信頼	<div><div></div>吉本 光宏 合同会社文化commons研究所代表・研究統括</div>
16:00 ~ 16:45	'15	発題5, 6 世界が記憶する平和と連帯	<div><div></div>ハン・キョング 前ユネスコ韓国委員会事務総長</div> <div><div></div>ホン・スンジェ / カン・ウォンチュン 国立海洋遺産研究所 学芸研究士</div>
16:45 ~ 17:45	'60	総合討論及び質疑応答	パネリスト全員
17:45 ~ 18:00	'15	休憩	
18:00 ~ 19:00	'60	芸術家によるトークイベント <魂の行き来する道筋>	参加者 ① <div><div></div>イ・ウンヘ (活動名: ロ・マン / 視覚芸術家)</div> <div>② <div><div></div>古川美佳 (美術研究者)</div></div>
19:00 ~ 21:00	'120	レセプション(バンケット)	参加者 全員
21:00 ~		クロージング	

• 기조강연 基調講演

BUSAN CULTURAL FOUNDATION

예술은 지역을 어떻게 변화시키는가 基調演説 芸術は地域をどのように変化させるか

기타가와 후라무 (세토우치 국제예술제 종합디렉터)

北川フラム (瀬戸内国際芸術祭総合ディレクター)



Profile

세토우치 국제예술제 종합디렉터
瀬戸内国際芸術祭総合ディレクター

아트 디렉터 및 아트프린트 갤러리 대표
アートディレクター。アートフロントギャラリー代表



Ministry of Culture, Sports and Tourism



부산문화재단
BUSAN CULTURAL FOUNDATION

협력協力: BankART 1929

文化芸術で地域をつなぐ
「韓日文化未来コンファレンス」

2025/9/26
北川フラム

韓国とのかかわり

1973年 東京藝術大学在学中に、水野敬三郎（仏教美術史）らによる韓国古美術研修旅行に参加
軍政下の韓国の「国展」や日本の植民地下の略奪美術品について仲間と調査

1998年 世界人権宣言 50 周年記念川崎市文化事業「いのちの響き〜アートの祝祭」参加。

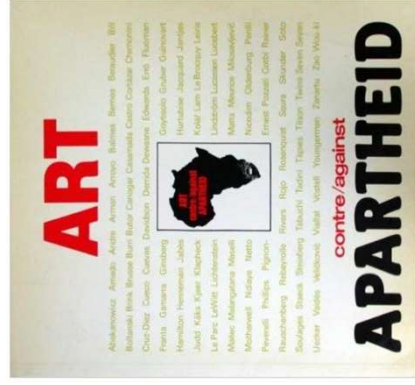
■日本軍慰安婦や光州抗争を描いた富山妙子・洪成潭展「FROM THE ASIANS'5 月光州から世界へ」光州市で開催された富山妙子展の開催を手伝う



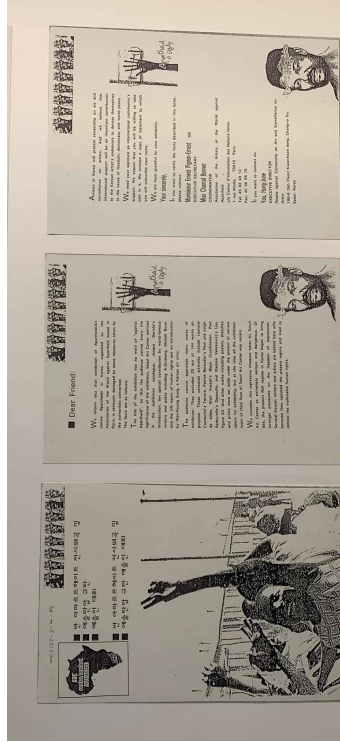
■かわさき市民アカデミー連続講座「東アジアの芸術文化を考える」を企画
講師：水野敬三郎（仏教美術史）
南永昌（朝鮮美術品略奪問題） 他

■「革命の芸術が減じた時代に芸術家は何かを考えるか」開催
パネリスト：富山妙子、作曲家・高橋悠治、作家・島田雅彦、編集者・太田昌国
コーディネーター：北川フラム

1991年 ユネスコを中心に組織された「アパルトヘイト否！国際美術展」
@ ソウル 芸術殿堂での開催をコーディネート



「Art against Apartheid」は、検閲により、いくつかの作品がソウル展から撤去され、デリダの著作も力タログから削除されたことが、パレスチナとレバノンのキュレーターによる「Past Disquiet」（世界中のアーティストたちの連帯によって生み出された展覧会のアーカイブ展）で明らかにになる。
政府による検閲に抗議し、連帯を呼びかける韓国のアーティストたちからの手紙。

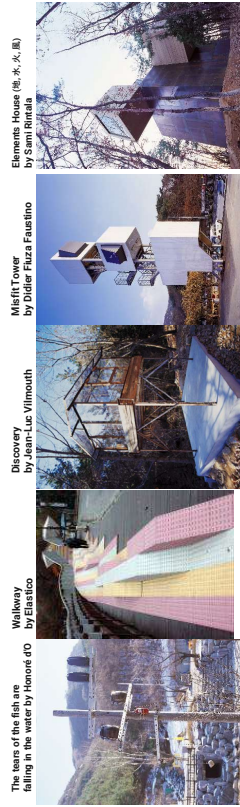


2005年 第1回「安養パブリックアートプロジェクト」ディレクター
第3回「ヨーロッパ・アジア・パシフィック建築の新潮流」安養展をコーディネート



安養パブリックアート(APAP)のオープニングセレモニーには1000人以上が集まった。「建築の新潮流」はAPAPの一環として開催された。開会のあいさつをする安養市長。

開會会場となった安養文化芸術センター。展示計画はAPAPディレクター、リー・ヨン Chol 氏による。



The tears of the fish are falling in the water by Honore d'O

Walkway by Elastico

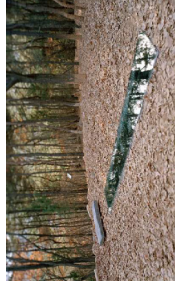
Discovery by Jean-Luc Vilmouth

Misfit Tower by Didier Fluzi Faustino

Elements House (樹・水・火・風) by Sami Rimala



Okwu Mue: Suet for Ala, by Olu Ogube



Door to Nirvana by Myung Sap Hong



Linear Building up in the Trees by Aconcel Studio (Vito Aconcel)

2009年大地の芸術祭にて開催

「アジアを抱いてー富山妙子の全仕事展 1950～2009

戦後から今日まで応対問題、戦争責任、第三世界などをテーマに制作してきた作家の60年にわたる画業を一挙に振り返る回顧展。



Team BankArt Setouchi | 『続・朝鮮通信使プロジェクト』 瀬戸内国際芸術祭2010



続・朝鮮通信史 プロジェクト Team BankART Tongshinsa 瀬戸内国際芸術祭2016



シンポジウム「日韓交流の新しい可能性part2～朝鮮通信使を起点に～」@十日町 2015年8月



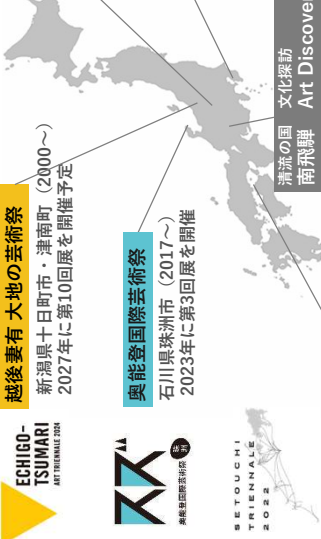
パネラー
チャ・ジェグン
(京義文化財団 文化芸術本部 本部長)
仲尾 宏
(京都造形芸術大学 客員教授)
三宅 理一
(慶女子大学 副学長)
池田 修
(BankART 1929 代表)
北川 フラム
(大地の芸術祭 総合ディレクター)

「地域を基盤とした公共美術プロジェクト」講演 2016年12月 @甘川文化村コミュニティセンター

パネラー：ベク・ヨンジュン（東明大学）ク・ボンホ（TLギャラリー）シン・ヨンファ（アートファクトリーB）



私たちが取り組んでいる芸術祭



ECHIGO-TSUMAMARI ART TRIENNALE 2024
越後妻有 大地の芸術祭
新潟県十日町市・津南町 (2000〜)
2027年に第10回展を開催予定

北アルプス国際芸術祭
長野県大町市 (2017〜)
2024年に第3回展を開催

奥能登国際芸術祭
石川県珠洲市 (2017〜)
2023年に第3回展を開催

いちはらアート×ミックス (2014〜)
千葉県市原市・木更津市・船橋市・浦安市・富津市
2024年初開催

百年後芸術祭〜環境と欲望〜
内房総アートフェス
千葉県市原市・木更津市・船橋市・浦安市・富津市
2024年初開催

Art Discovery
清流の国 文化探訪
南飛騨 岐阜県下呂市 2024年初開催

瀬戸内国際芸術祭
香川県・岡山県の12の島と2つの港・10市町 (2010〜)
第6回展を開催中

Art Discovery
新潟県津南町 2024年初開催

ECHIGO-TSUMAMARI ART FIELD

越後妻有 大地の芸術祭



2024.7.13-14.10

2024.11.3-SAT-3.10.SUN

■ 開催地域：新潟県越後妻有地域
(十日町市、津南町) = 総面積760km²

■ 2000年から3年毎に開催 (2024年で9回目)

大地の9th 芸術祭

越後妻有 大地の9th 芸術祭

ECHIGO-TSUMAMARI ART FIELD

大地の芸術祭 10の思想

アートは地域を発見する —地元が地域に誇りをもつ

人間は自然に内包される

他者の土地にもものをつくる

あるものを活かし新しい価値をつくる —死者の声、他者の声をきく

アートを道しるべに里山をめぐる旅

地域・世代・ジャンルを超えた協働

公共事業のアート化

ユニークな拠点施設

生活芸術

世界各地と繋がる

ECHIGO-
TSUMARI
ART FIELD

アートは地域を発見する
—地元が地域に誇りをもつ

内海昭子(日本)
「たくさんの失われた窓のために」(2006)



ECHIGO-
TSUMARI
ART FIELD

人間は自然に内包される

磯辺行久(日本)
「川はどこへいった」(2000)



ECHIGO-
TSUMARI
ART FIELD

他者の土地にものをつくる

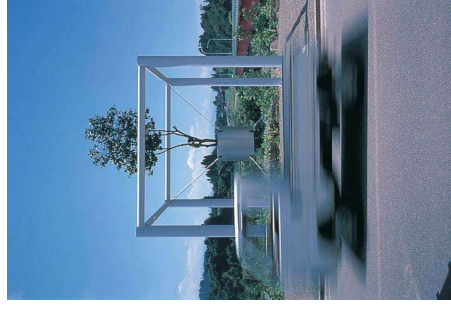
イリヤ&エミリア・カバコフ(旧ソ連/アメリカ)
「棚田」2000



ECHIGO-
TSUMARI
ART FIELD

他者の土地にものをつくる


ホン・スン・ド (韓国)
「妻有で育つ木」(2000年)



ECHIGO-TSUMARI
ART FIELD

他者の土地にもものをつくる


ク・ジュンガ (韓国)
「バンドラスホープ (B.L.に捧ぐ)」 (2000年)



ECHIGO-TSUMARI
ART FIELD

他者の土地にもものをつくる

キム・ク・ハハン (韓国)
「かささぎたちの家」 (2003年)



ECHIGO-TSUMARI
ART FIELD

他者の土地にもものをつくる

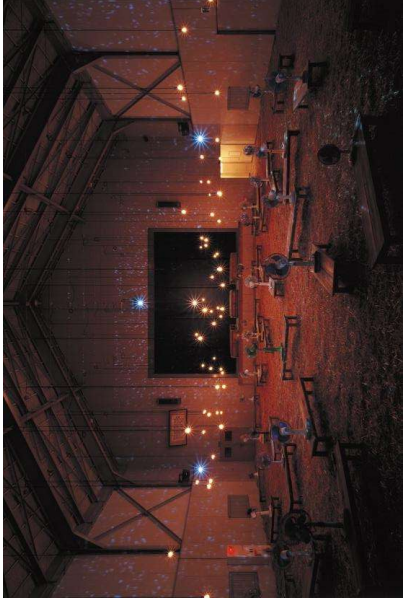
イ・ジェヒョ (李在孝)
「0121-1110=109071」 (2009年)



ECHIGO-TSUMARI
ART FIELD

あるものを活かし新しい価値をつくる
—死者の声、他者の声を聞く—

クリスチャン・ポルダンスキーマン・カルマン (フランス)
「最後の教室」 (2006)



ECHIGO-TSUMARI
ART FIELD

あるものを活かし新しい価値をつくる
—死者の声、他者の声を聞く

鎌田昌征三(日本)
「絵本と木の葉の美術館」
(2009,2022)



ECHIGO-TSUMARI
ART FIELD

あるものを活かし新しい価値をつくる
—死者の声、他者の声を聞く

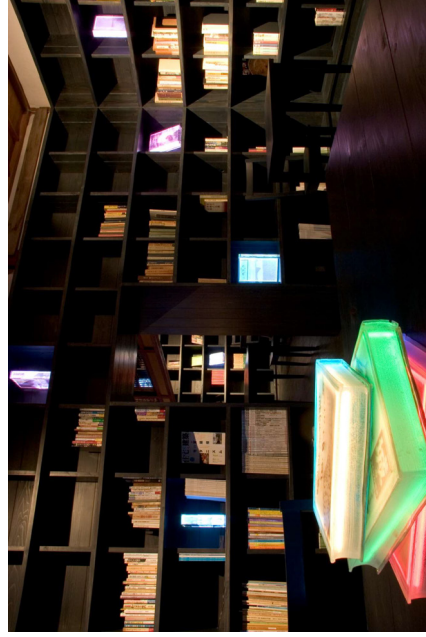
イ・ブル(韓国)
「ドクターズ・ハウス」(2015)



ECHIGO-TSUMARI
ART FIELD

あるものを活かし新しい価値をつくる
—死者の声、他者の声を聞く

カン・アイルン (韓国)
「天の光、知の光—II」(2009年)



ECHIGO-TSUMARI
ART FIELD

あるものを活かし新しい価値をつくる

イー・スンギョン(韓国)
「最もよい彫刻」(2006年 ※公開終了)



ECHIGO-
TSUMARI
ART FIELD

アートを道しるべに里山をめぐる旅

マ・ヤンソン/MADアーキテクツ(中国)
「Tunnel of Light」(2018)
Photo by Osamu Nakamura



ECHIGO-
TSUMARI
ART FIELD

地域・世代・ジャンルを超えた協働

ナウイン・ラウンチャイクン+
ナウインプロダクション(タイ/日本)
「新書の学室」(2015,2022)



ECHIGO-
TSUMARI
ART FIELD

公共事業のアート化

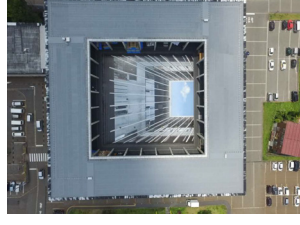
カサグラランデ&リンター建築事務所(フィンランド)
「ボチ ヨムキン」(2003)



ECHIGO-
TSUMARI
ART FIELD

ユニークな拠点施設

越後妻有里山現代美術館 MoriET (モネ)
設計= 原広司+アトリエ・ファイ建築研究所
(日本)

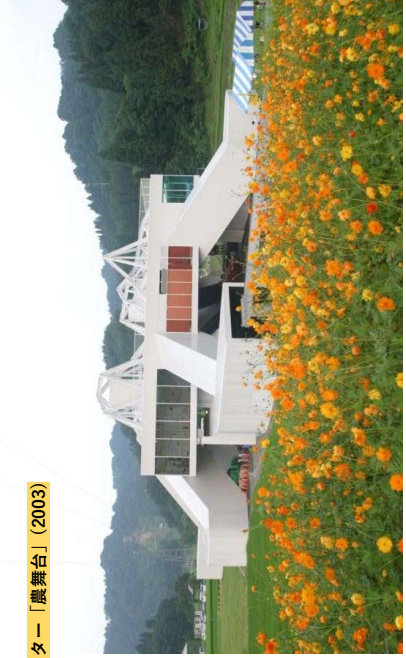


撮影：株式会社丸山工務所



ECHIGO-TSUMARI
ART FIELD

まっだい雪国農耕文化村センター「農舞台」(2003)
設計 = MVRDV(オランダ)





まっだい 農舞台
HIMINGHAM
フィールドミュージアム

ECHIGO-TSUMARI
ART FIELD


ユニークな拠点施設
まっだい雪国農耕文化村センター「農舞台」





イリヤ&エミリア・カバコフ (旧ソ連)
「手をたずさえる塔」「手をたずさえる船」

ECHIGO-TSUMARI
ART FIELD

松代城





エステル・ストッカー(イタリア)「憧れの眺望」(2021)

ECHIGO-TSUMARI
ART FIELD

ユニークな拠点施設

十日町市立里山科学館
越後松之山「森の学校」キョロロ




橋本典久 + scope(日本)
「ZooluSee」(2022)

ECHIGO-
TSUMARI
ART FIELD

ユニークな拠点施設

奴奈川キャンパス
(旧奴奈川小学校)



松本秋則 + 松本倫子
(日本)
「惑星トリス in 奴
奈川キャンパス」
2024



関口光太郎 (日本)
「除雪式奴奈川姫」
2024



ECHIGO-
TSUMARI
ART FIELD

生活芸術



農舞台「越後まつだい里山食堂」

食の展開



ジャン＝リュック・ヴィルムート (フランス)
「カフェ・ルフレ」 (2003)

ECHIGO-
TSUMARI
ART FIELD

生活芸術

うぶすなの家(2006)
改修設計＝安藤邦廣

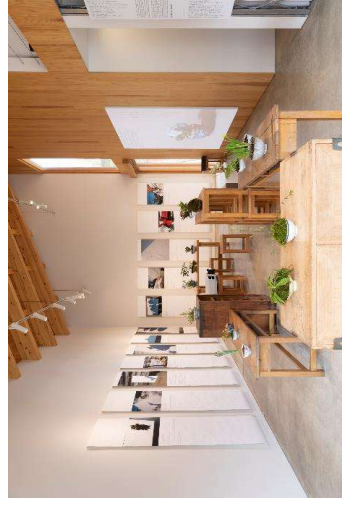


ECHIGO-
TSUMARI
ART FIELD

世界各地と繋がる

香港ハウス(2018)

建築基本設計＝イップ・チュンハン[漢晋亨]



アナザーマウンテンマン[又一山人] (香港)
「自然。対話。」 (2022)

ECHIGO-TSUMARI ART FIELD
オーストラリア・ハウス
世界各地と繋がる

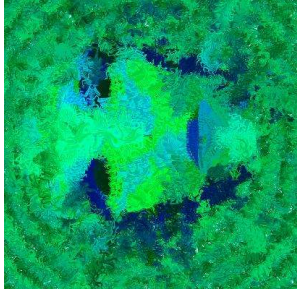
エレナ・ノックス(オーストラリア)
「あざらし話」

中国ハウス
設計=アンドリュー・バーンズ・アーキテクト
(オーストラリア)



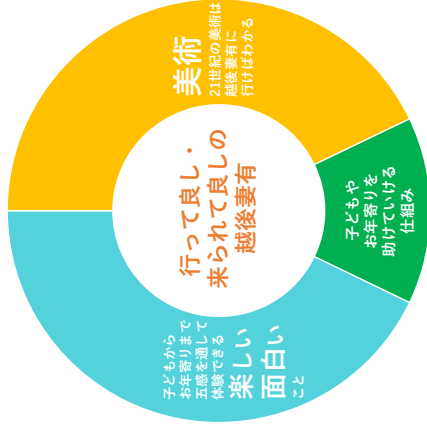
ECHIGO-TSUMARI ART FIELD
中国ハウス
世界各地と繋がる

ウー・ケンアン (鄭建安) (中国)
「心・願」 2022/「五百算」 (2018)



ECHIGO-TSUMARI ART FIELD

これからの大地の芸術祭でやっていきたいこと



ECHIGO-TSUMARI ART FIELD
サステナブル (持続可能) な芸術祭

地域との丁寧な打合せ・意見交換



美術の新体験・五感を使った体験



ECHIGO-
TSUMARI
ART FIELD

ツアー型の芸術祭 — 観光から感幸へ —

地元の喜びとなることをする



地元・新潟県の産業へつなげる



より深く地域に入る

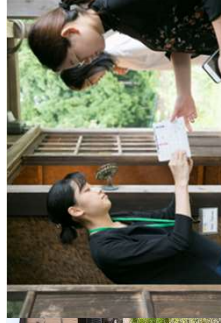


ECHIGO-
TSUMARI
ART FIELD

サポーター組織「こへび隊」



- 2000年「大地の芸術祭」の誕生と同時に発足したサポーターチーム
- 「ボランティア」ではなく「サポーター」であり「こへび隊」 私たちの学校／学びの場であるという意識を持っている
- 作品制作やメンテナンス、受付など、2000年から重要な役割を担ってきた



芸術祭に参加した韓国のアーティスト

中房総国際芸術祭 いちはらアート×ミックス2014 2014.3.21-5.11



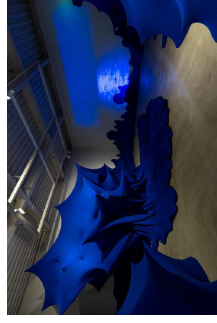
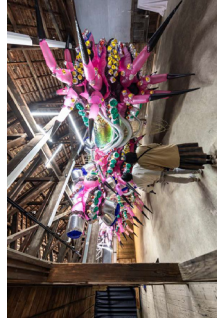
カン・ユンス 「市原人生劇場」 「オバケノガッコウヘキテクダサイ」

房総里山芸術祭 いちはらアート×ミックス2020+ 2021.11.19-12.26



キム・テボン 「ドリーム・キャッチャー」

内房総アートフェス 百年後芸術祭 2024.3.23-5.26



イ・ビョンチャン 「クリーチャー2024」

チョ・ウンビル 「私の青」



キム・テボン
「SKY EXCAVATOR」

2025 한일문화미래컨퍼런스
「국제 심포지움」

奥能登国際芸術祭2017 2017.9.3-10.22

ギム・ホンソック 「善でも悪でもないキオスク」



奥能登国際芸術祭2020+ 2021.9.4-11.5



2025 韓日文化未来カンファレンス
「国際シンポジウム」

北アルプス国際芸術祭2020-2021 2021.10.2-11.21



リー・ホンボ 「源流」

北アルプス国際芸術祭2024 2024.9.13-11.4



ソ・ミンジョン 「黒い跡」

ファール立川 1994年 完成



JR立川駅北口の米軍基地跡地の再開発により整備されたエリア。東京都立川市中心市街地にある敷地5.9ヘクタールにシヨッピングセンターやオフィスビル、映画館など11棟が建っているほか、パブリックアートとして36か国92人109点の作品が屋外展示されている。

アート計画のコンセプト

- ① 世界を映す街
- ② 機能(ファンクション)を美術(フィクション)に！
- ③ 驚きと発見の街



沈文燮/シン・ムン・サップ (韓国)

瀬戸内国際芸術祭

- 開催地域：香川県・岡山県
瀬戸内海の島々と沿岸部の全17エリア
- 2010年から3年毎に開催（2025年で6回目）



瀬戸内国際芸術祭 2025

春会期 | 4月18日(金)-5月25日(日)
夏会期 | 8月1日(金)-8月31日(日)
秋会期 | 10月3日(金)-11月9日(日)

会場：

全会期：直島、豊島、女木島、男木島、小豆島、大島、犬島、高松港周辺、宇野港周辺

春会期のみ：瀬戸大橋周辺

夏会期のみ：志度・津田周辺、引田周辺

秋会期のみ：本島、高見島、栗島、伊吹島、宇多津周辺



芸術祭の出発点

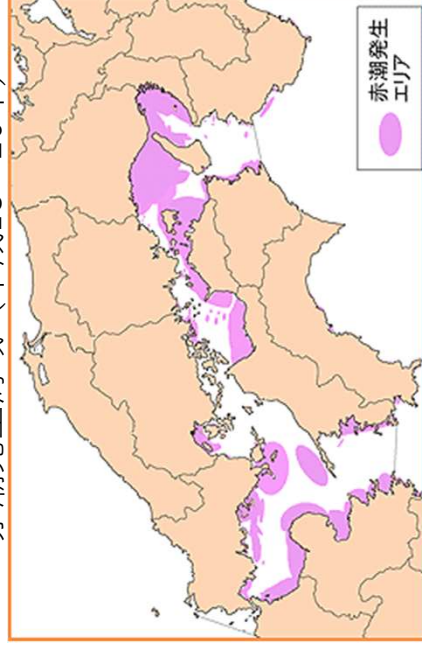
高度経済成長と島の衰退

瀬戸内海の島々の衰退

高度経済成長期 ～海から陸へ～



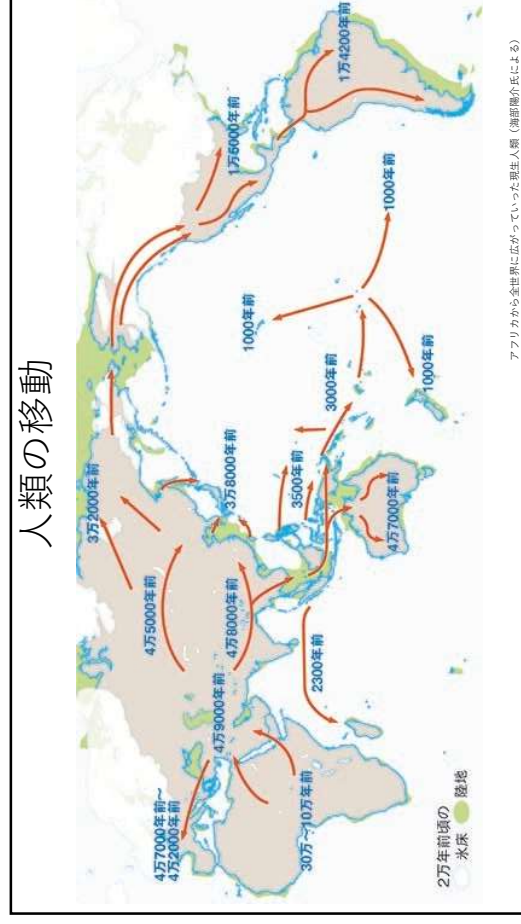
赤潮発生海域（平成18～20年）



出典：「瀬戸内海の赤潮発生状況」(平成18～20年) 瀬戸内海国立海洋博物館

豊島 産業廃棄物の不法投棄問題







日本初の国立公園に指定（1934年）

SETO UCH I
T R I E N N A L E
2 0 2 5

瀬戸内国際芸術祭

海の復権

1. アート・建築

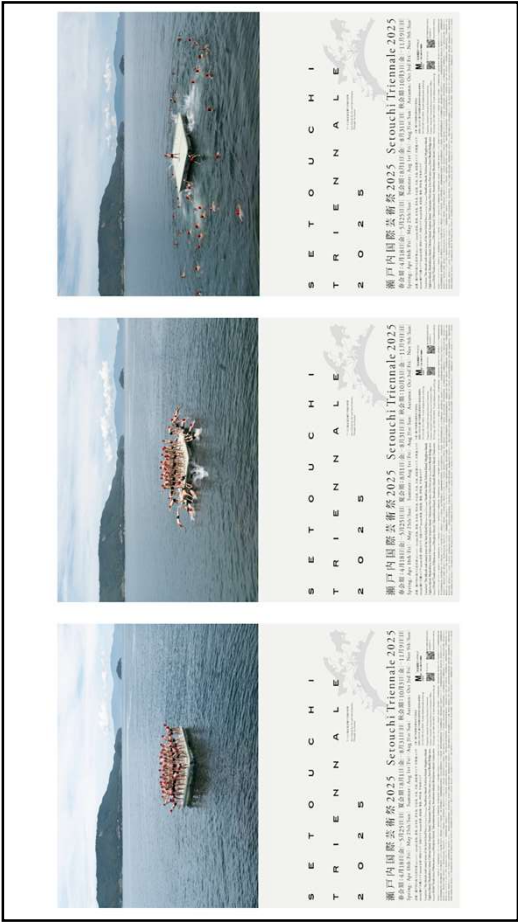
2. 民俗・生活
—地域と時間と住民（島のお年寄たちの元氣）

3. 交流
—日本全国・世界各地の人々に関わる

5. 次代を担う若者や子どもたちへ

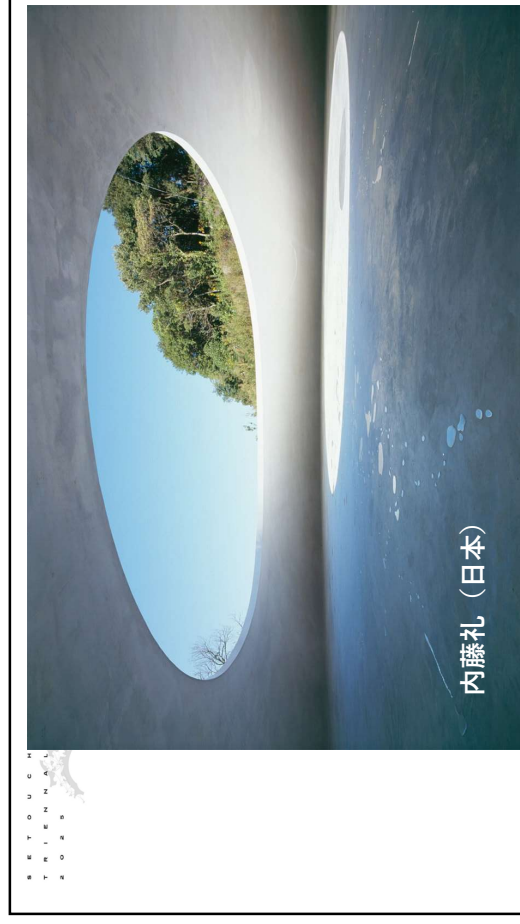
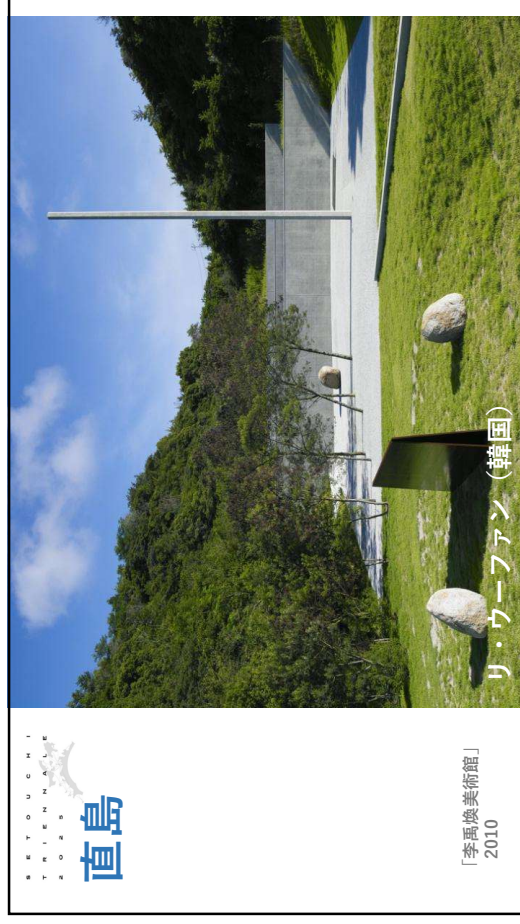
4. 世界の叡智が集う

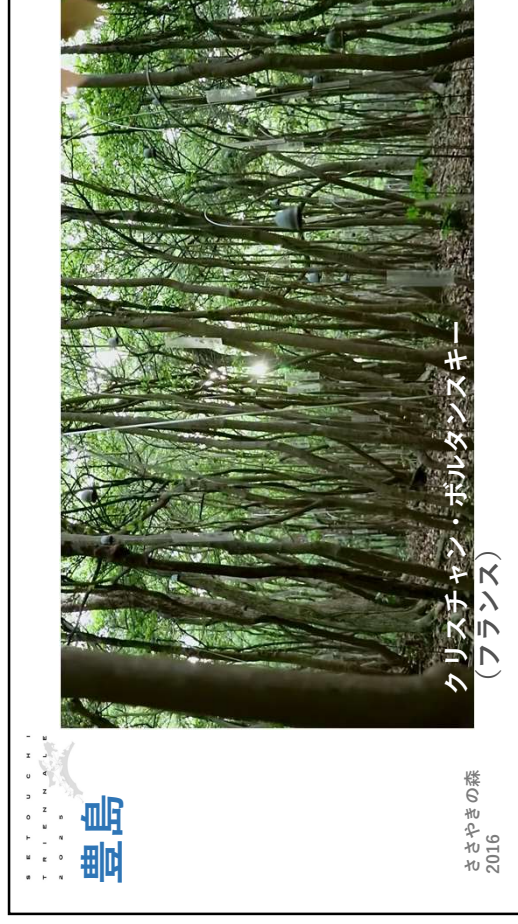
6. 縁をつくる

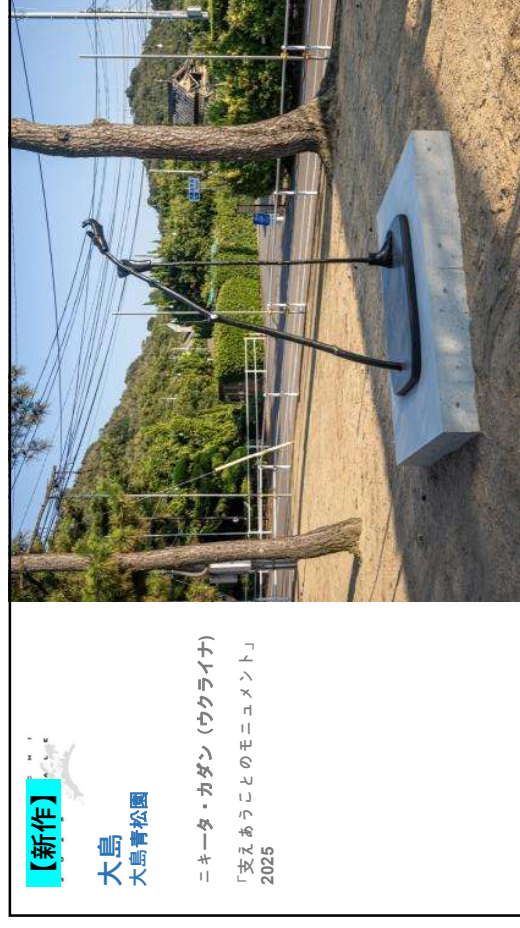


2025参加アーティスト・作品数

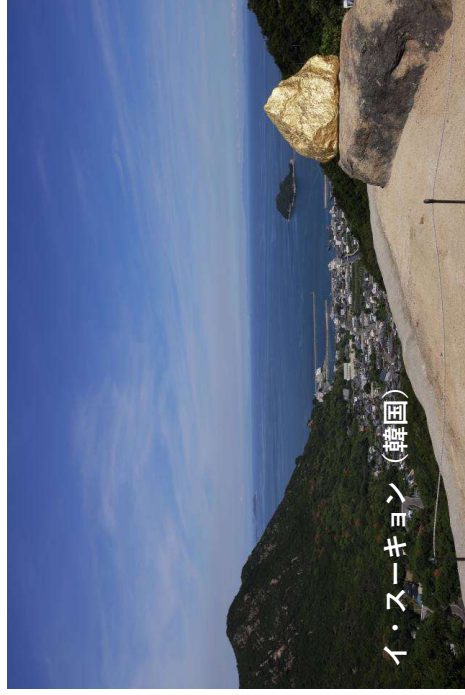
	2025	2022	2019
作品	256 7プロジェクト	213	214
イベント作品	20	19	35
参加作家・団体（組）	218	188	230
参加する国と地域	37 + UNHCR	33	32







小豆島



「そこにいた」 2022

イ・スーキョン (韓国)

小豆島

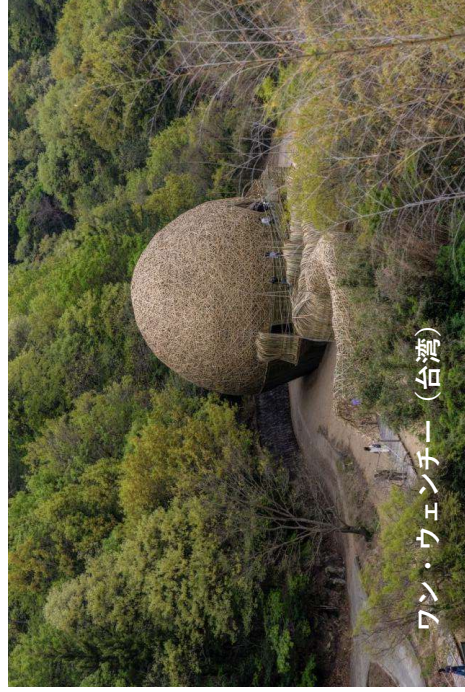


「再び・・・」 2019

キム・キョミン (韓国)

【新作】

小豆島



抱擁・小豆島
2025

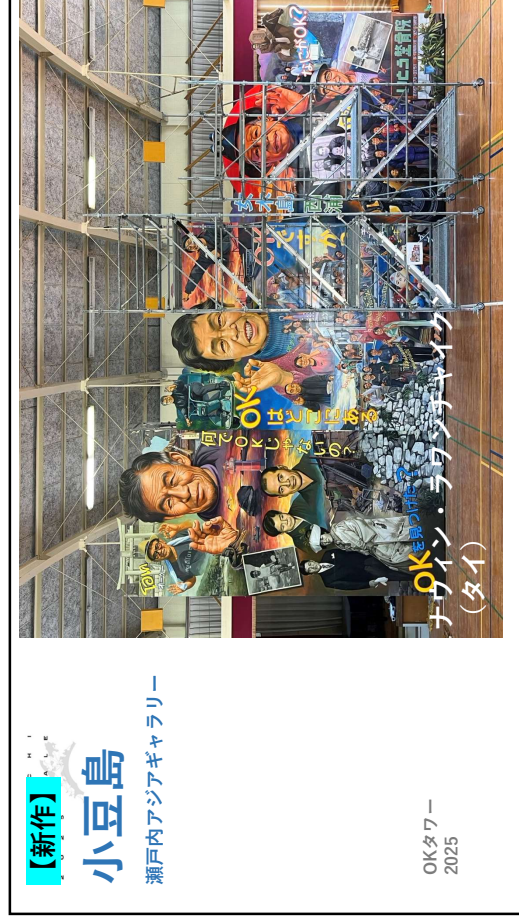
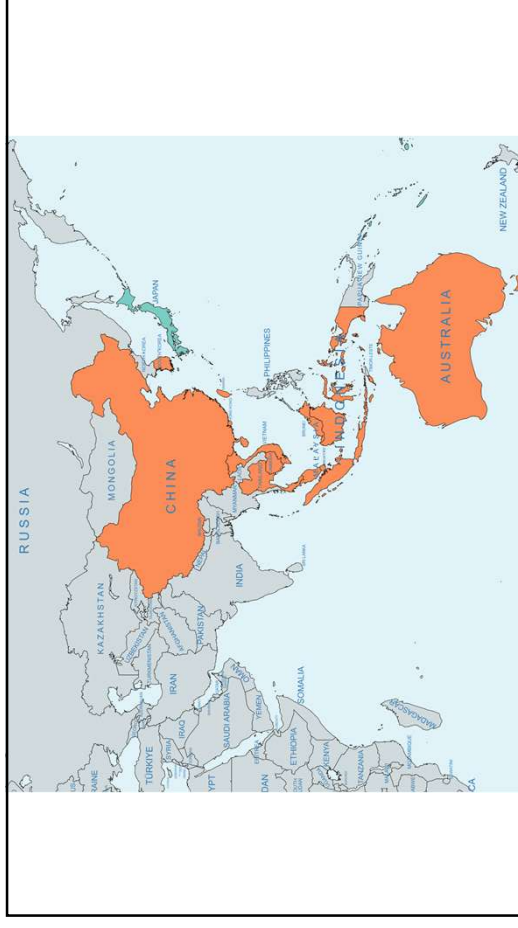
ワン・ウェンチー (台湾)

【新作】

小豆島



瀬戸内アジアギャラリー



【新作】

高松港

ベトナムプロジェクト

8月1日～31日

現在、日本に暮らすベトナム人は60万人を超え、中国に次ぎ在留外国人数第2位。日本にとってもっとも関係の深い国のひとつとなったベトナムにフォーカスし、工芸、デザイン、食、アート、様々なジャンルの文化・芸術を通して、ベトナムの多様な魅力と人々のエネルギーを伝え、来訪者との交流を図る。

8/8には、シンポジウムも開催。



Cộng Moments

～食と手仕事と雑貨の
ベトナムマルシェ～

ベトナムの工芸、雑貨、食が並ぶマルシェ。ベトナム語で「共」を表す[Cộng]をテーマに、家族や村の共にあって長い年月をかけて紡がれてきた伝統工芸と、職人とデザイナーの共による個性的で美しい雑貨やグッズが並ぶ市。また共に集まり語り合う場「コン・カフェ」がベトナムの豊かな食を展開する。



瀬戸内アジアフォーラム2025 (秋会期)

開催概要

オープニングフォーラム（公開） 10月3日

講演登壇者（案）

尾池和夫（地球物理学者、元京都大学総長）、Sameh Wahba サメール・ワハバ（世界銀行ディレクター）、Khalil RABAH ハリル・ラバー（アーティスト/パレスチナ）池澤夏樹（作家）

クロージングフォーラム（公開） 10月5日

【新作】

高松港

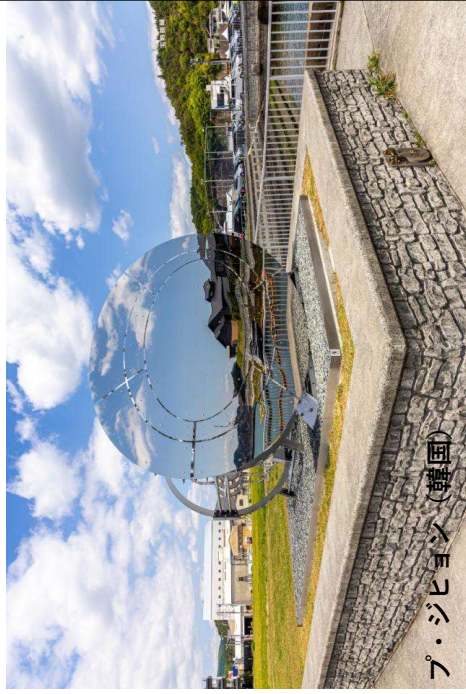
ホンマタカシ写真展SONGS
～ものが語る難民の声～
2025



ホンマタカシ（日本）

【新作】

宇野港



プ・ジヒョン (韓国)

「The HOME」 2025

【新会場 (夏)】

引田 (東かがわ市)



日本の手袋生産90%以上を占める手袋産業

歴史的まち並み

【新作】

引田



東かがわ手袋ギャラリー

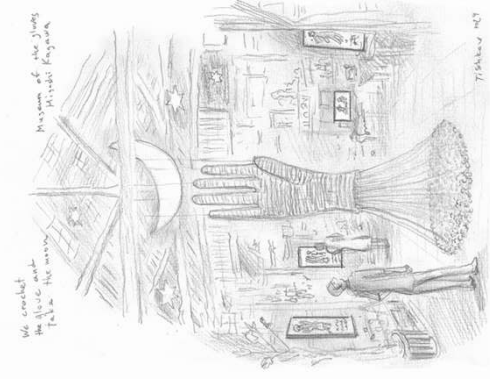
内装設計 宮崎晃吉 + 顧彬彬

RYOUNGHI
YUENABE
2025

レオニート・チシコフ
マリナー・モスクヴィナ
(ロシア)

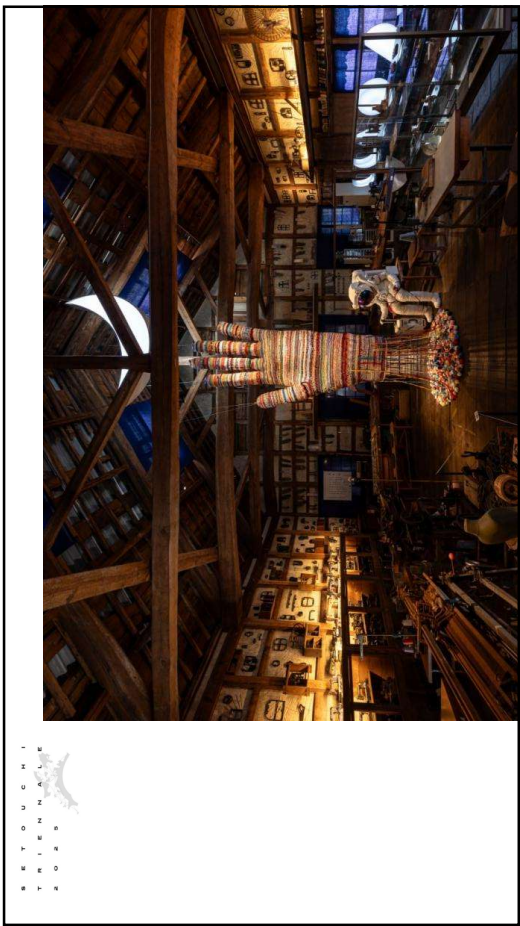
みんなの手
月まで届く手袋を編もう！
手袋の童話

内装設計 宮崎晃吉 + 顧彬彬

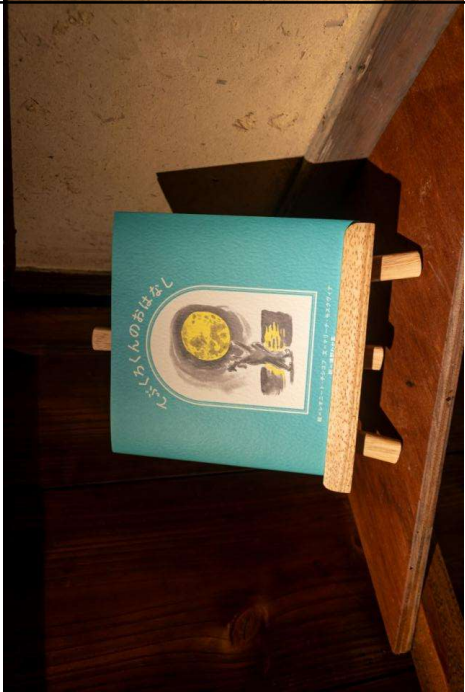


We created
the glove town
Taka the town
Museum of the Jungs
Hidori Museum

Y. Sakano 2025



引田
マリナ・モスクヴィナ
(ロシア)
「てぶくろの童話」
2025



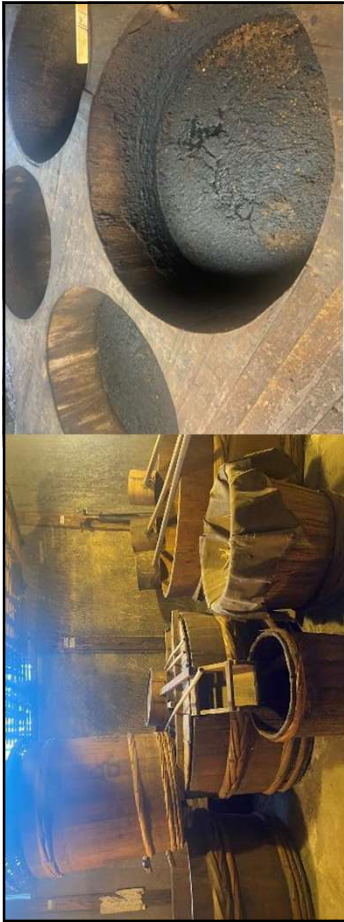
大切なあの人へ、オーダー手袋を



【新作】
引田

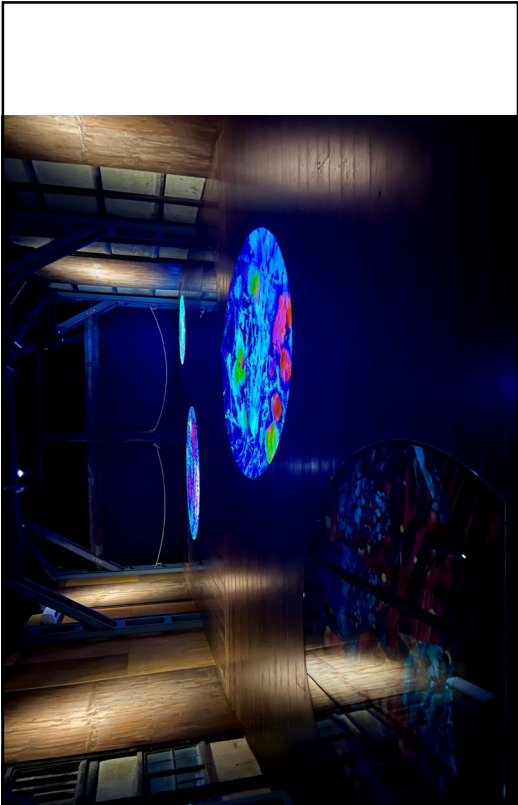


設計 沖野優

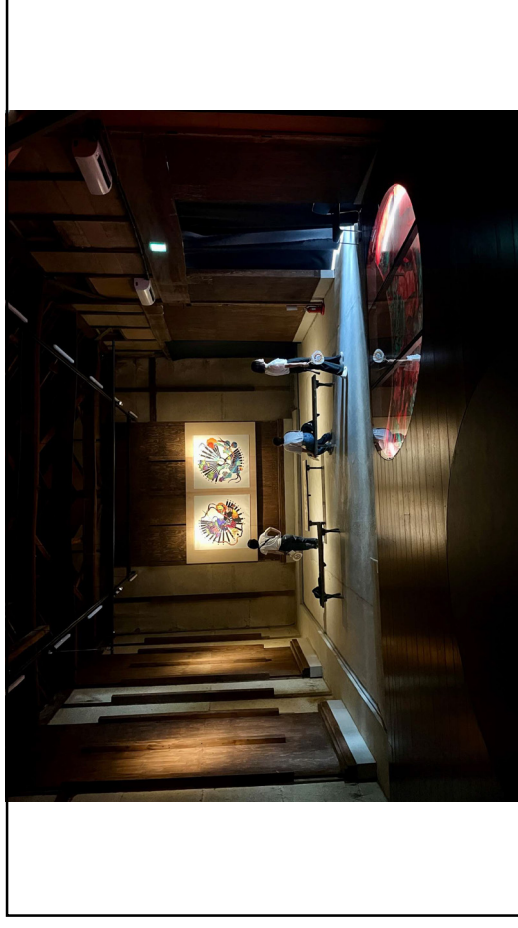


ラックスメディアアコレクティヴ
(インド)

KASAYA
ソーシヤル/パフオーマンススペース



床のプロジェクション部分は
微生物を拡大したときの色



オフィス、セミナー、映画上映、パフォーマンス公演や結婚式等のイベント、展示会場等様々な用途に活用

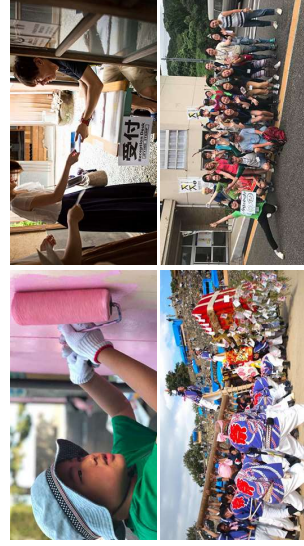


こえび隊の活動

瀬戸内国際芸術祭サポーター



- ・ 2022年の実働人数：延べ3,842人
- ・ コロナ前の2019年は延べ約8,000人が参加。アジアを中心に、各地から多くの海外サポーターも参加した



芸術祭からの拡がり | 世界に広がる芸術祭

- | | | |
|-----|--------------------|---|
| 韓国 | 安養パブリック・アート・プロジェクト | APAP-Anyang Public Art Project |
| 台湾 | 台湾東海岸大地藝術節 | Taiwan East Coast Land Arts Festival 他 |
| 中国 | 芸術在樵山—広東南海大地の芸術祭 | Art Field NANHAI GUANGDONG |
| | 桐廬大地藝術節（景徳鎮、浮梁） | Tonglu Art Triennale / ART at FULLJANG |
| | 山東省桃花島の地域再生プロジェクト | Project at Taohua Island |
| その他 | 世界銀行による創造都市プロジェクト | Creative Cities Event by the World Bank |



사회참여예술의 관점에서 본 문화예술을 통한 사회 변화 社会的関与型アートの枠組みにおける、 韓国と日本の文化的・芸術的実践と社会変革の推進力

조정윤 (부산문화재단 문화시민본부장)

ジヨ・ジョンユン (釜山文化財団 文化市民本部長)



Profile

부산문화재단 문화시민본부장
釜山文化財団 文化市民本部長
전 한국광역문화재단연합회 지역문화정책연구소장
元 韓国広域文化財団連合会 地域文化政策研究所長
Japan Foundation 연구 펠로우
Japan Foundation 研究フェロー

<p>社会的関与型アートの枠組みにおける、 韓国と日本の文化的・芸術的実践と 社会変革の推進力</p> <p>Cultural and Artistic Practices As Drivers of Social Change in Korea and Japan within the Framework of Socially Engaged Arts</p>	
	<p>조 정운 Cho Jung Yun (Ph.D.) 釜山文化財団文化市民本部長 Executive Director, Cultural Affairs</p>

<p>Contents</p>	
01	文化政策の背景 Background of Cultural Policy
02	包摂的・世代共感アート Inclusive Arts & Intergenerational Arts
03	文化芸術による平和と連帯 Peace and Solidarity through Culture and the Arts
04	韓日間文化認識調査 Korea-Japan Cultural Awareness Survey

<p>01 社会的関与型アートの文化政策的背景 The Cultural Policy Background of Socially Engaged Arts</p>	
---	--

<p>公的支援の視点からみたアートマネジメントと文化政策 Management & Cultural Policy from the Perspective of Public Support</p>	
1940年代 / 1940s	イングランド・アーツカウンシルの設立 (1946年)。第二次世界大戦後、心理的 回復を目的とした国家レベルの文化・芸術 支援。 Establishment of the Arts Council of England (1946). After WWII, cultural and artistic support at the national level for psychological healing.
1960年代 / 1960s	ボールドウィン・アーツカウンシルの経済的 シフト(1960年)。米国におけるアート マネジメントの台頭とともに、公的支援 支援による文化政策の転換を主張。 Baumol and Bowen, <i>The Economic Dilemma of the Performing Arts</i> (1966). With the rise of arts management in the U.S., argued for expanding cultural enjoyment through public cultural support.
1980年代 / 1980s	ジョン・マイヤーズ・コフイギリスにおける芸術 の経済的重要性(1988年)。 経済危機の中で、英国における芸術の経済 的重要性を強調。 John Myerscough, <i>The Economic Importance of the Arts in Britain</i> (1988). During economic crisis, emphasized the economic importance of the arts in the UK.
1990年代 / 1990s	世界的に文化・芸術の経済的効果 (Direct Effect)および波及効果 (Spillover Effect)に関する研究と議論 が世界的に拡大。 Worldwide expansion of research and discussion on the direct effect and spillover effect of culture and the arts.
2000~2010年代 / 2000s - 2010s	芸術教育や地域文化の分権化。そして 文化政策としての都市再生やコミュニティ づくりが、都市政策の重要な 要素となる。 Arts education, regional cultural decentralization. Urban regeneration and community building through culture as core elements of urban policy
現在 / Today	文化や芸術の社会的価値 ・ 芸術・文化によるレジリエンス ・ 社会政策の一部としての文化政策 ・ The social value of culture and the arts. ・ Healing and resilience through arts and culture. ・ Cultural policy as social policy.

「ユネス코文化政策 / UNESCO Cultural Policy

ユネスコ憲章と文化多様性 The UNESCO Charter & Cultural Diversity

ユネスコは文化多様性に基づき、「平和の促進」「相互理解と尊重の促進」「知識の共有と普及」「人権の尊重」に重点を置いている。

UNESCO is mainly concerned with 'promoting peace', 'promoting mutual understanding and respect', 'knowledge sharing and dissemination' and 'respect for human rights' based on cultural diversity

ユネスコ政策動向 Trends in UNESCO Cultural Policy

2018年、「Culture for the 2030 Agenda」を公表し、持続可能な発展のために、5つの分野において、文化が国際社会に貢献することを重賞した。

In 2018, the Culture for the 2030 Agenda was released, declaring culture's contribution to the international community in five areas for sustainable development

釜山文化財団 政策アジェンダ Busan Cultural Foundation Policy Agenda

「文化を通して、持続可能な平和・連携・協力」というユネスコ憲章の重要な価値を、全世界に発信する。

Promoting the UNESCO Charter's overarching value of 'Sustainable Peace, Solidarity and Cooperation through Culture' to the world

「2030アジェンダ」における文化 Culture for the 2030 Agenda



人々 / PEOPLE

文化によって人々の生活の質を向上させ、誰も取り残されない社会を目指す

The aim is to improve people's quality of life through culture and to create a society in which no one is left behind.



世界 / PLANET

文化を通じて環境保護と持続可能な開発を促進

The aim is to improve people's quality of life through culture and to create a society in which no one is left behind.



繁栄 / PROSPERITY

文化産業の発展を通じて経済的繁栄を実現

Achieve economic prosperity through the development of cultural industries



平和 / PEACE

文化交流を通じて国際平和と相互理解を促進

Promote international peace and mutual understanding through cultural exchange.



「釜山文化財団「ビジョン2030」 / Busan Cultural Foundation Vision 2030

Arts with my life, Culture with my happy city

To realize social values and impacts through culture & arts, together with citizen and artists

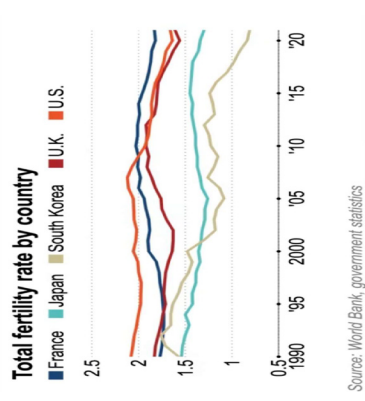


釜山文化財団「ビジョン2030」の主要戦略

Key strategies of the Busan Cultural Foundation's Vision 2030

- 持続可能な都市環境の構築 / Building a sustainable city
文化を通じて釜山の都市環境を持続可能なものとし、市民の生活の質を向上させる。
Making the urban environment of Busan sustainable through culture and improving the quality of life of its citizens
- アジア海洋文化ハブの構築 / Building an Asian maritime cultural hub
釜山の地理的特性を活用し、アジアにおける海洋文化都市の中心を形成する。
Busan's geographical characteristics as a center of maritime culture in Asia
- 国際文化交流の新モデルの提示 / A new model for international cultural exchange
朝鮮通信使を活用した国際文化交流の新たなモデルを提示する。
Joseon Tongginsin, UNESCO Memory of the World as a new model for international cultural exchange
- 文化芸術による社会問題の解決 / Tackling social issues through the arts
文化芸術を通じて社会問題への認識を改善し、解決策を模索する。
Raising awareness of and seeking solutions to social challenges through arts and culture

韓日兩國に見られる深刻な社会現象
Depressing Social Phenomena in Korea and Japan

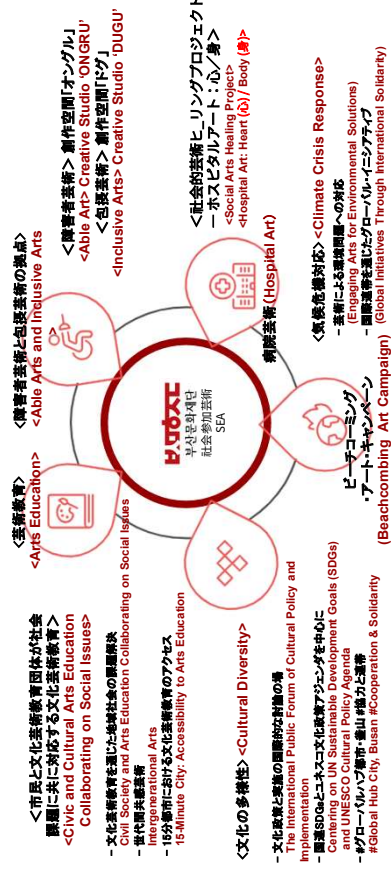


韓国の伝統的な芸術教育は世代間のコミュニケーションから始まる
Traditional arts education in Korea begins with intergenerational communication



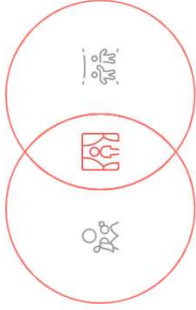
社会参加型芸術 / Socially Engaged Arts

「芸術が地域社会の問題を解決する」(Arts resolves local community challenges)



02 S.E.Aを基盤とした
インクルーシブアートおよび世代間共感アート
Inclusive and Intergenerational Arts
Grounded in Socially Engaged Arts

釜山文化財団が注目する世代間芸術と創造的エイジング
Intergenerational Arts and Creative Aging: Busan Cultural Foundation's Focus



釜山文化財団は、世代間芸術と創造的エイジングに注目しています。この取り組みは、高齢化、地域消滅、生活の質といったさまざまな社会課題に対応することを目的としています。コミュニティ意識を育み、文化政策の受益者を拡大させることで、あらゆる世代にとってより包摂的で活気ある芸術的環境を創出することを目指しています。

The Busan Cultural Foundation is placing a spotlight on intergenerational arts and creative aging. This initiative aims to address various societal challenges such as an aging population, local extinction, and quality of life. By fostering a sense of community and converging cultural policy beneficiaries, the foundation seeks to create a more inclusive and vibrant artistic landscape for all generations.

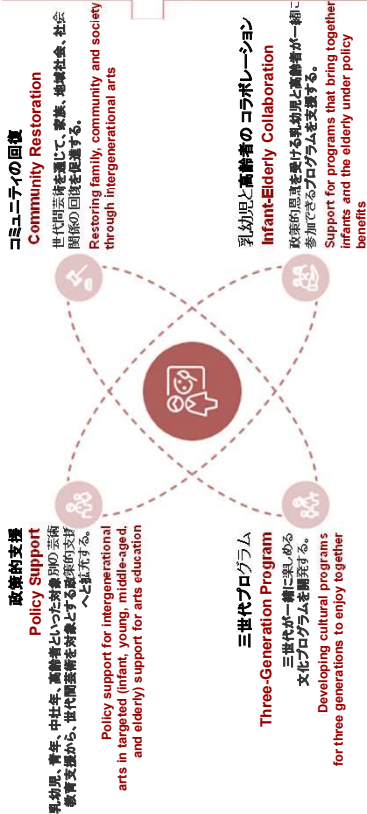
文化政策受益者の集約
Convergence of Cultural Policy Beneficiaries

韓国の伝統的な子育て Korean Traditional Childcare	世代間プログラムに伝統的な子育て法を取り入れ、社会における最年少世代と最年長世代とのつながりを促進する。 Incorporating traditional childcare methods into intergenerational programmes, fostering connections between the youngest and oldest members of society.
学校での芸術教育 Arts Education in Schools	生涯にわたる芸術的関わり方の基盤を築くために、特に音楽や美術における学校での芸術教育を拡充する。 Expanding arts education in schools, particularly in music and art, to provide a foundation for lifelong artistic engagement.
人生の中年期における芸術的な自己実現 Artistic Self-Realization in Midlife	中年期の人々に、創造的な活動を通じて芸術的可能性を探索し、自己実現を達成する機会を提供する。 Offering opportunities for middle-aged individuals to explore their artistic potential and achieve self-realisation through creative pursuits.
全世代の統合芸術 Combined Arts for All Ages	多様な芸術形態を組み合わせて、異なる年齢層に訴求し、世代間の協働を促進するプログラムを開発する。 Developing programmes that combine various art forms, appealing to different age groups and fostering intergenerational collaboration.

韓国と日本における世代共感芸術の重要性
Korea & Japan, The Importance of Intergenerational Arts

高齢化 (Aging Population)	高齢化人口の増加に伴い、世代間芸術は異なる年齢層間の隔たりを縮減し、相互理解と協力を促進する特別な機会を提供する。 With an increasing aging population, intergenerational arts provide a unique opportunity to bridge the gap between different age groups, fostering understanding and cooperation.
地域消滅 (Local Extinction)	すべての世代が芸術的な取り組みに参加することによって、地域文化と伝統を継承・保全し、地域消滅の危機に対応することができる。 By engaging all generations in artistic endeavours, we can help preserve local culture and tradition, combating the threat of local extinction.
生活の質 (Quality of Life)	世代間芸術プログラムは、あらゆる年齢層の参加者に対し、意義ある参加と社会的つながりを提供することによって、生活の質を大きく向上させる。 Intergenerational arts programmes can significantly improve the quality of life for participants of all ages, providing meaningful engagement and social connections.

世代間コミュニケーションにおける芸術の役割強化
Reinforcing the Role of Arts for Intergenerational Communication



社会的関与型芸術における障がいのある芸術家の参加
Participation of the Artists with Disabilities in Socially Engaged Arts Initiatives

地域社会との連携
Integration with the Local Community

社会的認識の改善
Improvement of Social Awareness

自己実現の機会
Opportunities for Self-Realization

地域社会の課題に取り組み、
えでの障がいのある芸術家の
関与を促進する
Fostering involvement of disabled
artists in addressing issues within
the local community

芸術活動を通じて社会的認識を
高め、障害に対する偏見を軽減し、
インクルーシブな社会を促進する
Enhancing social awareness
through artistic activities to alleviate
biases toward disabilities and
promote inclusivity

社会参加を通じて、障がいのある
芸術家が自らの能力と可能性を
発揮できるよう支援する
Empowering disabled artists to
showcase their capabilities and
potential through social
participation



社会的アートヒーリングプロジェクト「ホスピタルアート」
Social Arts Healing Project "Hospital Art"

芸術で市民の心を癒し、社会的孤立を減らし、連帯感を超えて社会的不平等を克服
Healing citizens' hearts through arts and creating solidarity beyond social isolation

社会的文化サービスネットワーク
Social Cultural Service Network
市民の健康増進と
支える支援システム
Support system for
citizens' emotional healing

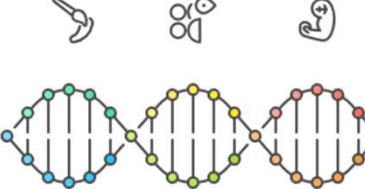
創造的協力
Creative Collaboration
芸術家・患者・医療関係者の協働
Collaborative creation among
artists, patients, and medical staff

社会的認識
Social Awareness
芸術活動に対する
社会的認識の拡大
Expanding social awareness of arts healing

健康的な日常生活
Healthy daily recovery
芸術を通じて健康的な生活を回復
Restoring healthy daily life through arts

自発的参加
Voluntary Participation
病理的アプローチではなく自発的な参加
Voluntary participation rather than
pathological approach

持続可能性
Sustainability
病理的アプローチではなく自発的な参加
Voluntary participation rather than
pathological approach



インクルーシブ・アーツに参加するアーティストの公正な待遇と創作基盤
Promoting equitable treatment and recognition for all participants in inclusive arts and their creative talents

■ 公正な待遇
障害を持つ芸術家たちが自身の作品と
才能に対する公正な待遇の強化
Fair compensation
Enhancing fair treatment and recognition
for disabled artists and their talents in
their works

■ 安定した創作環境
障害のある芸術家が安定的に創作活
動を行える支援体制の整備
Creating a stable creative environment
Establishing a supportive system for disabled
artists to engage in creative activities stably

■ 法的・制度的支援体制の改善
創作へのアクセスの向上と作品流通体制
の法制度化を通じて芸術活動の機会拡大
Improving legal support systems
Expanding opportunities for artistic activities
through improved accessibility in creation for
disabled artists and legal institutionalization of
artwork distribution

■ 芸術教育の強化
障害、インクルーシブ・アーツに関する認識改善
教育及び仲間同士の学びを通じた能力強化
Enhancing arts education
Enhancing awareness of disability arts and
inclusive arts through education and peer
learning for capacity building

03 文化芸術による平和と連帯
Peace and Solidarity through Culture and the Arts

2023 釜山文化カンファレンス 2023 Busan Culture Conference

基調講演 Keynote Speech	テーマ発表 Theme Presentation
UNESCO ADG エルネスト・オットーネ・ラミレスが「文化交流を通じて包摂と平和の回復」をテーマに講演。 UNESCO ADG Ernesto Ottone Ramirez presents on "Restoring Inclusion and Peace through Cultural Exchange."	ユネスコ文化政策・開発局長 パオラ・レオン・バーニ・バルトリが「包摂と協力のためのユネスコ文化政策アジェンダ」について発表。 Presentation by Paola Leoncini Bartoli, Director of Cultural Policy and Development, UNESCO, on the UNESCO Cultural Policy Agenda for Inclusion and Cooperation.
アジア太平洋の文化的多様性 Asia-Pacific Cultural Diversity ユネスコ・アジア太平洋文化部長 フエン・ジンが「アジア太平洋における文化的多様性、地域紛争克服のための方策」について発表。 Presentation by Feng Jin, Head of UNESCO Asia-Pacific Cultural Unit, on "Cultural Diversity in the Asia-Pacific: Solutions for Overcoming Regional Conflicts."	釜山の文化的対応と実践 Cultural Responses and Practices in Busan 高神大学 名誉教授 ナム・ソンウが「平和と運動のための釜山の実践的対応と努力」について講演。 Nam-Sung Woo, Professor Emeritus of Ko Shin University, on "Busan's Practical Responses and Efforts for Peace and Solidarity."



文化交流を通じた日韓関係改善のためのユネスコ会議 UNESCO Korea-Japan Conference on Improving Japan-Korea Relations through Cultural Exchange

朝鮮連横使節記録物のユネスコ世界記憶遺産への日韓共同登録以降、日韓関係改善における文化芸術の役割をテーマにした韓日ユネスコ委員会関係者による初会合が 2023年5月5日、釜山で開催された。
The first meeting of Korean and Japanese UNESCO committee officials was held in Busan on 5 May 2023 on the theme of the role of art and culture in improving relations between Korea and Japan since the co-registered documents of Joseon Tongsinsha as UNESCO Memory of the World.

文化芸術を通じて平和と協力の釜山宣言 Busan Declaration on Peace and Cooperation through Culture and Arts

ユネスコの文化多様性と朝鮮通信使精神の受容 Embracing UNESCO cultural diversity and the spirit of Joseon Tongsinsha

釜山宣言は、朝鮮通信使の「誠信交隣」の理念を継承し、より平和で調和のとれた世界の実現に向けて努力する意図を表明するものである。
The Busan Declaration inherits the Joseon Tongsinsha's philosophy of 'sincerity and friendship' and indicates that it will work towards a more peaceful and harmonious world.

* [2023年5月4日、大韓民国釜山で開催された釜山文化会議の参加者は、芸術と文化を通して世界平和を促進するための全面的な決意を語りをもって宣言する。] という序文で始まる「釜山宣言」は、以下の7項目で構成されている。
(1) 文化的多様性と権利、(2) 平和のための芸術と文化、(3) 持続可能な発展のための文化政策、(4) 文化的多様性と包摂性、(5) 文化政策の社会的影響、(6) 文化パートナーシップ、(7) 文化プロジェクトの透明と協力

文化芸術による平和と連帯の背景 Background on peace and solidarity through the arts

- UN SDGsにおける文化的実践 / Cultural realization of UN SDGs
国連は2015年に17の持続可能な開発目標(SDGs)を採択した。文化分野は直接的に目標項目としては含まれていないものの、ユネスコを中心として「文化の社会的影響力」を強化する動きが進んでおり、文化セクターにおいてSDGsを積極的に導入する事例が増加している。
The UN adopted 17 Sustainable Development Goals (SDGs) in 2015. While the cultural sector isn't directly included, the SDGs are increasingly embraced by the cultural community, especially UNESCO, to enhance culture's social impact.
- 文化の役割とパートナーシップ / Role of culture and partnerships
国際社会の多様な分野において、平和と連帯に向けた取り組みが強化される中、世界経済フォーラム(WEF)は2023年のテーマを「分断された世界における協力」(Cooperation in a Fragmented World)と定めた。これは文化の役割やパートナーシップの重要性を再認識させるものである。
As efforts for peace and solidarity intensify across various sectors of the international community, the World Economic Forum (WEF) has chosen the theme 'Cooperation in a Disjointed World' for 2023.
- 釜山文化財団ビジョン2030 / Busan Cultural Foundation's Vision 2030
2019年に発表された釜山文化財団のビジョン2030は、「持続可能な都市環境の創造、およびアジア海浜文化ハブの構築」を戦略課題として掲げている。
The Busan Culture Foundation's Vision 2030, released in 2019, sets out "Creating a sustainable urban environment" and "Building an Asian maritime culture hub" as strategic issues.

政策提案と課題 / Policy proposals and issues

- 持続可能な協力チャネルの構築 / Creating sustainable cooperation channels**
ユネスコ本部、ユネスコアジア太平洋地域委員会、ユネスコ日本国内委員会、ユネスコ韓国委員会との政策的連携に向けた持続可能な対話の場を設ける。
Establishing a sustainable discussion forum for policy solidarity with UNESCO Headquarters, the Asia-Pacific Commission for UNESCO, the Japanese National Commission for UNESCO and the Korean Commission for UNESCO
- 釜山文化カンファレンスの定例化 / Regularization of the Busan Cultural Conference**
国内外の主要な芸術文化機関と連携し、国際文化政策アジェンダを中心に据えた「釜山文化カンファレンス」を定期的に開催する。
Promotion of the BSCF's hosting of the Busan Cultural Conference to focus on international cultural policy in collaboration with key national and international arts and cultural organizations
- 文化シルクロード構想 / Envisioning a cultural silk road**
アジアとヨーロッパの都市を結ぶ芸術文化交流のプラットフォームとして「文化シルクロード」構想に関する協力と議論を推進する。
Cooperation and discussion on the 'Cultural Silk Road' concept as a platform for artistic and cultural exchange linking Asian and European cities.
- 文化外交アワードの創設 / Establishment of the Cultural Diplomacy Award**
平和と協力のためのカルチュラル・モビリティ(cultural mobility)および文化運搬(partnership)に寄与した世界の文化関係者を対象に、「文化外交アワード(cultural diplomacy award)」を創設する。
Cultural diplomacy award for world cultural figures who have contributed to cultural mobility and partnership for peace and cooperation.

新朝鮮通信使 による日韓文化交流プラットフォーム
Korea-Japan Cultural Exchange Platform by New Joseon Tongsinssa

日韓ユネスコ合同会議 -Korea Japan meetings	日韓共同世界記録遺産である朝鮮通信使を契機に「文化交流を通じて平和と協力の価値を広く知らせるための日韓ユネスコ合同会議を両国が相互に開催」	Korea-Japan UNESCO conferences alternating between the two countries to promote 'peace and cooperation through cultural exchange' using the Joseon Tongsinssa and the joint UNESCO Memory of the World.
青少年文化交流プログラム Expansion of youth exchange programs	日韓両国ユネスコ委員会の歴史文化交流プログラム拡大推進及び青少年対象文化交流研修キャンプの継続開催による両国の相互理解促進	Expand and sustain UNESCO history and cultural exchange programs for youth to foster mutual understanding between the two countries.
アーティスト交流支援 Artist exchange support	釜山文化財団のビジョン2030に基づき、日韓芸術家交流及び共同プロジェクトを支援し、朝鮮通信使文化交流を通じて構築された日韓ネットワークを基盤に拡大する芸術国際交流を支援する	Support exchanges and joint projects between Japanese and Korean artists, and expand international art and culture exchanges based on the Japan-Korea network from the Joseon Tongsinssa programs.

2025 韓日国交正常化60周年
The 60th Anniversary of Diplomatic Relations between Japan and Korea

韓日文化交流ニューパートナーシップ
Korea-Japan Cultural Exchange New Partnership

協力ネットワークの構築 Building Co-operation Networks	韓日の議員連盟、韓日親善友好協会、韓日ユネスコ委員会、釜山文化財団、朝鮮通信使連合自治体協議会、関係機関、芸術文化分野の専門家、学者、市民などが主軸となる芸術文化交流の新朝鮮通信使協力ネットワークを構築。 Establishment of a cooperative network for artistic and cultural exchange involving Korean and Japanese envoys, parliamentarians, and friendship associations, UNESCO commissions, the Busan Cultural Foundation, and experts in art, culture, academia, and citizens.
SDGs関連の拡散 Diffusion of SDGs Challenges	国連の持続可能な開発目標(SDGs) 16番(平和)と17番(パートナーシップ)の課題を拡散し、韓日両国のグローバル運搬と協力のための新朝鮮通信使としての韓日文化交流ニューパートナーシップを活用。 The proliferation of UN Sustainable Development Goals (SDGs) 16 (Peace) and 17 (Partnership) issues and the need for a revived Japan-Korea Cultural Exchange New Partnership as the New Joseon Tongsinssa for Global Solidarity and Cooperation between Japan and Korea.
両国都市間の芸術中心の文化交流 Inter-city Arts-centered and Artistic Exchanges between the Two Countries	両国の都市間で芸術中心の文化交流・人交流である新朝鮮通信使を活性化し、文化交流を国交正常化記念の主要機軸として数定し、主要行事として韓国と日本の朝鮮通信使レレードを再現。 Revitalizing the New Joseon Tongsinssa, an arts-focused exchange of artists and cultural figures between the cities, placing cultural exchanges at the top of the agenda for the diplomatic relations, and recreating the parade of Joseon Tongsinssa as a key event.

新朝鮮通信使 文化芸術による平和と運搬の未来
Future of peace and solidarity through the New Joseon Tongsinssa's Art and Culture

線可能な協力体制の構築 Building sustainable cooperation	ユネスコおよび各国の文化機関との持続可能な協力体制を構築し、文化政策に関する定期的な討議の場を設ける。 Establish sustainable cooperation with UNESCO and national cultural institutions and regular forums for cultural policy discussions	新朝鮮通信使活動の拡大 New Joseon Tongsinssa 日韓文化交流のプラットフォームとして新朝鮮通信使の活動を拡大し、両国の相互理解を促進する。 Expanding the activities of the New Joseon Tongsinssa as a platform for cultural exchange between the two countries and promoting mutual understanding between them.
2025年 日韓国交正常化60周年 The 60th anniversary of diplomatic relations between Japan and South Korea	文化協力と国際文化交流を促進する。 Cultural cooperation & promoting international cultural exchanges.	文化芸術の社会的影響の拡大 Strengthening the social impacts on arts and culture 文化芸術を通じて社会課題の解決と、持続可能な開発目標(SDGs)の達成に貢献する。 Contribute to the achievement of the Sustainable Development Goals (SDGs) by addressing social issues through arts and culture.

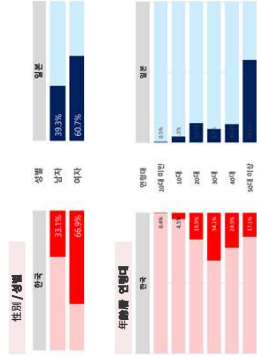
04 日韓文化に関する意識調査
Korea-Japan Cultural Perception Survey

調査概要 / 조사 개요

韓國の釜山文化財団が主催したため、韓國の参加者が高くサンプル数に差があります。
本調査は両国の文化認識の傾向を共有し、相互理解を深める参考資料としています。

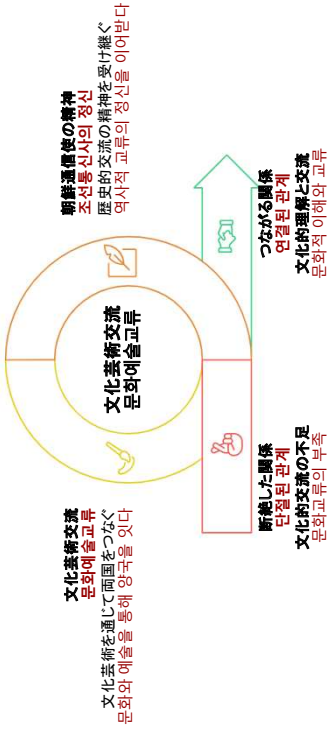
이벤트는 韓國의 부산문화재단이 주최하여, 韓國의 참가자가 높아서 샘플 수가 차이가 발생합니다.
본 조사는 양국 인사의 문화인식 경향을 공유하고 상호 이해를 증진하기 위한 참고 자료로 활용되고자 합니다.

参加者 참여자	韓國 Korea 2,436名	日本 Japan 805名
方法 방법	オンライン+オフライン調査 온라인 + 오프라인 조사	
目的 목적	日韓文化認識の比較と分析 한일 문화인식 비교 및 분석	



朝鮮通信使の精神と今日へのつながり
The Spirit of the Joseon Tonginsa and Its Connection to Today

- ・ 外交使節を超えて文化交流の足跡として残された歴史的遺産
외교 사절을 넘어, 문화예술 교류의 기록으로 남겨진 역사적 유산
- ・ 今日の私たちはその精神を受け継ぎ、文化芸術を通じて結びつながら生きている
오늘의 우리는 그 정신을 이어받아, 문화와 예술을 통해 다시 연결됩니다.



日韓関係認識の現状
한일관계에 대한 인식

韓国の視点
한국의 시각

日本の視点
일본의 시각

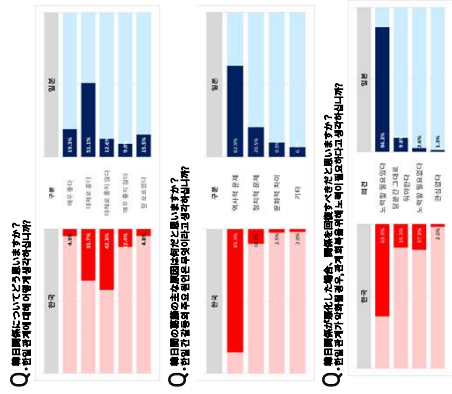
「朝日新聞」が「朝」を名乗る
“朝日新聞”은 “아침”을 명명한다.

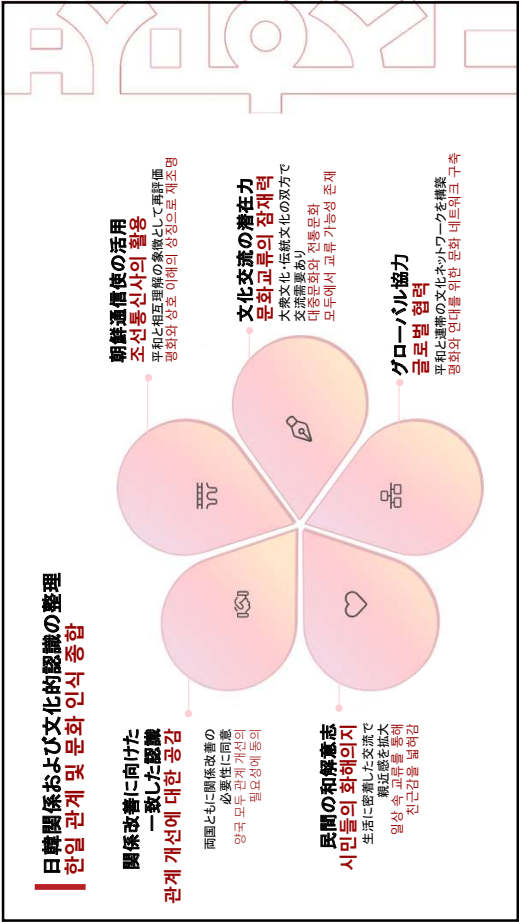
韓半島の分裂が深刻
“한반도의 분열이 심각하다”

韓半島の分裂が深刻
“한반도의 분열이 심각하다”

共通を求めている
공통점을 찾고 있다

「より良い関係へ進むべきだ」
“더 나은 관계로 나아가야 한다”





本日はご清聴いただき、
心より感謝申し上げます。
Thank you very much !

• 발제 発題

BUSAN CULTURAL FOUNDATION

예술이 도시를 움직일 때 ~요코하마의 도시 형성과 문화 芸術が都市を動かすとき~横浜の都市形成と文化

노다 쿠니히로 (요코하마시립대학 대학원 도시사회문화연구과 객원교수)

野田邦弘 (横浜市立大学大学院 都市社会文化研究科 客員教授)



Profile

요코하마시립대학 대학원 도시사회문화연구과 객원교수
横浜市立大学大学院 都市社会文化研究科 客員教授

도쿄대학 마을만들기 대학원 강사

東京大学まちづくり大学院非常勤講師

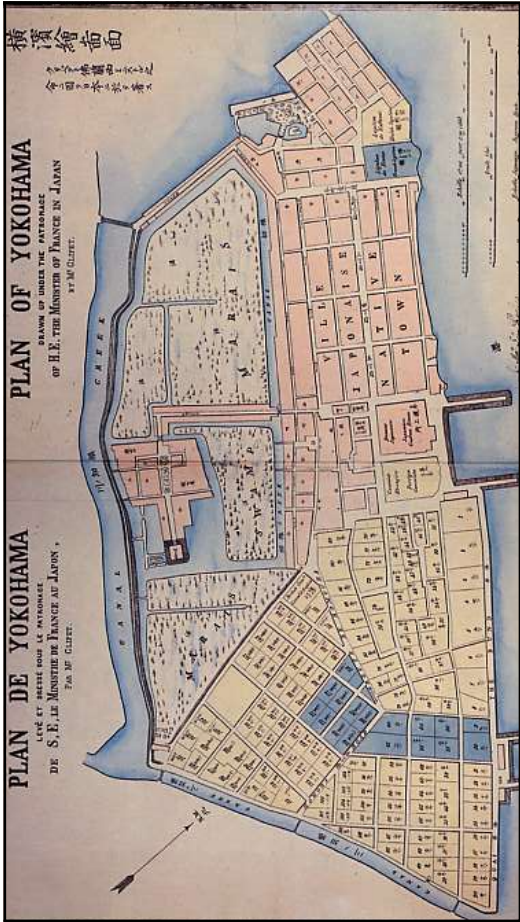
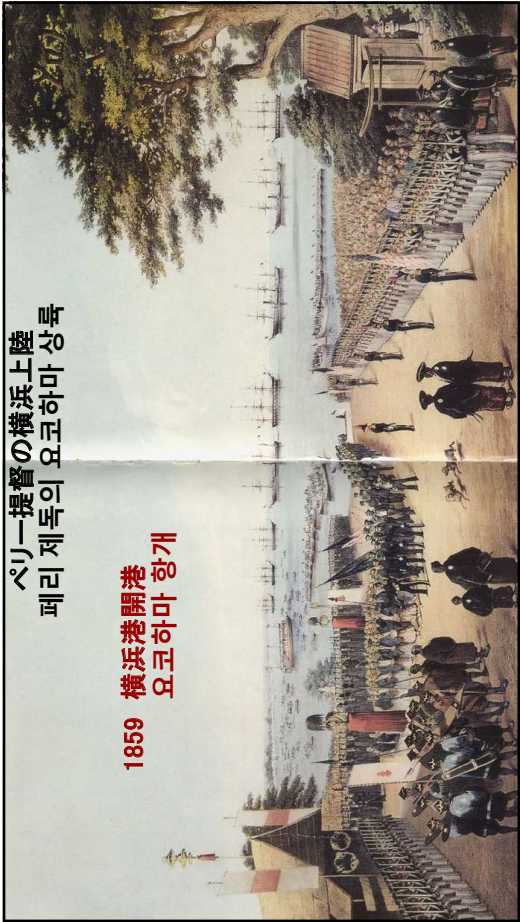
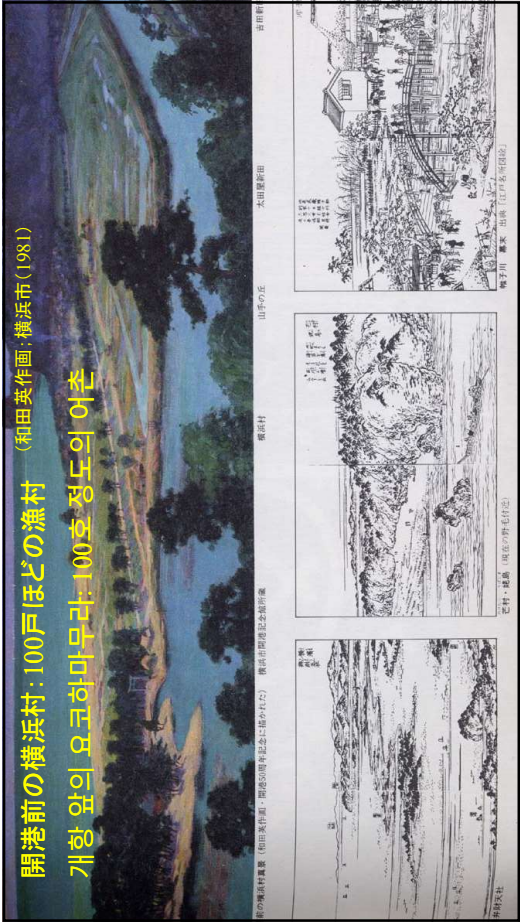
치가사키시 문화·평생학습 계획 추진위원장

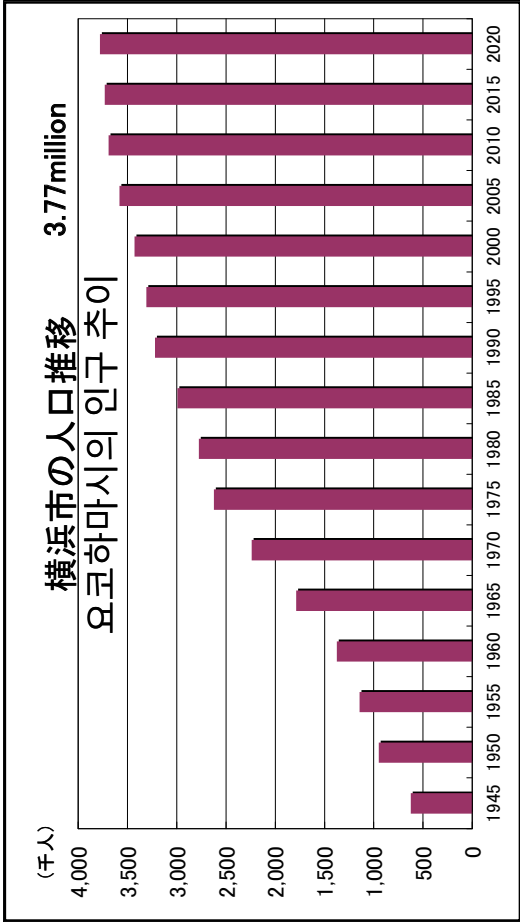
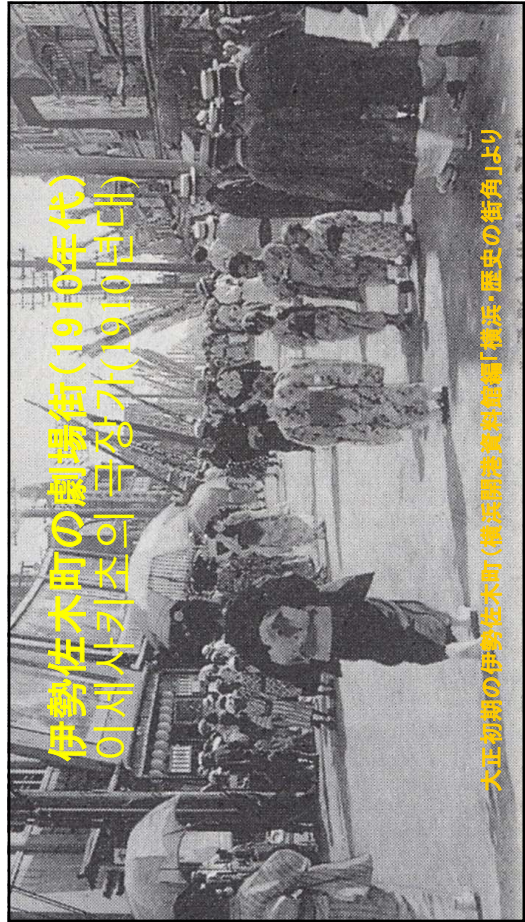
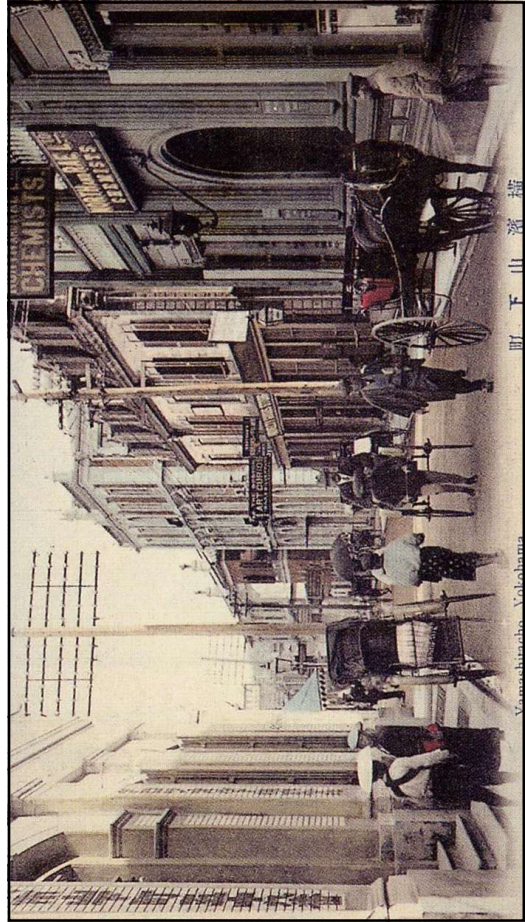
茅ヶ崎市文化生涯学習プラン推進委員長



협력 協力 : BankART 1929

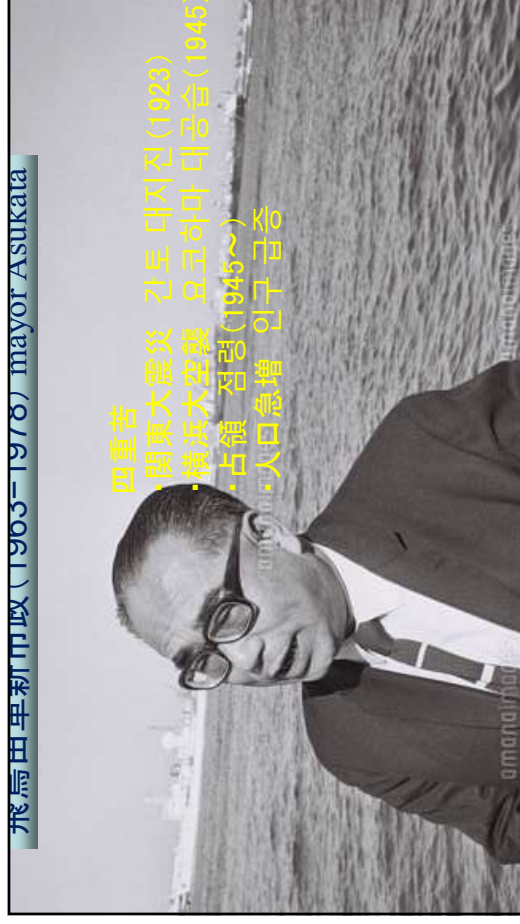








はしけで暮らす人々
(映画『泥の河』)
배에 사는 사람들



飛鳥田早新市長(1963-1978) mayor Asukata

- 四重苦
- ・関東大震災 間토 대지진 (1923)
 - ・横浜大空襲 요코하마 대공습 (1945)
 - ・占領 점령 (1945~)
 - ・人口急増 인구 급증

田村明のまちづくり: 6大事業 Tamura Akira

みなどみらい21 地下鉄 横浜ベイブリッジ
高速道路 金沢地先埋立 港北ニュータウン
市内部では「6大事業は必要だろうが、
横浜市の財政力では無理」と言われた

(田村) 自治体が体質を変え、新しいことに積極的に挑戦し他を動かそうと意欲を持つよう自治体の体質を改善する



前例踏襲ではなく創造的な政策形成・手法開発



田村明のまちづくり: 高速道路半地下化

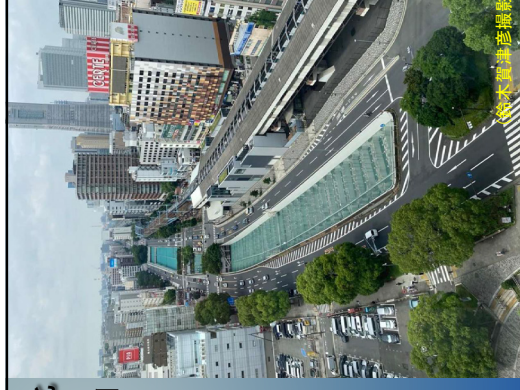
関内駅前の首都高速高架建設案は神奈川県都市計画決定済み(1968)

飛鳥田は自分の決裁を撤回、田村に計画変更を依頼

田村は、旧建設省に交渉するが
「都市を美しくしようなんじゃからん」
「東京日本橋の上も高架だ」
「おまえが市長をたきつけたのだろう」
などといわれた


田村の粘り強い交渉で国が譲歩し半地下化が実現

市職員に勇気と自信を与えた




松本賢洋撮影

東海道五十三次之内 日本橋 (歌川広重)



首都高日本橋区間地下化事業 (2040年完成予定)



니혼바시

都市デザイン行政: 歴史的建築物の保存 都市 디자인



神奈川県立歴史博物館
Kanagawa Prefectural Museum of Cultural History



横浜開港記念会館



赤レンガ倉庫



ドッグヤードガーデン

都市デザイン専門職

田村明 (故人)



岩崎駿介



北澤猛 (故人)



国吉直行



横浜トリエンナーレ2001



横浜トリエンナーレ2005



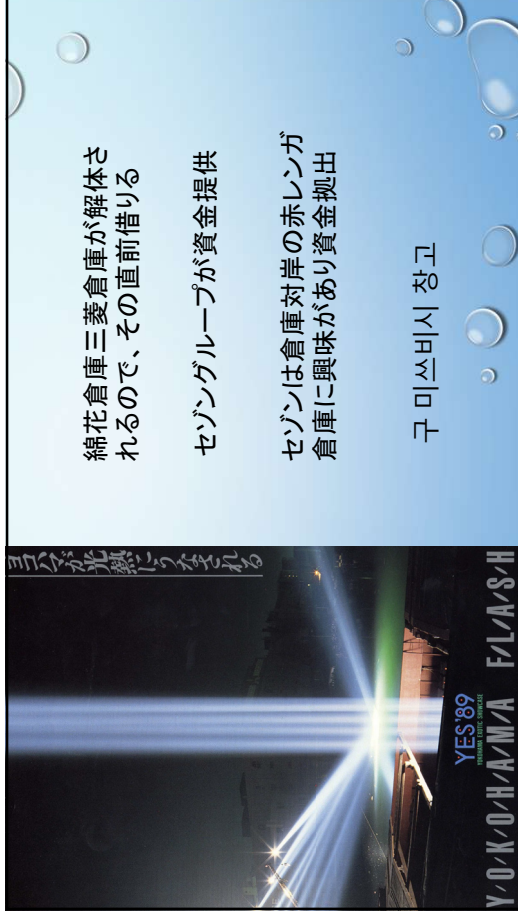
横浜市の文化政策



요코하마시의 문화 정책



既存文化施設からの逸脱 기존 문화 시설에서 벗어나



●三喜連日号牌

- [illegible]

YOKOHAMA ART WAVE '89

市政100周年・開港130周年記念
ヨコハマアートウェーブ89報告書



2025 韓日文化미래컨퍼런스
「국제 심포지움」




2025 韓日文化未来カンファレンス
「国際シンポジウム」




Alternative Space (非劇場空間) 公演		
年	事業名	会場
1986	パフォーマンスアートフェスティバルメイガーデン	日本丸メモリアルパーク
1986	はみだし劇場「かなかぬち」	新本牧土地区画整理事業区域
1987	はみだし劇場「鬼の黄金伝説」	横浜開港記念会館
1987	パフォーマンスアートフェスティバルメイガーデンⅡ	旧三菱倉庫
1988	ヨコハマフラッシュ	旧本牧山頂公園予定地
1988	黒テント「逆光線玉葱」	日本貨物鉄道旧東高島駅構内
1988	第三エロチカ「ボディーウォーズ」	旧宇徳運輸山下倉庫
1989	フーラデルスバウス「SUZ/O/SUZ」	旧大棧橋ホール
1989	米井澄江「Dialogue」(ヨコハマアートウェーブ)	横浜そごうデパート裏
1990	新宿梁山泊「人魚伝説」	旧市営上屋11号倉庫
1992	勅使河原三郎「Noject」	旧市営上屋3号倉庫
1993	大野一雄「御殿、空を飛ぶ」	


公立文化施設		アートセンター
施設	新築	歴史的建築物 (オールタナティブスペース)
機能	芸術鑑賞	芸術創造、市民交流、ワークショップ
運営	行政、行政系財団	アーティストラン、アートNPO
対象	アートファン	アーティスト、アートファン、市民
体質	保守的	開放的、イノベティブ



KAAPELI (Helsinki)



2024 - 31.7.2024
**ARI LAASJARVI: DARK
REST TALES**
Näyttelyt Galleriat
a & koe
Kameraseura Galleria West
an Laasjärvi





5.6.2024 - 31.7.2024
**VALLIGRAFIA RY:
KESALLA KERRAN**
Näyttelyt Galleriat
Taidenäyttelyt
Näe & koe
● Käytävägalleria

Creative City Yokohama 2004-




BankART1920

(写真:美術手帖)



townphoto.net



みなとみらい 21

関内地区

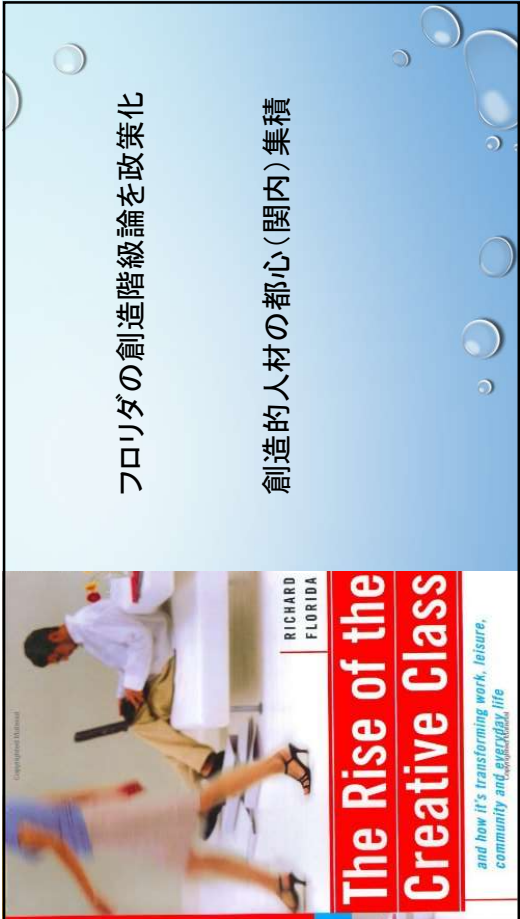
2000年代初頭関内の衰退が進んでいた



故北澤猛
横浜市参与・東大教授
元横浜市都市デザイン室長

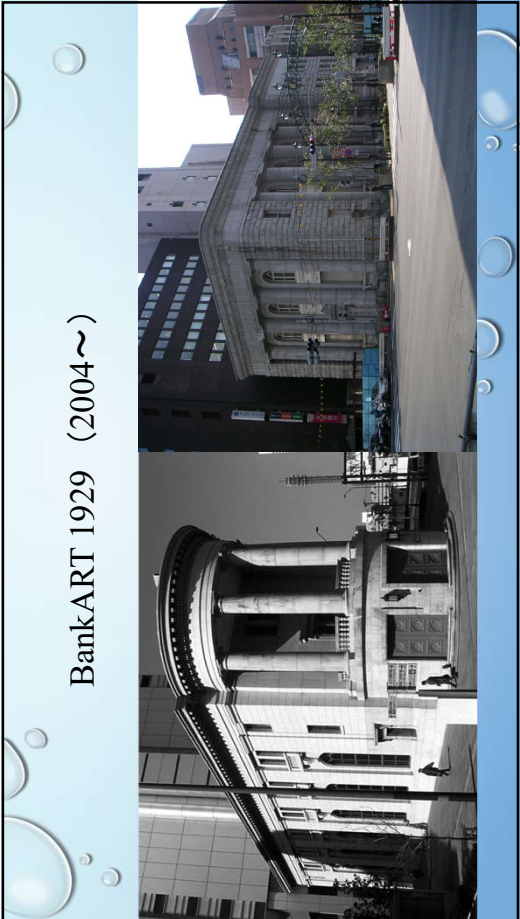
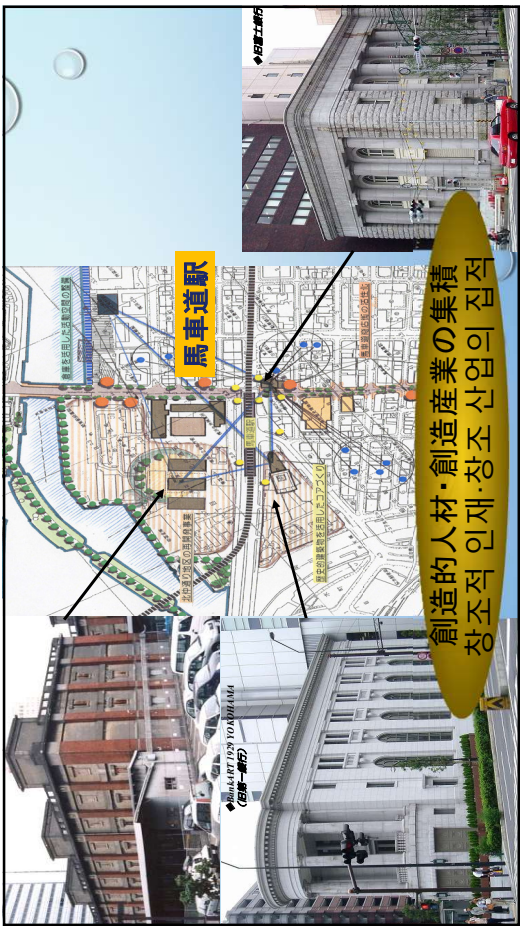
文化芸術創造都市ークリエイティブシティ・ヨコハマ
の形成に向けた提言

2004年1月14日
文化芸術・観光振興による都市部活性化検討委員会



フロリダの創造階級論を政策化

創造的人材の都心(関内)集積



BankART 1929 (2004~)

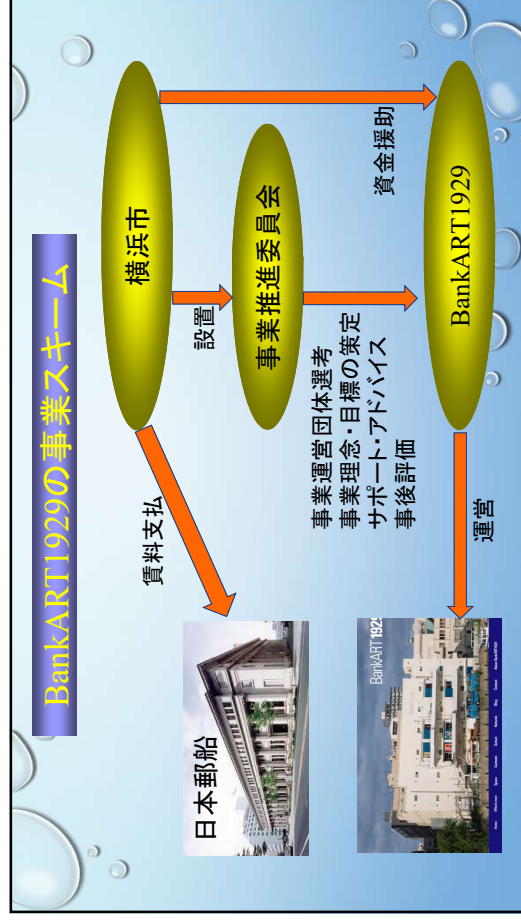
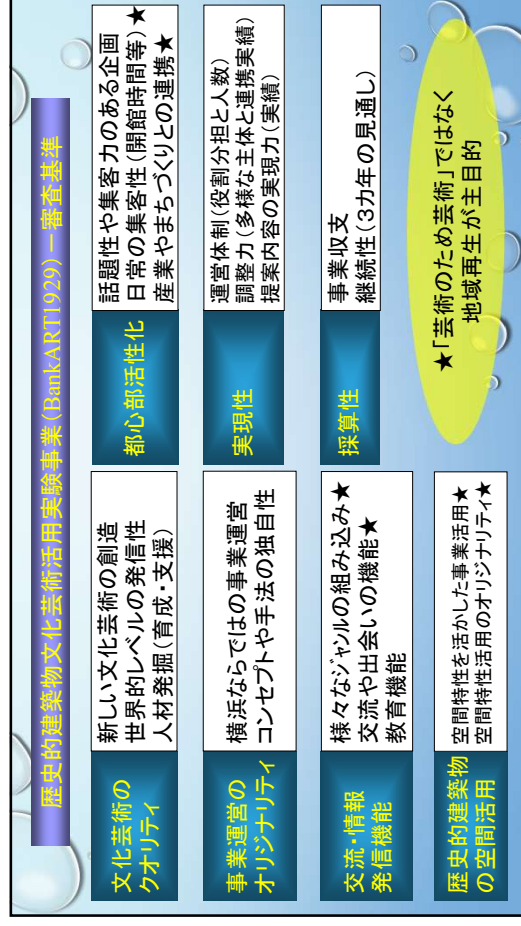
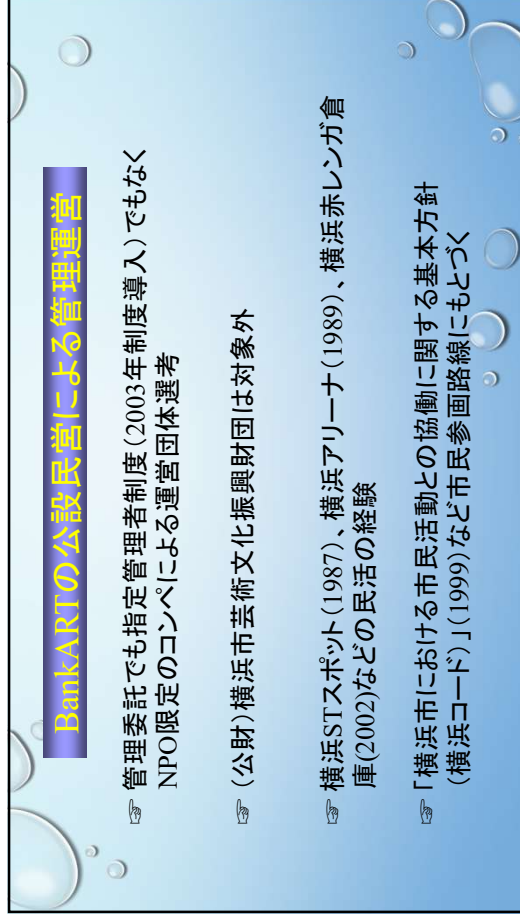
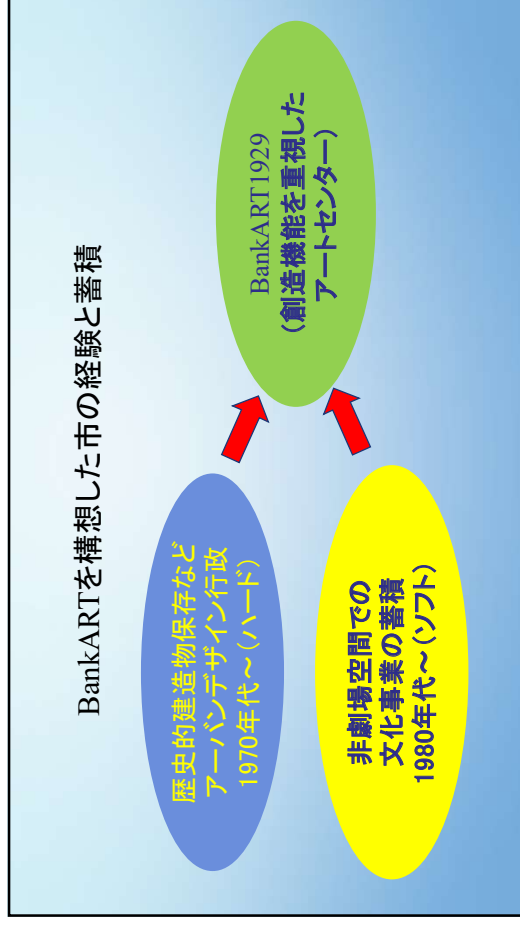


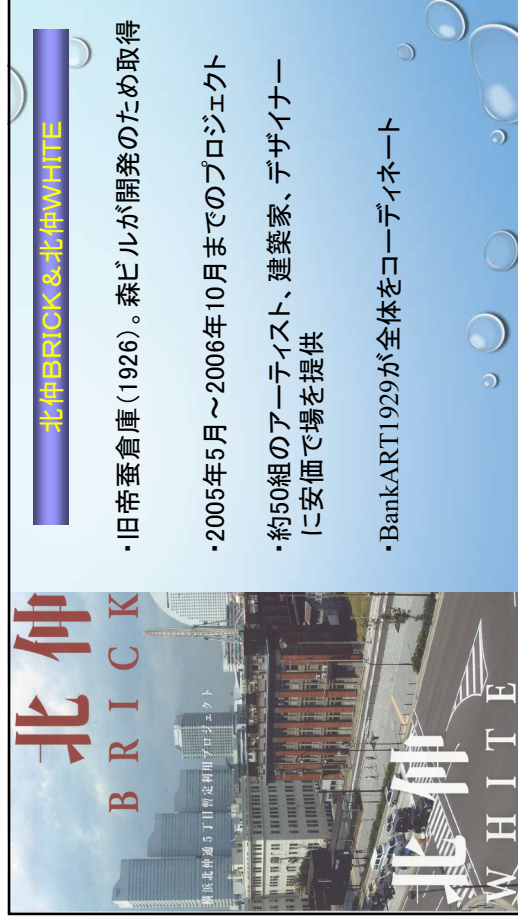
2004年-2007年

文化芸術都市創造事業本部

創造都市推進課

文化政策課





北仲
BRICK
&
WHITE

横浜北仲海5丁目新開発プロジェクト

- ・旧帝蚕倉庫（1926）。森ビルが開発のため取得
- ・2005年5月～2006年10月までのプロジェクト
- ・約50組のアーテリスト、建築家、デザイナーに安価で場を提供
- ・BankART1929が全体をコーディネート

[illegible]

ZAIM(2006-2010。現THE DAYS)

旧大蔵省関東財務局
横浜財務事務所
横濱トリエンナーレの拠点

日本大通りでのオープニングフェ
(2005年7月～)



本町ビルシンゴカイ

- 2006年11月～2022年
- 15組のデザイナー

501	502	503	401	402	403	404	405	406	407
501 501-1 501-2 501-3 501-4 501-5 501-6 501-7 501-8 501-9 501-10 501-11 501-12 501-13 501-14 501-15 501-16 501-17 501-18 501-19 501-20 501-21 501-22 501-23 501-24 501-25 501-26 501-27 501-28 501-29 501-30 501-31 501-32 501-33 501-34 501-35 501-36 501-37 501-38 501-39 501-40 501-41 501-42 501-43 501-44 501-45 501-46 501-47 501-48 501-49 501-50 501-51 501-52 501-53 501-54 501-55 501-56 501-57 501-58 501-59 501-60 501-61 501-62 501-63 501-64 501-65 501-66 501-67 501-68 501-69 501-70 501-71 501-72 501-73 501-74 501-75 501-76 501-77 501-78 501-79 501-80 501-81 501-82 501-83 501-84 501-85 501-86 501-87 501-88 501-89 501-90 501-91 501-92 501-93 501-94 501-95 501-96 501-97 501-98 501-99 501-100	502 502-1 502-2 502-3 502-4 502-5 502-6 502-7 502-8 502-9 502-10 502-11 502-12 502-13 502-14 502-15 502-16 502-17 502-18 502-19 502-20 502-21 502-22 502-23 502-24 502-25 502-26 502-27 502-28 502-29 502-30 502-31 502-32 502-33 502-34 502-35 502-36 502-37 502-38 502-39 502-40 502-41 502-42 502-43 502-44 502-45 502-46 502-47 502-48 502-49 502-50 502-51 502-52 502-53 502-54 502-55 502-56 502-57 502-58 502-59 502-60 502-61 502-62 502-63 502-64 502-65 502-66 502-67 502-68 502-69 502-70 502-71 502-72 502-73 502-74 502-75 502-76 502-77 502-78 502-79 502-80 502-81 502-82 502-83 502-84 502-85 502-86 502-87 502-88 502-89 502-90 502-91 502-92 502-93 502-94 502-95 502-96 502-97 502-98 502-99 502-100	503 503-1 503-2 503-3 503-4 503-5 503-6 503-7 503-8 503-9 503-10 503-11 503-12 503-13 503-14 503-15 503-16 503-17 503-18 503-19 503-20 503-21 503-22 503-23 503-24 503-25 503-26 503-27 503-28 503-29 503-30 503-31 503-32 503-33 503-34 503-35 503-36 503-37 503-38 503-39 503-40 503-41 503-42 503-43 503-44 503-45 503-46 503-47 503-48 503-49 503-50 503-51 503-52 503-53 503-54 503-55 503-56 503-57 503-58 503-59 503-60 503-61 503-62 503-63 503-64 503-65 503-66 503-67 503-68 503-69 503-70 503-71 503-72 503-73 503-74 503-75 503-76 503-77 503-78 503-79 503-80 503-81 503-82 503-83 503-84 503-85 503-86 503-87 503-88 503-89 503-90 503-91 503-92 503-93 503-94 503-95 503-96 503-97 503-98 503-99 503-100	401 401-1 401-2 401-3 401-4 401-5 401-6 401-7 401-8 401-9 401-10 401-11 401-12 401-13 401-14 401-15 401-16 401-17 401-18 401-19 401-20 401-21 401-22 401-23 401-24 401-25 401-26 401-27 401-28 401-29 401-30 401-31 401-32 401-33 401-34 401-35 401-36 401-37 401-38 401-39 401-40 401-41 401-42 401-43 401-44 401-45 401-46 401-47 401-48 401-49 401-50 401-51 401-52 401-53 401-54 401-55 401-56 401-57 401-58 401-59 401-60 401-61 401-62 401-63 401-64 401-65 401-66 401-67 401-68 401-69 401-70 401-71 401-72 401-73 401-74 401-75 401-76 401-77 401-78 401-79 401-80 401-81 401-82 401-83 401-84 401-85 401-86 401-87 401-88 401-89 401-90 401-91 401-92 401-93 401-94 401-95 401-96 401-97 401-98 401-99 401-100	402 402-1 402-2 402-3 402-4 402-5 402-6 402-7 402-8 402-9 402-10 402-11 402-12 402-13 402-14 402-15 402-16 402-17 402-18 402-19 402-20 402-21 402-22 402-23 402-24 402-25 402-26 402-27 402-28 402-29 402-30 402-31 402-32 402-33 402-34 402-35 402-36 402-37 402-38 402-39 402-40 402-41 402-42 402-43 402-44 402-45 402-46 402-47 402-48 402-49 402-50 402-51 402-52 402-53 402-54 402-55 402-56 402-57 402-58 402-59 402-60 402-61 402-62 402-63 402-64 402-65 402-66 402-67 402-68 402-69 402-70 402-71 402-72 402-73 402-74 402-75 402-76 402-77 402-78 402-79 402-80 402-81 402-82 402-83 402-84 402-85 402-86 402-87 402-88 402-89 402-90 402-91 402-92 402-93 402-94 402-95 402-96 402-97 402-98 402-99 402-100	403 403-1 403-2 403-3 403-4 403-5 403-6 403-7 403-8 403-9 403-10 403-11 403-12 403-13 403-14 403-15 403-16 403-17 403-18 403-19 403-20 403-21 403-22 403-23 403-24 403-25 403-26 403-27 403-28 403-29 403-30 403-31 403-32 403-33 403-34 403-35 403-36 403-37 403-38 403-39 403-40 403-41 403-42 403-43 403-44 403-45 403-46 403-47 403-48 403-49 403-50 403-51 403-52 403-53 403-54 403-55 403-56 403-57 403-58 403-59 403-60 403-61 403-62 403-63 403-64 403-65 403-66 403-67 403-68 403-69 403-70 403-71 403-72 403-73 403-74 403-75 403-76 403-77 403-78 403-79 403-80 403-81 403-82 403-83 403-84 403-85 403-86 403-87 403-88 403-89 403-90 403-91 403-92 403-93 403-94 403-95 403-96 403-97 403-98 403-99 403-100	404 404-1 404-2 404-3 404-4 404-5 404-6 404-7 404-8 404-9 404-10 404-11 404-12 404-13 404-14 404-15 404-16 404-17 404-18 404-19 404-20 404-21 404-22 404-23 404-24 404-25 404-26 404-27 404-28 404-29 404-30 404-31 404-32 404-33 404-34 404-35 404-36 404-37 404-38 404-39 404-40 404-41 404-42 404-43 404-44 404-45 404-46 404-47 404-48 404-49 404-50 404-51 404-52 404-53 404-54 404-55 404-56 404-57 404-58 404-59 404-60 404-61 404-62 404-63 404-64 404-65 404-66 404-67 404-68 404-69 404-70 404-71 404-72 404-73 404-74 404-75 404-76 404-77 404-78 404-79 404-80 404-81 404-82 404-83 404-84 404-85 404-86 404-87 404-88 404-89 404-90 404-91 404-92 404-93 404-94 404-95 404-96 404-97 404-98 404-99 404-100	405 405-1 405-2 405-3 405-4 405-5 405-6 405-7 405-8 405-9 405-10 405-11 405-12 405-13 405-14 405-15 405-16 405-17 405-18 405-19 405-20 405-21 405-22 405-23 405-24 405-25 405-26 405-27 405-28 405-29 405-30 405-31 405-32 405-33 405-34 405-35 405-36 405-37 405-38 405-39 405-40 405-41 405-42 405-43 405-44 405-45 405-46 405-47 405-48 405-49 405-50 405-51 405-52 405-53 405-54 405-55 405-56 405-57 405-58 405-59 405-60 405-61 405-62 405-63 405-64 405-65 405-66 405-67 405-68 405-69 405-70 405-71 405-72 405-73 405-74 405-75 405-76 405-77 405-78 405-79 405-80 405-81 405-82 405-83 405-84 405-85 405-86 405-87 405-88 405-89 405-90 405-91 405-92 405-93 405-94 405-95 405-96 405-97 405-98 405-99 405-100	406 406-1 406-2 406-3 406-4 406-5 406-6 406-7 406-8 406-9 406-10 406-11 406-12 406-13 406-14 406-15 406-16 406-17 406-18 406-19 406-20 406-21 406-22 406-23 406-24 406-25 406-26 406-27 406-28 406-29 406-30 406-31 406-32 406-33 406-34 406-35 406-36 406-37 406-38 406-39 406-40 406-41 406-42 406-43 406-44 406-45 406-46 406-47 406-48 406-49 406-50 406-51 406-52 406-53 406-54 406-55 406-56 406-57 406-58 406-59 406-60 406-61 406-62 406-63 406-64 406-65 406-66 406-67 406-68 406-69 406-70 406-71 406-72 406-73 406-74 406-75 406-76 406-77 406-78 406-79 406-80 406-81 406-82 406-83 406-84 406-85 406-86 406-87 406-88 406-89 406-90 406-91 406-92 406-93 406-94 406-95 406-96 406-97 406-98 406-99 406-100	407 407-1 407-2 407-3 407-4 407-5 407-6 407-7 407-8 407-9 407-10 407-11 407-12 407-13 407-14 407-15 407-16 407-17 407-18 407-19 407-20 407-21 407-22 407-23 407-24 407-25 407-26 407-27 407-28 407-29 407-30 407-31 407-32 407-33 407-34 407-35 407-36 407-37 407-38 407-39 407-40 407-41 407-42 407-43 407-44 407-45 407-46 407-47 407-48 407-49 407-50 407-51 407-52 407-53 407-54 407-55 407-56 407-57 407-58 407-59 407-60 407-61 407-62 407-63 407-64 407-65 407-66 407-67 407-68 407-69 407-70 407-71 407-72 407-73 407-74 407-75 407-76 407-77 407-78 407-79 407-80 407-81 407-82 407-83 407-84 407-85 407-86 407-87 407-88 407-89 407-90 407-91 407-92 407-93 407-94 407-95 407-96 407-97 407-98 407-99 407-100

創造空間万国橋SOKO(2006年4月～2021年9月)



- 旧大阪商船三井船舶(株)(1968年建設)
- アニメスタジオ、デザインオフィス、ファッションスクール、写真スタジオ、建築家オフィス、イベント会社などが入居
- 横浜市の「映像コンテンツ制作企業等立地促進助成制度」適用第1号

桜木町エリアへ拡大



- 急な坂スタジオ(2006年～)
 - 旧老松会館(市営結婚式場)
 - アートネットワーク・ジャパンとSTスポットが運営
 - プロの演劇、ダンスカンパニーがレジデント
- 創造空間9001(旧東横線桜木町駅舎)
 - (2007年9月～2010年3月)
 - 横浜市が買い取り改修工事を行った

東京芸術大学大学院映像研究科



- 映画専攻(2005年)
 - 旧富士銀行
- メディア専攻(2006年)
 - 客船ターミナル
- アニメーション専攻(2008年)
 - 万国橋会議センター

62

横浜国立大学院建築都市スクールY-GSA

Yokohama Graduate
School of Architecture

2007年～(松島ビル)


横浜国立大学と横浜市の
覚書により2007年設立

山本理顕(校長)
飯田善彦
北山恒
西沢立衛





黄金町プロジェクト Kogane-cho project

京浜急行線日ノ出町駅と黄金町駅の間のガード下の路地は俗に「黄金町」と呼ばれ、かつては「ちよんの間」という約250軒の小さな売春宿で約700～800人が客をとっていた



戦後間もない頃の黄金町は売春だけでなく、麻薬取引のメッカでもあった。黒澤明の「天国と地獄」でもこの街の様子が描かれている

(ヨコハマ経済新聞2006年12月6日)



黄金町バザール
KOGANECHO BAZAAR

2016

展示期間 | 2016年10月1日[土]～11月6日[日]
展示時間 | 2016年10月1日[土]～9月30日[金]
10時～18時

アジア的生活
LIFE - WORLD OF ASIA




(黄金町エリアマネジメントセンター)

(創造都市横浜)

創造都市ネットワーク日本 (CCNJ)

Creative City Network of Japan

創造都市ネットワーク日本

127自治体

2013.1.13 10:00～16:00
ヨコハマ創造都市センター(YCC) 4F 会議室

文
設立総会・記念シンポジウム

第1部 10:00～11:45 ◆ 創造都市ネットワーク日本 (CCNJ) 設立総会
第2部 11:55～16:00 ◆ 記念シンポジウム
◆ 創造都市ネットワーク日本 (CCNJ) 設立総会
◆ 創造都市ネットワーク日本 (CCNJ) 設立総会
◆ 創造都市ネットワーク日本 (CCNJ) 設立総会



 Creative Cities Network <small>The UNESCO Creative Cities Network (UCCN) promotes cooperation with and among cities that have identified creativity as a strategic factor for sustainable urban development.</small>				
2008 神戸市	디자인	2015 丹波篠山市	クラフト&フォークアート	
名古屋市	디자인			
2009 金沢市	クラフト&フォークアート	2017 山形市	映画	
2013 札幌市	メディアアート	2019 旭川市	デザイン	
2014 鶴岡市	食文化	2021 臼杵市	食文化	
浜松市	音楽	2023 岡山市	文学	





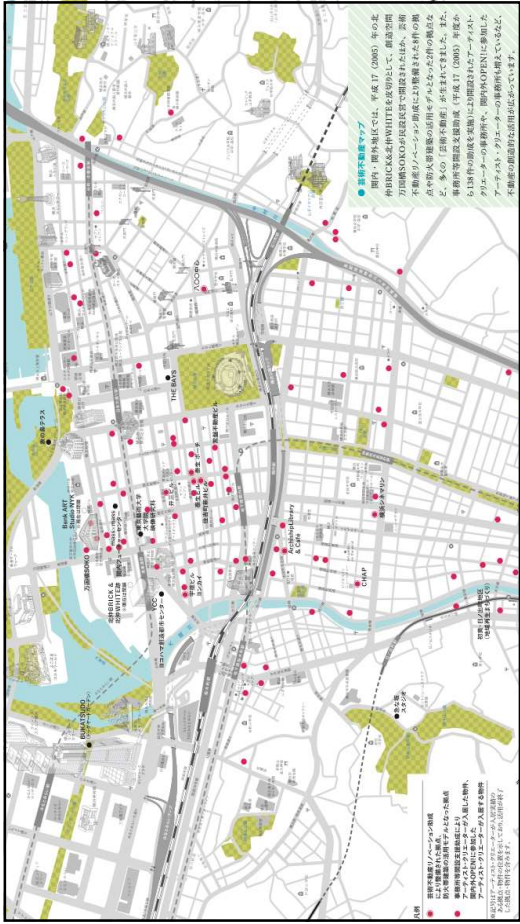
東アジア文化都市 (2014～)
 동아시아 문화도시



1. 日中韓三国の相互理解と友好関係の促進
2. 創造産業と観光振興による持続的發展
3. 日中韓に共通する文化的基盤の強化による
平和の促進

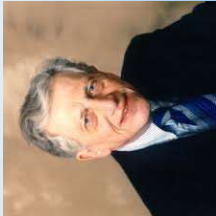
東アジア文化都市 (2014～)				
  	2014	2015	2016	2017
	Yokohama (横浜)	Niigata (新潟)	Nara (奈良)	Kyoto (京都)
	Kanazawa (金沢)			
	2018			
	Quanzhou (泉州)	Qingdao (青島)	Ningbo (寧波)	Changsha (長沙)
	Harbin (ハルビン)			
	Busan (釜山)			
	Gwangju (光州)	Cheongju (淸州)	Jeju (濟州島)	Daegu (大邱)

2018	2019	2020	2021	2022	2023
Kanazawa (金沢)	Tosimaku (豊島区)	Kitakyushu (北九州)		Oita (大分県)	Shizuoka (静岡県)
Harbin (ハルビン)	Xi'an (西安)	Yangzhou (揚州)	Dunhuang (敦煌)	Jinan (済南)	Chengdu (成都)
Busan (釜山)	Incheon (仁川)	Suncheon (順天)		Wenzhou (温州)	Méizhōu (梅州)
				Gyeongju (慶州)	Jeonju (全州)



Peter Hall *Cities in Civilization* (1998)

都市の本質は「創造性」である 도시의 본질은 '창조성'
創造性は歴史的地理的に偏在する



©Academia Europaea

『都市と文明』佐々木雅幸監訳 I 2019年、II 2021年、III 2022年



• 발제 発題

BUSAN CULTURAL FOUNDATION

예술이 도시를 움직일 때 芸術が都市を動かす時

호소부치 타마키 (BankART1929 대표)

細淵太麻紀 (BankART1929 代表)



Profile

BankART1929대표 / 아티스트

BankART1929代表 / アーティスト

대표작『배를 만드는 이야기』

代表作「船をつくる話」



문화체육관광부
Ministry of Culture, Sports and Tourism



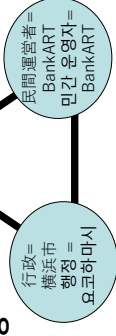
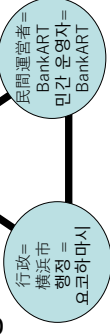
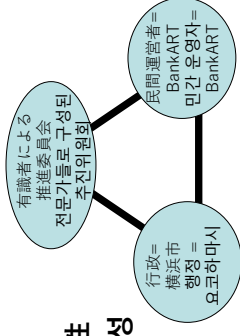
부산문화재단
BANKART1929 FOUNDATION

협력協力: BankART1929



BankARTの特徴

- 歴史的建造物等の活用
- 역사적 건축물 등의 활용
- 公設民営の新しい可能性
- 공설민영의 새로운 가능성



- ```

graph TD
 A[● 歴史的建造物等の活用] --> B[都市を活性化]
 C[● 公設民営の新しい可能性] --> D[都市を活性化]
 B --> E[도시를 활성화하다]
 D --> E
 E --> F[最終的なミッション
최종적인 미션]

```

● 歴史的建造物等の活用 → 都市を活性化 → 도시를 활성화하다

● 公設民営の新しい可能性 → 都市を活性化 → 도시를 활성화하다

↑

↑

最終的なミッション  
최종적인 미션

- 公設民營의 新しい可能性  
공설민영의 새로운 가능성  
최종적인 미션  
最終的なミッション

← ←

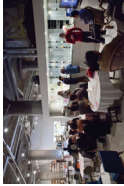
← ←

## 최종적인 미션

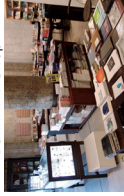
### 主催事業 주최 사업

- 構兵のもつ財産をリレーする
- 全館使用の大型催展（空間への意義づけ）
- 新しいアート・アーティストの発掘
- ヨコハマトリエンナーレなど  
周辺施設との連動

BankART Café & Pub



BankART Shop



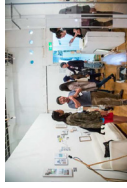
Contents Publishing



BankART School



Artist in Studio



### コーディネート事業 코디네이트 사업

- スペースをお金で買う貸展事業ではなく  
優れたon選した企画に貸し出す
- BankARTが関わりコーディネートする  
ことで一歩先にアプローチ

### 食と現代美術 음식과 현대미술



周辺の飲食店56店舗に作品を展示

주변 음식점 56곳에 작품을 전시



北仲BRICK & WHITE (旧帝産倉庫ビル) 2005.6-2006.10  
森じりの北仲地区再開発にともなう1年半限定の集合アトリエ  
53組253名のアーティストやクリエイターが入居  
自治による運営やオーナーブンススタジオ等地域に対して開放していく運営手法が確  
立

북나카 BRICK & WHITE(구 재산창고빌딩) 2005.6-2006.10  
모리벨당의 북나카 지역 재개발에 따른 1년 반 한정 공동 아틀리에  
53팀 253명의 아티스트 및 크리에이터 입주  
자치 운영 및 오픈 스튜디오 등 지역 사회에 개방하는 운영 방식 확립

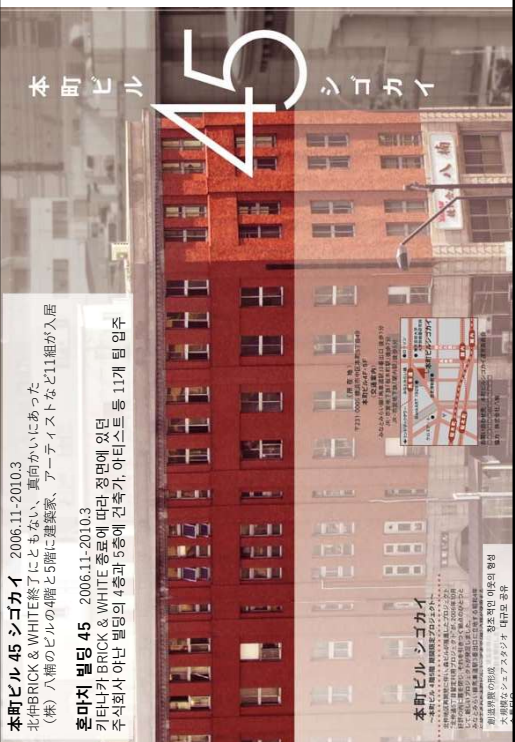
街道 再開発の形成  
多様なアーティストやクリエイター 集約な運営



2025 한일문화미래컨퍼런스  
「국제 심포지움」

**本町ビル 45 シゴカイ** 2006.11-2010.3  
北仲BRICK & WHITEを終了にともない、真向かいにあった、  
(株)八幡のビルの4階と5階に建築家、アーテュイストなど11組が入居

**혼마치 빌딩 45** 2006.11-2010.3  
키타나카 BRICK & WHITE 종료에 따라 정면에 있던  
주식회사 아난 빌딩의 4층과 5층에 건축가, 아티스트 등 11개 팀 입주



**本町ビル シゴカイ**  
本町ビルは、1980年代後半に建設された「新港ピア」を、次のトリエンナーレまでの2年間、53組の建築家やアーテュイストのシェアスタジオとして活用

創造空間の形成 豊洲地区 旧豊洲 豊洲  
本町ビル シェアスタジオ 豊洲地区 豊洲

2025 韓日文化未来カンファレンス  
「国際シンポジウム」

**宇徳ビル ヨンカイ** 2010.9-2017.9  
本町ビルシゴカイ終了にともない、宇徳ビルの4階部分に、建築家、アーテュイストなど15組が入居

**우득빌딩 4층** 2010.9-2017.9  
혼마치빌딩 45층 종료에 따라, 우득빌딩 4층 부분에 건축가, 아티스트 등 15팀 입주



**「宇徳ビル ヨンカイ」が稼働しました。**

創造空間の形成 豊洲地区 旧豊洲 豊洲  
本町ビル シェアスタジオ 豊洲地区 豊洲

**ハンマーヘッドスタジオ「新・港区」** 2012.5-2014.3  
ヨコハマトリエンナーレの会場として10年間で建設された「新港ピア」を、次のトリエンナーレまでの2年間、53組の建築家やアーテュイストのシェアスタジオとして活用

**해머헤드 스튜디오「신·마나토구」** 2012.5-2014.3  
요코하마 트리엔날레의 전시장으로 10년간 한창 건설된 「신항 피어」를, 다음 트리엔날레까지의 2년간 53팀의 건축가 및 아티스트의 공유 스튜디오로 활용

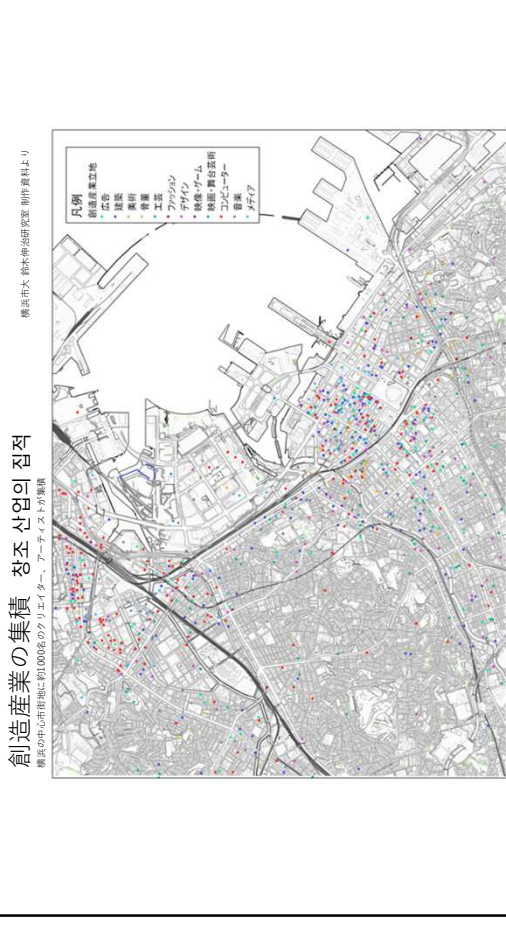


創造空間の形成 豊洲地区 旧豊洲 豊洲  
本町ビル シェアスタジオ 豊洲地区 豊洲

**ハンマーヘッドスタジオ「新・港区」**  
**해머헤드 스튜디오「신·마나토구」**  
2012.5-2014.3



創造空間の形成 豊洲地区 旧豊洲 豊洲  
本町ビル シェアスタジオ 豊洲地区 豊洲





## 2025 한일문화미래컨퍼런스 「국제 심포지움」

2011 「日韓交流の新しい可能性 ～朝鮮通信使を起点に」 @横浜  
2011 「한일 교류의 새로운 가능성 ～조선 통신사를 기점으로」 @요코하마



### シンポジウム 심포지엄



2015 「日韓交流の新しい可能性part2 ～朝鮮通信使を起点に」 @要有  
2015 「한일 교류의 새로운 가능성 part2 ～조선 통신사를 기점으로」 @스마리

## 2025 韓日文化未来カンファレンス 「国際シンポジウム」

2012 新・朝鮮通信使（釜山文化財団）として釜山のアーティスト2名が韓系に滞在  
新・釜山通信使（釜山文化財団）として釜山のアーティスト2名が韓系に滞在



2013 海外で観ているサントラムが韓国の音楽家とコラボ（東アジア文化都市）  
조보우지 마스지 마시는 섣드림이 한국 음악가들과 콜라보 (동아시아문화도시)



2013 BankART Life 4－東アジアの夢（東アジア文化都市）  
BankART Life 4－동아시아의 꿈 (동아시아문화도시)

## 歴史的建造物の活用 역사적 건축물 등의 활용

2004.3～2006.3 実験事業 실험 사업

BankART 1929 Yokohama  
旧第一銀行 旧 제1은행

2004.3～2008.3



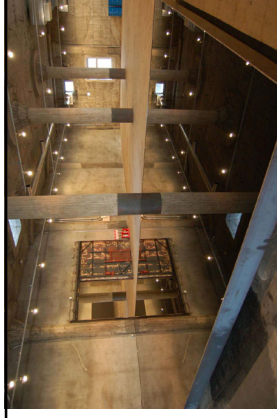
BankART 1929 Bashamichi  
旧富士銀行 旧 후지은행

2004.3～12



港灣倉庫 (近代遺構) の活用

BankART Studio NYK (元日本郵船倉庫 古 일본우편선 창고)  
1957년竣工 1957년 준공  
활용 기간 2005.1~2018.3



**@BankART Studio NYK**

原口典之「社会と物質」 2008  
하라구치 노리유키 「사회와 물질」  
2008

川俣 正 「Expand BankART」 2013  
기오마타 마사 「Expand BankART」  
2013



## 2018

BankART Studio NYKの解体 BankART Studio NYKの解体



대규모 시설을 잃고 도시에 분산  
 大きな施設を失い都市に分散



BankART Home (関内の飲食店街)  
2018.4-2020.11



BankART SILK (シルクセンター内)  
2019.2-2020.7



R16 studio (東横線廃跡高架下)  
2018.8-2022.3



BankART Temporary (1 年限定活用)  
2020.4-2021.3



遊休空間の活用  
유허 공간의 활용

BankART Station 2019.2~  
新富島駅 駅構内や道路用地  
신평도역 역 구내 및 도로 용지




遊休空間の活用  
유허 공간의 활용

BankART Station 2019.2~  
新富島駅 駅構内や道路用地  
신평도역 역 구내 및 도로 용지



BankART KAIKO  
2020.10~

旧構兵生糸検査所付属専用倉庫復元施設内  
구 요코하마 비단사 검사소 부속 전용 창고 복원 시설 내



BankART Station 2025.3.22 Sat + 23 Sun  
13:00-19:00  
@ BankART Station 新富島駅 B1F  
入場無料

아트와  
출애우  
2日間!  
즐거우  
즐거우

總勢 2000 名 招!

アートと  
出会う  
2日間!  
楽しむ  
楽しむ

アートが  
開く、  
BankART Station  
最後の展覧会

BankARTの活動継続にご支援ください！ 新潟市南20年間の「都市の建  
物」を未来につなぐために BankART is Movement!

13,103,911円  
目標金額 15,000,000円  
残り 1,896,089円  
@ ユニバー 終了しました  
2025.03.22(土) 13:00~19:00

クラウドファンディング 1300万円  
チャリティ 募集り上げ 700万 (50%以上を寄付)  
クラウドファン1300円 集  
자선 전시회 매출 700만 원 (50% 이상 기부)

BankART의 기본적인理念 BankART의 기본적인 이념

街にひらく 都市に棲む  
도시에 열려 있다 도시에서식하는

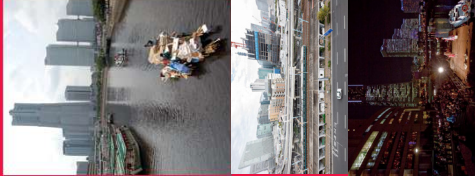
眠っている・放棄された場所のポテンシャルを引き出す  
吳懶れた風景の見え方を變えていく  
장들이 있거나 버려진 장소의 잠재력을 끌어내다  
익숙한 풍경에 대한 시각을 바꿔나간다

高次に解く きちんとしたゲリラ  
고차로 풀다 이치에 맞는 게릴라

安直な答えにはしらない  
쉽게 답을 내지 않는다

都市の経験 リレーする構造  
도시의 경험 릴레이하는 구조

経験を積層化させ、システムを構築し、  
自発的な運動体へと変化を促していく  
경험을 축적하고 시스템을 구축하며  
자발적인 운동체로 변화하도록 촉진해 나간다



Setouchi



瀬戸内国際芸術祭2025  
Setouchi Triennale 2025

「高見島アートトレイル」  
TAKAMISHIMA ART TRAIL

| Autumn | 2025.10.3 – 11.9



Direction: BankART1929

参加作家：浅井彰介、森嶋卓、谷本真理、保良雄  
中共ミチコ・大塚佑介、BankART1929+PHスタジオ  
Artists: Yusuke ASA, Toko IZUMI, Masaya HASHIMOTO,  
Mari TANIMOTO, Takeshi YASURA,  
Michiko MAKATANI+Yusuke OMURO, BankART1929+PH  
studio

BankART1929のこれからは？  
BankART1929의 앞으로는?

オルタナティブスペース から  
아트피크사이트 へ

From the Alternative Space To the Atopic Site

대안 공간으로부터 아토픽 사이트로

아트피크 (atopic) は、トピック (topic) = 固有の場所 の否定形  
「どこでもない場所」 「場所を特定しない」

아토픽(atopic)은 토픽(topic) = 고유 의 장소의 부정형  
「어디에도 속하지 않는 장소」 「장소를 특정하지 않는」

Setouchi





Setouchi



Yusuke ASAI



Masaya HASHIMOTO



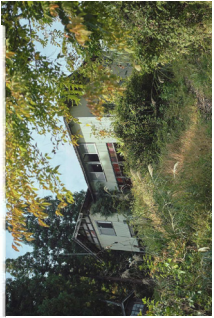
Michiko NAKATANI  
+ Yusuke OMURO



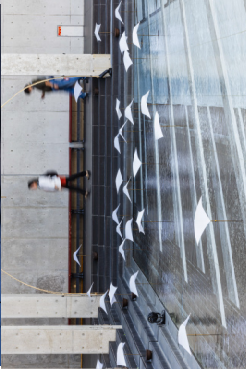
BankART1929+PH studio

Echigo-Tsumari

2006~  
BankART 兼有 桐山の家  
BankART Tsumari Kiriyama House



Echigo-Tsumari



Yokohama Minatomirai

ExPLOT Studio



シェアスタジオの運営 公営 ス튜디오 운영

異なる分野とアートの結節点として  
それぞれの分野のコーディネーターと協働  
してプログラムを推進する

서론 다른 분야와 예술의 접점으로서  
각 분야의 코디네이터와 협력하여  
프로그램을 추진한다

アート ✕ 企業 科学 福祉 大学 街

예술 ✕ 기업 과학 복지 대학 도시



Yokohama Minatomirai

ExPLOT Studio

Yokohama Portside  
ヨコハマ・ポートサイド・プロジェクト

Re:Portside  
Project Vol.1

June 2025 - February 2026  
片岡純也 + 岩竹理恵

Yokohama Portside Area

Junya KATAOKA + Rie IWATAKE

Yokohama Portside

Yokohama Re:Portside Project  
片岡純也 + 岩竹理恵と行く「ポートサイトを学ぶツアー」  
カタオカ 純也 + 이와타케 りえ와 함께  
「포트사이드를 배우는 투어」

2025.7.6  
ポートサイド公園の楽しみ方  
「ポートサイド公園」を学ぶには  
「ポートサイド公園」を学ぶには  
「ポートサイド公園」を学ぶには

2025.7.5  
アートを通じた未来のまちづくり  
「アートを通じた未来のまちづくり」  
「アートを通じた未来のまちづくり」

2025.7.5  
アートを通じた未来のまちづくり  
「アートを通じた未来のまちづくり」  
「アートを通じた未来のまちづくり」

Yokohama Minatomirai

Yokohama Re:Portside Project  
「スタートギャラリー」に  
展示する作品を募集！

OPEN CALL

横濱ゲートタワー「スタートギャラリー」に  
展示する作品を募集！



Yokohama Minatomirai



Yokohama Minatomirai

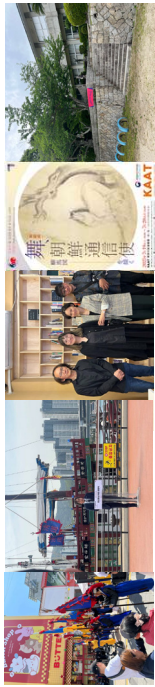
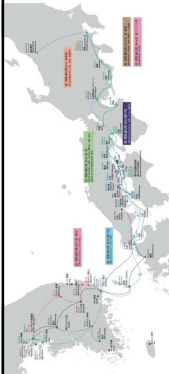


2025年公募選出 四方謙一 2025년 공모 선정 사방 겐이지  
Exhibition Period : 2025.12.5-2026.3.29

Busan KOREA

## 続・朝鮮通信使 속·조선통신사

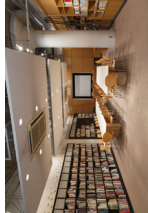
日韓国交正常化60周年 韓日 国교 정상화 60주년  
朝鮮通信使を基点とした交流事業 朝鮮통신사를 기점으로 한 교류 사업  
釜山文化財団 부산문화재단  
パートナーとして協働 パート너로서 협력



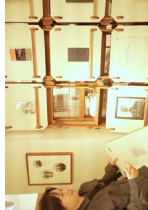
Akita



旧町役場を改装した「北のくらし研究所」  
に運び込まれた書籍154冊



BankART Studio NYK  
のライブラリー



参考:韓国仁川のLBDF

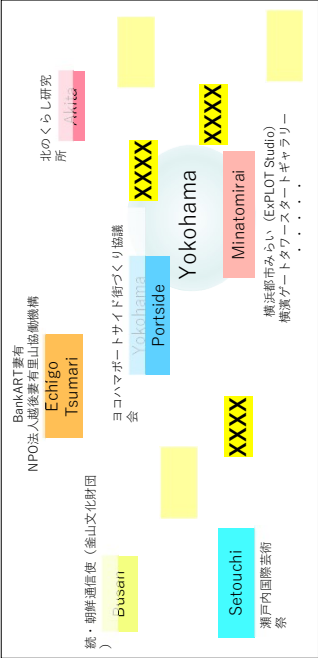


屋台研究家の下孝典氏に  
移動本箱を設計依頼

## オルタナティブスペースからアトピックサイトへ

From the Alternative Space  
To the Atopic Site

### 대안 공간으로부터 아토픽 사이트로



## 都市にとってアートとは？

### 도시에게 예술이란

- 物の見方を変える (考え方、捉え方のヒント)  
既成の価値観の先にあるもの 「高次に解く」
- 答えを提示するものでなく問いを提示するもの
- サードプレイス (居場所)
- 関係を構築するための具体的な開口部
  - 事物を 바라보는 시각을 바꾸는 것 (생각과 인식의 힌트)  
기존 가치관의 너머에 있는 것 '고차원적으로 풀어내는 것'
  - 답을 제시하는 것이 아니라 질문을 제시하는 것
  - 서드플레이스 (머무름 곳)
  - 관계를 구축하기 위한 구체적인 개구부







• 발제 発題

BUSAN CULTURAL FOUNDATION

# 예술과 문화를 통한 신뢰 구축과 국제 평화 芸術文化を通じて築く信頼と国際平和

요시모토 미츠히로 (합동회사 문화커먼즈연구소 대표·연구총괄)

吉本 光宏 (合同会社文化コモンズ研究所代表・研究統括)



## Profile

합동회사 문화커먼즈연구소 대표·연구총괄  
合同会社文化コモンズ研究所 代表・研究統括  
일반재단법인 나가노현 문화진흥사업단 이사장  
一般財団法人長野県文化振興事業団 理事長



협력 協力 : BankART 1929





韓日文化未来カンファレンス | 文化芸術で地域をつなぐ  
2025.9.26

## 芸術文化を通じて築く信頼と 国際平和

Trust built through arts and Culture and  
World Peace

吉本光弘 | 文化commons研究所  
YOSHIMOTO Mitsuhiro, Co-founder and Director, Institute for Culture Commons

今日お話ししたいこと  
Today's Topics

1. 釜山国際文化フォーラム2023  
Busan International Cultural Forum 2023
2. 世界都市文化フォーラム  
World Cities Cultural Forum

# 1.

## 釜山国際文化フォーラム 2023 Busan International Cultural Forum 2023

芸術文化は、どのような形で、対立する近隣諸国の平和を回復し、  
世界を変えられるか？

How can arts and culture change the world by restoring peace  
between conflicting neighboring countries?

Why art and culture for  
global peace?

なぜ国際平和に芸術文  
化が必要なのか

# 1

Arts and culture are capable of  
international exchange **independent of**  
**politics and economics.**

芸術文化は政治や経済から独立した  
国際交流が可能である

National power and economic strength  
are the seeds of competition or strife, but  
there is **no competition in arts and culture.**

国力や経済力は競争や紛争の種になるが、  
芸術文化には競争がない

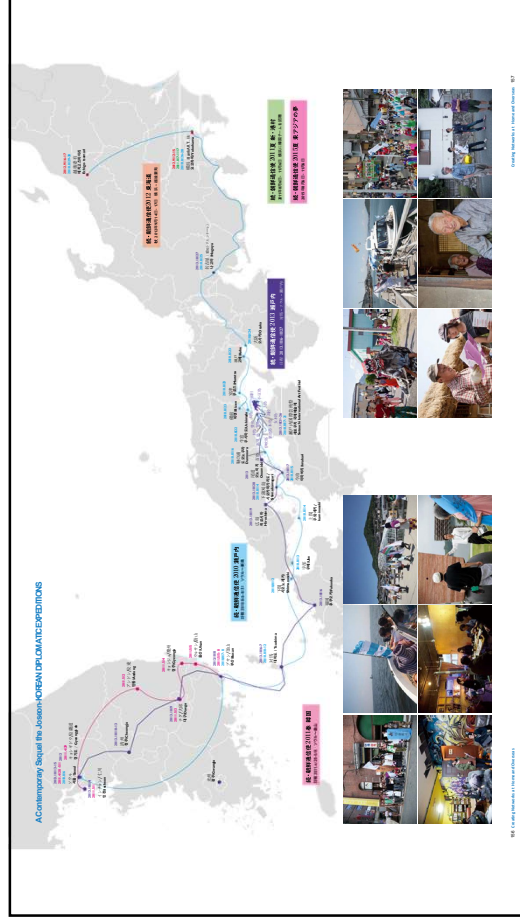
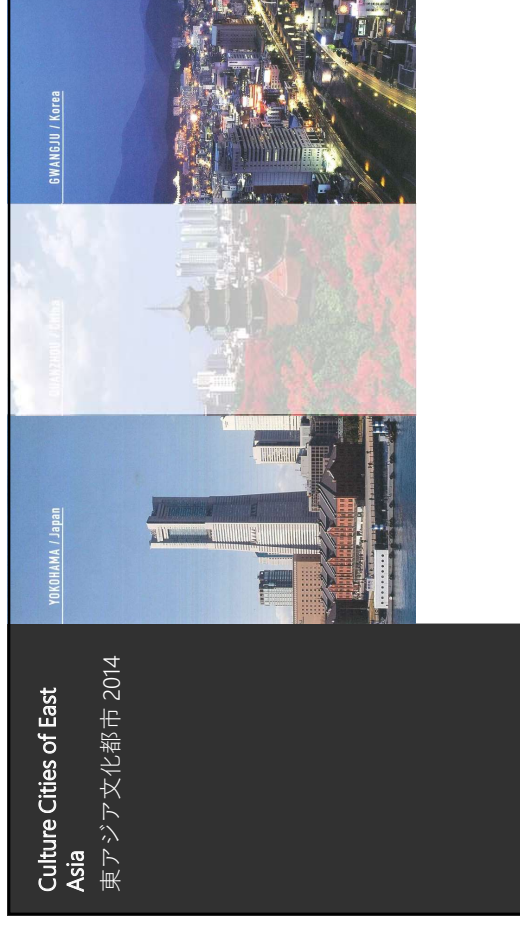


Why art and culture for  
global peace?  
なぜ国際平和に芸術文  
化が必要なのか

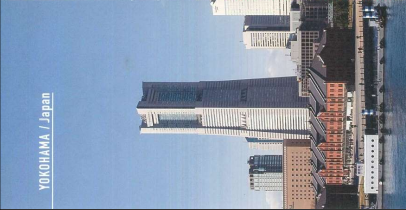
# 2

Arts and culture are **essential to the**  
increasingly important **city to city**  
**exchanges.**

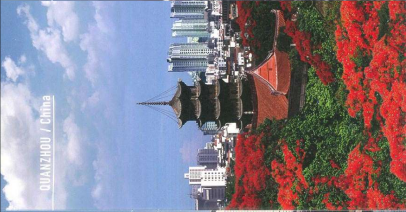
芸術文化は重要性の高まりつつある  
都市間の相互交流に不可欠である




YOKOHAMA / Japan



QUANGZHOU / China



SWANGHUI / Korea



**Culture Cities of East Asia 2014**  
東アジア文化都市2014

Exchange of culture and artists is "a pathway for souls to come and go."

Haruki MURAKAMI

魂の行き来する道筋  
村上春樹

a pathway for souls to come and go

Haruki MURAKAMI

「文化の交換は『我々はたとえ話す言葉が違って、基本的に感情や感動を共有し合える人間同士なのだ』という認識をもたらすことをひとつの重要な目的にしている。それはいわば、国境を越えて魂が行き来する道筋なのだ」

Cultural exchange aims to foster the recognition that "even if we speak different languages, we are fundamentally human beings who can share emotions and inspiration." It is, in a sense, a pathway for souls to travel across borders.

「魂が行き来する道筋を塞いでしまってはならない。その道筋を作るために、多くの人々が長い歳月をかけ、血の滲むような努力を重ねてきたのだ。そしてそれはこれからも、何があろうと維持し続けなくてはならない道筋なのだ」

We must not block the path where souls come and go. Countless people have spent long years and made blood-stained efforts to create that path. And it is a path that must be maintained no matter what happens, forevermore.



明日新聞 朝刊(2012年9月28日)

Why art and culture for global peace?  
なぜ国際平和に芸術文化が必要なのか

3

**Culture fosters deep friendship and trust between people, especially between individuals.**  
文化は人々の間に、とりわけ個人と個人の間に深い友情関係を育む


**Individuals, understanding each other through culture, and respecting each other's differences are the cornerstones of peace.**  
個人同士が、文化を通して理解し合い、互いの違いを認め合うことが、平和の礎である

Pacific Music Festival Sapporo





© PACIFIC MUSIC FESTIVAL ORGANIZING COMMITTEE






Pacific Music Festival  
Sapporo




© PACIFIC MUSIC FESTIVAL ORGANIZING COMMITTEE



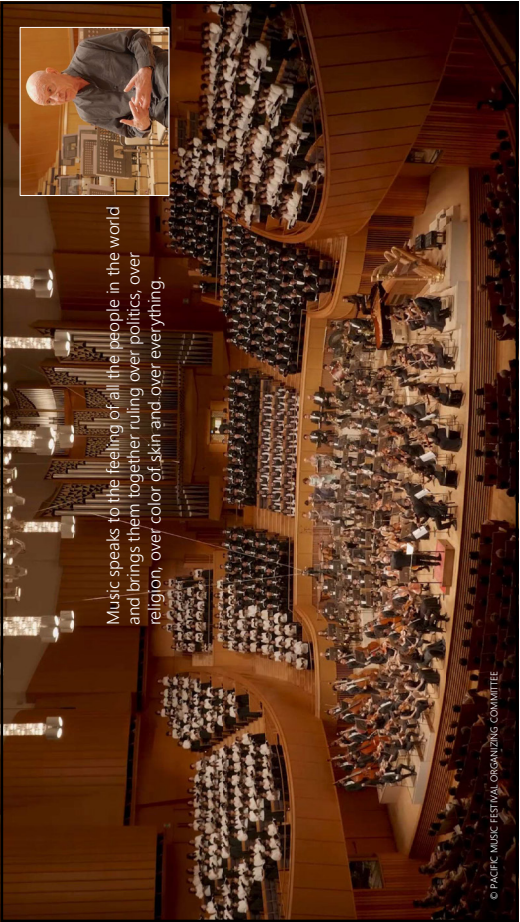
PMFで皆さんが暮らす国・地域のオーケストラで活躍しています。

| Region                  | Member Organizations                                                                                                                                           |
|-------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Europe                  | Amsterdam, Berlin, Copenhagen, Frankfurt, Hamburg, London, Madrid, Milan, Moscow, Paris, Rome, Vienna, Zurich                                                  |
| North America           | Atlanta, Boston, Chicago, Dallas, Denver, Detroit, Houston, Los Angeles, Miami, Minneapolis, New York, Philadelphia, Portland, San Francisco, Seattle, Toronto |
| Central & South America | Buenos Aires, Lima, Mexico City, Santiago                                                                                                                      |
| Asia                    | Beijing, Hong Kong, Seoul, Taipei, Tokyo                                                                                                                       |
| Middle East             | Abu Dhabi, Tel Aviv                                                                                                                                            |
| Oceania                 | Auckland, Melbourne, Sydney                                                                                                                                    |





Music speaks to the feeling of all the people in the world and brings them together ruling over politics, over religion, over color of skin and over everything.



© PACIFIC MUSIC FESTIVAL ORGANIZING COMMITTEE

Why art and culture for  
global peace?  
なぜ国際平和に芸術文  
化が必要なのか

1. **independent of politics and economics;**  
政治や経済から独立していること
2. **essential for city-to-city exchanges; and**  
都市間交流に不可欠なこと
3. **creating deep trust between individuals.**  
個人同士の深い信頼を育むこと

## 2.

### World Cities Culture Forum

分断 [新型コロナ、国際紛争] と向き合う  
Confronting the Divide, Covid-19 and Conflict

Global leadership on **culture** in cities

#### WORLD CITIES CULTURE FORUM

- 2012年8月1日：ロンドン2012大会の文化プログラムとしてロンドン市によって創設（8都市が参加）
- World Cities Culture Report 2012発表（12都市）
- 世界中が目指するロンドン2012五輪において、これからの都市政策における文化の重要性をアピール
- Aug. 2012: Held by the City of London as one of the Cultural Olympiad (8 cities joined)
- Launch of World Cities Culture Report 2012 of 12 cities
- Appealing the importance of culture in future policy of world cities at London 2012 Olympics



#### WORLD CITIES CULTURE REPORT

Berlin  
Istanbul  
Johannesburg  
London  
Mumbai  
New York  
Paris  
Sao Paulo  
Shanghai  
Singapore  
Sydney  
Tokyo

Findings you would expect

- London has the most museums
- NY has the most dance performances
- **Tokyo has the most video games arcades**
- Paris has the most film festivals
- Sao Paulo has the most night clubs
- London has the most international students
- Mumbai releases the most films
- London and Paris have the most world Heritage sites

Findings you would **not** expect

- London screens the most foreign films
- Shanghai publishes the most books
- NY has the most book loans by public libraries per year
- Joburg has the most rare and second hand bookshops
- **Tokyo has the most restaurants/Michelin stars**
- Sydney has the second highest % of foreign born population
- Singapore and Sydney have the most parks and gardens
- **Tokyo has the most non-professional dance schools**
- Istanbul far exceeds on 'other heritage and historical sites



Global leadership on culture in cities

WORLD  
CITIES  
CULTURE  
FORUM

- 2013年イスタンブールがWCCF Summitを開催し、以降、各員都市で毎年開催
- 会員：2012年8都市→2020年43都市
- 2020年2月：新型コロナウイルス感染症
- 2020年10月ミラノ開催予定→Covid-19で中止
- WCCF Summit 2013 in Istanbul followed by member city every year
- Member cities: 8 in 2012 → 45 in 2025
- Feb. 2020: Covid-19
- Milano Summit scheduled in Oct. 2020 suspended due to Covid-19

Abu Dhabi | Amsterdam | Austin | Barcelona | Bogotá | Brussels | Buenos Aires | Cape Town | Chengdu | Dublin | Edinburgh | Helsinki | Hong Kong | Istanbul | Lagos | Lisbon | London | Los Angeles | Melbourne | Milan | Montréal | Moscow | Nanjing | New York | Oslo | Paris | Rome | San Francisco | Seoul | Shanghai | Shenzhen | Singapore | Stockholm | Sydney | Taipei | Tokyo | Toronto | Vancouver | Vienna | Warsaw | Zurich

Global leadership on culture in cities

WORLD  
CITIES  
CULTURE  
FORUM

**Zoom Meeting** による情報共有と意見交換（2週間に1回）

3/26 ミラノ市プレゼンテーション  
4/3 アジア地域の都市からのブリーフィング

**Bloomberg Philanthropies**からNYの対応策のブレゼン／閉鎖から開放へ／新型コロナウイルス後の文化ゾーリズム／再開の先の課題／自信の回復に向けて／不確実性に対する計画／リスクにさらされる文化／適応と変革／文化のための空間／新型コロナウイルスと公共空間／コロナとナイトタイム・エコノミー……

→ 各回のブリーフィング、新型コロナウイルス対応策データベース構築

**WCCF DIGITAL DIALOGUE: CITY WEBINARS (every two weeks)**

26 March View from Milan  
3 April View from Asian cities

Spotlight on philanthropy/ Planning for recovery/ Unlocking culture in cities/ Cultural tourism in post-COVID world/ The challenges beyond reopening/ Building Back Confidence/ Planning for uncertainty/ Is all culture at risk equally?/ Adaptations and Innovations/ Making Space for Culture/ COVID-19 and the Public realm/ COVID and the Night-Time Economy ……

→ Briefing, Database of Supports and Policies to the Cultural Community

Global leadership on culture in cities

WORLD  
CITIES  
CULTURE  
FORUM

ヴァーチャル→オンライン→**オンライン・リアル**←リアル  
Internet

2020年代：Zoom, Hangout, Teams etc. ← 90年代

新型コロナウイルスが出現させた新たな国際文化交流の空間  
世界中の都市が新型コロナウイルスと向き合っている連帯感

Virtual → Online → **Online-Real** ← Real

Zoom, Hangout, Teams etc. in 2020's ← Internet in 90's

New Space for International Cultural Community Caused by Covid-19

Solidarity that all the cities on this globe facing and tackling Covid-19

Global leadership on culture in cities

WORLD  
CITIES  
CULTURE  
FORUM

Global Conversation: one-day digital conference

On culture, COVID-19 and cities

29 October, 2020

© World Cities Culture Forum

Global leadership on **culture** in cities

**WORLD  
CITIES  
CULTURE  
FORUM**

**WCCF Conference:  
Global Conversation**

*From Crisis to Recovery: Creative Leadership  
for a Sustainable Future*

**4 November 2021 – Updated Digital Programme Overview**

Session 1  
[8 AM GMT]

Session 2  
[12.30 PM GMT]

Session 3  
[4.30 PM GMT]

Meyoral Panel  
[7 PM GMT]

Mitsuhiro Yoshioka  
# Mitsuhiro Yoshioka

WCCF CONFERENCE: GLOBAL  
CONVERSATION

Parallel Breakout 2.1  
Funding Culture: Radical Models for the Post-  
COVID Recovery

WORLD  
CITIES  
CULTURE  
FORUM

WCCF

- ほぼ2週間に回ロンドン時間午前／午後で開催（時差対応）
- 2021.11：オンライン・サミット開催（英国時間：午前8時～午後9時）
- Digital dialogue every two weeks
- Nov. 2021: One-day online summit from 8 am to 9 pm GMT

Global leadership on **culture** in cities

**WORLD  
CITIES  
CULTURE  
FORUM**

**WCCF Summit 2023**

October 24-28

Abu Dhabi | Amsterdam | Austin | Barcelona | Bogotá | Brasilia | Brussels | Buenos Aires | Cape Town | Chengdu | Dublin | Edinburgh | Helsinki | Hong Kong | Istanbul | Lagos | Lisbon | London | Los Angeles | Melbourne | Milan | Montreal | Moscow | Nanjing | New York | Oslo | Paris | San Francisco | Seoul | Shanghai | Shenzhen | Singapore | Stockholm | Sydney | Taipei | Toronto | Vancouver | Vienna | Warsaw | Zurich

- ほぼ2週間に回ロンドン時間午前／午後で開催（時差対応）
- 2022.2：ロシアのウクライナ侵攻
- 2022.7：ヘルシンキ・サミット開催
- 2023.7：キエフWCCF加盟
- 2023.10：サンパウロ・サミット開催
- 2023.11：モスクワ委員会資格停止
- Digital dialogue every two weeks
- Feb. 2022: Russian invasion to Ukraine
- Oct. 2022: WCCF Summit in Helsinki
- Jul. 2022: Kyiv joined WCCF
- Oct. 2023: WCCF Summit in Sao Paulo
- Nov. 2023: Moscow suspended from WCCF

Global leadership on **culture** in cities

**WORLD  
CITIES  
CULTURE  
FORUM**

**WCCF Conference:  
Global Conversation**

*From Crisis to Recovery: Creative Leadership  
for a Sustainable Future*

**4 November 2021 – Updated Digital Programme Overview**

Session 1  
[8 AM GMT]

Session 2  
[12.30 PM GMT]

Session 3  
[4.30 PM GMT]

Meyoral Panel  
[7 PM GMT]

Mitsuhiro Yoshioka  
# Mitsuhiro Yoshioka

WCCF CONFERENCE: GLOBAL  
CONVERSATION

Parallel Breakout 2.1  
Funding Culture: Radical Models for the Post-  
COVID Recovery

WORLD  
CITIES  
CULTURE  
FORUM

WCCF

- ほぼ2週間に回ロンドン時間午前／午後で開催（時差対応）
- 2021.11：オンライン・サミット開催（英国時間：午前8時～午後9時）
- Digital dialogue every two weeks
- Nov. 2021: One-day online summit from 8 am to 9 pm GMT

Global leadership on **culture** in cities

**WORLD  
CITIES  
CULTURE  
FORUM**

**WCCF Summit 2023**

October 24-28

Abu Dhabi | Amsterdam | Austin | Barcelona | Bogotá | Brasilia | Brussels | Buenos Aires | Cape Town | Chengdu | Dublin | Edinburgh | Helsinki | Hong Kong | Istanbul | Lagos | Lisbon | London | Los Angeles | Melbourne | Milan | Montreal | Moscow | Nanjing | New York | Oslo | Paris | San Francisco | Seoul | Shanghai | Shenzhen | Singapore | Stockholm | Sydney | Taipei | Toronto | Vancouver | Vienna | Warsaw | Zurich

- ほぼ2週間に回ロンドン時間午前／午後で開催（時差対応）
- 2022.2：ロシアのウクライナ侵攻
- 2022.7：ヘルシンキ・サミット開催
- 2023.7：キエフWCCF加盟
- 2023.10：サンパウロ・サミット開催
- 2023.11：モスクワ委員会資格停止
- Digital dialogue every two weeks
- Feb. 2022: Russian invasion to Ukraine
- Oct. 2022: WCCF Summit in Helsinki
- Jul. 2022: Kyiv joined WCCF
- Oct. 2023: WCCF Summit in Sao Paulo
- Nov. 2023: Moscow suspended from WCCF



Global leadership on **culture** in cities

WORLD CITIES

CULTURE FORUM

São Paulo

SUMMIT 2023

October 24-28

Session Themes

- Accessibility in the arts
- Arts, health and wellbeing
- Indigenous voice
- LGBTQ+ communities
- The gender gap
- Race and representation
- The future of Justice: Can culture prevent crime?
- Artificial intelligence and the creative industries.....and so on.

Launch of the World Cities Culture Forum Sao Paulo Manifest for culture to become a UN Sustainable Development Goal post 2030

**Plenary: Culture in conflict**

**Victoria Mukha**, Chairman of the Commission on Culture, Tourism and Communications at Kyiv City Council

**Justine Simons**, Founder and Chair of WCCF and Deputy Mayor for Culture and the Creative Industries, City of London

[illegible]

“Two years of full-scale war... For each Ukrainian it's a lifetime, with every day etched in memory forever”

「2年間にわたる全面戦争は、ウクライナ人にとって一生分の時間であり、一日一日が永遠に記憶に刻まれる」

*Victoria Mukha, Chairman of the Commission on Culture, Tourism and Communications at Kyiv City Council*  
Source: Ella Kenny, KYIV'S CULTURAL RESISTANCE: CULTURE INSPIRING HOPE, RESILIENCE AND RECOVERY

|                                                        |                                                                                                                                                      |
|--------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>1. 文化と遺産の保護<br/>Caring for culture and heritage</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 記念碑を土囊で保護</li> <li>• 主要な美術館の収蔵品約100万点を地下に移動</li> <li>• 2022年5月には文化事業が再スタート</li> <li>• 蠟燭の中での劇場公演</li> </ul> |
|--------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|                                                                      |                                                                                                                                             |
|----------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>2. 戦争における武器としての文化<br/>How is culture used as a weapon in war?</p> | <p>軍事戦線 (military front)</p>  <p>文化戦線 (cultural front)</p> |
|----------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

“It is culture that helps us to resist and keep going. Theatres tell the story of the horrors of war, museums collect evidence of today’s history written with our blood, and libraries become places of refuge and emotional relief”

「私たちが抵抗し、前進し続けることができるのは文化のおかげです。劇場は戦争の恐怖を語り、博物館は私たちの血で書かれた今日の歴史の証拠を集め、図書館は避難所となり、精神的な安らぎの場となります」

Victoria Mukha, Chairman of the Commission on Culture, Tourism and Communications at Kyiv City Council  
Source: Ella Kenny, KYIV’S CULTURAL RESISTANCE: CULTURE INSPIRING HOPE, RESILIENCE AND RECOVERY

“It’s not just a war to deprive our territories and freedom, but to change our identity, falsify our history and wipe out Ukrainian culture and language”

「これは、私たちの領土と自由を奪うためだけの戦争ではなく、私たちのアイデンティティを変え、歴史を改ざんし、ウクライナの文化と言語を消し去るための戦争なのです」

Victoria Mukha, Chairman of the Commission on Culture, Tourism and Communications at Kyiv City Council  
Source: Ella Kenny, KYIV’S CULTURAL RESISTANCE: CULTURE INSPIRING HOPE, RESILIENCE AND RECOVERY



3. 戦禍を癒やし、回復  
するための文化  
the role of culture to  
heal and recover from  
conflict

- 病院や前線に向くアーティスト
- ロシア人アーティスト→ウクライナ人アーティスト
- 文化から戦争の真実を伝える

“It is culture healing souls and giving hope  
in these dark times of pain, losses, constant  
attacks and air sirens”

「痛みや喪失感、絶え間ない攻撃やサイレン  
が鳴り響く暗い時代に、魂を癒し、希望を与  
えてくれるのが文化なのです」

Victoria Mukha, *Chairman of the Commission on Culture, Tourism and Communications at Kyiv City Council*  
Source: Ella Kenny, KYIV'S CULTURAL RESISTANCE: CULTURE INSPIRING HOPE, RESILIENCE AND RECOVERY

ウクライナ・トカチェンコ文化情報相：ゼレンスキー大統領と意見が対立、2023年7月に解任

「ウクライナ議会は7月27日、戦時下の国家予算のあり方をめぐってゼレンスキー大統領と意見が対立していたトカチェンコ文化情報相の解任案を可決」 「解任案の可決を受けてトカチェンコ氏は27日、SNSで『文化にお金を出すのは戦時下では適切ではないと言っているのは簡単だが、われわれは自分たちの文化やアイデンティティなどのために戦っているのではないのか。戦時下では文化は無入機と同じくらい重要だ』などと訴えました」

NHK NEWS WEB (2023.7.28) 「ゼレンスキー大統領と対立の閣僚 ウクライナ議会で解任案可決」

「私は、そのセッションに参加して、プーチン大統領の蛮行への憤りを新たにし、キーウやウクライナへの連帯の気持ちを強く抱いた。だが、ホテルに戻って私はモスクワの二人の友人のことを思い出した。実は、モスクワも2014年にWCCFの会員になり、2016年には年次サミットを開催していた。モスクワから毎年参加していた二人の文化担当者は、東京や日本の文化に関心があって友人と呼べる存在になっていた。」

吉本光宏 「戦争、それは文化と言語を消し去る行為」 文化コモンズ通信05号 (2024.3.6)

「2022年2月、ロシアがウクライナに侵攻して間もない頃、モスクワ市民の中には、プーチン大統領の戦争に反対する人も少なくない、というニュースを見て、私は、二人にメールを送ってみた。一人からは『今は、何も語れない』という返事があり、もう一人から返信はなかった。

それからしばらくして、同年11月にWCCFはモスクワの会員資格を停止 (Suspended) した。当然の措置だと思うし、ロシアが起こした戦争は決して許すことができない。でも、そのことがモスクワの二人を友人と感じる気持ちには別物だ。個人の意思に関係なく、戦争は人と人の間に超えがたい分断をもたらす。」

「日本に帰国した後も、サンパウロで聞いた話が頭を離れなかったが、ほどなくして日本もかつてロシアがウクライナにしようとしていることと同じことを、朝鮮や韓国にした史実を思い出した。1910年の日韓併合とその後の朝鮮の植民地支配である。日本は朝鮮総督府を置き、朝鮮教育令によって日本語が国語として教えられた。」

吉本光宏 「戦争、それは文化と言語を消し去る行為」 文化コモンズ通信05号 (2024.3.6)



2023.11.29 ~ 12.10

외지의 세 자매

KAAT



出演：KAAT神奈川支部劇場「KAAT×東京デスコタ」劇は言葉通訳スタジオ  
外賓の三人組」プロダクション



2024年3月

「2週間ほど前、モスクワの友人から2年ぶりにメールが届いた。そこには、モスクワ市の職員を辞めたということ、また会える機会を望んでいる、と記されていた。私も心からそれを願う。札幌への移動中、飛行機から撮影した東京、その向こうに浮かぶ富士山の写真を彼女に送った。」


吉本光宏「戦争、それは文化と言語を消し去る行為」文化コモンズ選題05号 (2024.3.6)

文化から平和を考える  
東山国際文化フォーラムに開催して

研究員の眼

Ifcc

2024.10.16



戦争、それは文化と言語を消し去る行為

文化コモンズ選題05号

2024.10.16

文化コモンズ選題05号

2024.10.16

戦争、それは文化と言語を消し去る行為

文化コモンズ選題05号

2024.10.16



ありがとうございました。  
감사합니다



• 발제 発題

BUSAN CULTURAL FOUNDATION

## 세계가 기억하는 평화와 연대

조선통신사, 예술로 경계를 넘고 연결하다 유네스코와 문화인류학의 시점

## 世界が記憶する平和と連帯

朝鮮通信使、芸術で境界を越えつなぐユネスコと文化人類学の視点

한경구 (전 유네스코한국위원회 사무총장)

ハン・キョング (前ユネスコ韓国委員会事務総長)



### Profile

문화인류학자  
文化人類学者

전 유네스코한국위원회 사무총장  
元ユネスコ韓国委員会事務総長

전 서울대학교 자유전공학부 교수  
元ソウル大学自由専攻学部教授



협력 協力 : BankART 1929





세계가 기억하는 평화와 연대  
世界が記憶する平和と連帯  
조선통신사, 예술로 경계를 넘고 연결하다  
朝鮮通信使、芸術で境界を越えつなぐ  
유네스코와 문화인류학의 시점 -  
ユネスコと文化人類学の視点 -

2025 韓日文化 未来 Conference

2025年9月26日

東京 代官山 ヒルサイドテラス  
한경구 韓敬九 (한inkyung)

- 문화인류학 전공, 일본 현지조사 경험
- 文化人類学専攻、日本でのフィールドワーク経験
- 강원대 인류학과, 국민대 국제학부 일본학 전공
- 江原大学 人類学科, 国民大学 國際学部 日本学専攻
- 서울대 자유전공학부 교수
- ソウル大学 自由専攻学部 教授
- 세계시민교육, 문화 간 이해, 문화다양성
- 世界市民教育、異文化理解、文化多様性
- 유네스코 한국위원회 사무총장
- ユネスコ韓国委員会 事務総長



## 통신사에 대한 관심 - 지적 호기심 通信使への関心・知的好奇心

- 개인사적 관심
- 個人的な関心
- 가족사적 관심 - 7대조, 6대조, 5대조의 중국 사행
- 家族史的な関心 - 七代祖、六代祖、五代祖の中国への使行
- 유학에서 귀국 후 <해행총재> 번역본 읽기 시작
- 留學から帰国後、『海行摠載』を読み始める
- 동아시아 내의 Orientalism, 문화와 권력
- 東アジアにおけるオリエンタリズム。文化と権力

## 다섯 가지 주제 五つのテーマ

- 조선통신사 기록물은 유네스코 유산 중 가장 유네스코 가치에 부합
- 朝鮮通信使の記録物は、ユネスコ遺産の中で最もユネスコの価値に合致する
- 문화교류 통한 평화 만들기 文化交流を通じた平和創出
- 민간 차원의 공감과 연대 民間レベルでの共感と連帯
- 유네스코 유산 제도의 미래를 이끌어내자
- ユネスコ遺産制度の未来を引き出そう
- 무엇을 할 것인가? 세계적 평화교육의 가능성
- 何をすべきか？世界的な平和教育の可能性



## 1. 가장 '유네스코스러운' 유산

### 1. 最も「ユネスコらしい」遺産

- 통신사 기록물은 유네스코 세계기록유산 570건 가운데 유네스코의 설립 목적, 유네스코 유산 제도의 취지에 가장 잘 부합 朝鮮通信使の記録物は、570件のユネスコ世界記録遺産の中で、ユネスコの設立目的や遺産制度の趣旨に最もよく合致する
- 민간 주도로 국제공동등재 추진 民間主導で国際共同登録推進

## 유네스코 정신과의 연결

### ユネスコ精神とのつながり

- 전쟁은 인간의 마음에서 시작 戦争は人間の心から始まる
- 항구적 평화는 인류의 '지적·도덕적 연대' 위에서만 지속 恒久的な平和は、人類の「知的・道徳的連帯」の上でのみ持続する
- 조선통신사 기록: 문화교류를 통한 무지와 편견 극복, 이해와 존중 실현 朝鮮通信使の記録：文化交流による無知と偏見の克服、理解と尊重の実現

## 문화교류의 핵심

### 文化交流の核心

- 외교사절이 면서도 예술·지식 교류에 집중
- 外交使節でありながらも、芸術・知識交流に集中
- 일본 지식인층 성장, 비공식 교류 확산
- 日本の知識人層の成長、非公式交流の拡大
- 상호 존경과 학문·예술 발전에 기여
- 相互の尊敬と学問・芸術の発展に寄与

## 2. 문화교류를 통한 평화 만들기

### 2. 文化交流による平和の創出

- 전쟁 후 평화 정착의 200년
- 戦後、平和 定着の200年
- 조선과 일본, 문화교류를 통한 신뢰 형성
- 朝鮮と日本、文化交流を通じた信頼の構築
- 세계에서 도 보기도 못한 장기적 문화외교
- 世界史でも珍しい長期的な文化外交

## 조선통신사의 임무

### 朝鮮通信使の任務

- 국서 교환이 공식 목적
- 国書の交換が公式な目的
- 실제로는 학문·예술·의학·음악 교류 중심
- 実際には学問・芸術・医学・音楽の交流が中心
- 막부의 위신과 정치적 안정
- 幕府の威信と政治的安定
- 조선의 안보에도 중요
- 朝鮮の安全保障にも重要

## 긴장과 갈등 속의 문화교류 - 緊張と葛藤の中の文化交流

- 절차 갈등, 사전 합의 무시 등 위기 존재
- 手続きの対立、事前合意の無視など危機の存在
- 문명화와 내조의 동상이몽 - 알면서도 모르는 적
- 文明化と内助の思惑のすれ違い - 知りながら知らぬふり
- 무리한 요구의 집요한 반복, 애원과 위협
- 無理な要求の執拗な繰り返し、哀願と威嚇
- 그러나 긴장 극복 → 외교적 신뢰 유지
- しかし緊張を乗り越え、外交的信賴を維持
- 갈등과 장애를 넘은 교류의 지속.
- 葛藤や障害を乗り越えた交流の継続
- 소중한 아름다운 기록
- 貴重で美しい記録

## 조선통신사 - 문화와 평화?! - 朝鮮通信使 - 文化と平和?! -

- 호화롭고 평화로운 교류, 그러나 豪華で平和な交流...しかし
- 긴장과 갈등, 사행은 위험한 임무 緊張と葛藤. 使行は危険な任務
- 어떠한 평화? いかなる平和か?
- 전쟁의 종식, 사행의 시작과 중단. 戦争の終結. 使行の開始と中断.
- 정찰, 확인, 偵察. 確認.
- 오해와 이해 - 모른척 하기? 誤解と理解 - 知らぬふり?
- 오랑캐, 武의나라를 교화, 문명화 野蠻人. 武の国を教化・文明化
- 조공국의 내조(來朝)라는 선전. 朝貢国の来朝という宣伝
- 조선의 문명의 오만과 일본의 올분 朝鮮の文明の傲慢と日本の憤り

## 평화롭지만은 않았던 평화 必ずしも平和ばかりではなかった平和

- 筆談唱和, 대결의 장이기도, 対決の場でもあった
- 아슬아슬한 상황들 ぎりぎりの状況
  - 대마도주에 대한 절 거부, 대마도주 불참으로 해결되다. 対馬藩主への拝礼拒否、対馬藩主の不参加によって解決
  - 대불사 연회 거부, 일본측의 거짓 해명. 종사관 불참. 大仏寺宴会拒否、日本側の虚偽の説明、従事官の不参加
  - 예정에 없던 다투 방문 강정(1636) 予定になかった日光訪問の強請
- 아라이 하쿠세키의 급작스러운 격식과 절차 변경 시도 新井白石による突然の贈礼改変
- 조선 외교관의 고충 朝鮮外交官の苦悩
  - 조태억 등 관직 삭탈과 문외출송. 역관은 정배, 결정
  - 趙泰億らの官職剥奪および門外追放. 訳官は流刑・断罪



## 문화 예술 교류의 중요성 文化芸術交流の重要性

- 공식적 목적인 국서의 봉정보다도 더 중요
- 公式目的である国書奉呈よりもさらに重要
- 조선은 최고 수준의 기예를 가진 사람들을 파견
- 朝鮮は最高水準の技藝を持つ人々を派遣
- 왜? 막대한 비용과 노력을 들여가면서 교류 지속?
- なぜ? 莫大な費用と努力をかけてまで交流を続けたのか?
- 어려움과 갈등이 없었기 때문이 아니라 이를 넘으며 교류를 계속했기에 더욱 소중한 아름다움 것
- 困難や葛藤がなかったからではなく、それを乗り越えて交流を続けたからこそ、より貴重で美しいものとなった

## 문화와 예술은 경계를 넘는다고? 文化や芸術は本当に境界を越えるのか?

- 문화예술은 가장 자민족중심적(ethnocentric)
- 文化芸術はもっとも自民族中心的
- 문화와 예술의 취향(taste)는 오랜 양육의 결과
- 文化や芸術の趣味は長い養育の結果
- 載道論 - 문화예술의 기준과 그 역할에 대한 기대
- 儒敎の載道論 - 文化芸術の基準とその役割への期待
- 그러한 어려움에도 불구하고 이루어진 것
- そのような困難にもかかわらず成し遂げられたこと
- 그래서 더욱 소중하고 아름다운 것?
- だからこそ、より貴重で美しい?

## 3. 비공식적, 민간 차원의 연대 3. 非公式的, 民間レベルの連帯

- 민간의 교류와 공감
- 民間の交流と共感
- 서얼, 승려, 초닌 등 주변적 인물
- 庶孽、僧侶、町人など周縁的な人物
- 비공식 접촉 통해 편견 해소·존경 형성
- 非公式な接触を通じて偏見を解消し、尊敬を築く

## 흥미있는 사례들 興味深い事例

- 우시마도의 가라코오도리
- 牛窓の唐子踊
- 성대중과 키무라 켄카도 등 교토 초닌과의 교류
- 成大中と木村兼葎堂ら京都の町人との交流
- 홍세태와 히토미 지쿠토 필담창화와 초상화
- 洪世泰と人見竹洞：筆談唱和と肖像画の交流
- 신유한과 아메노모리 호슈: 갈등과 교류
- 申維翰と雨森芳洲：葛藤と交流
- 원중거의 사행 후 인식 전환과 조선 실학에 영향
- 元重挙の使行後の認識転換と朝鮮実学への影響

## 우시마도의 가라코오도리 岡山県瀬戸内市牛窓町の唐子踊

- 통신사가 11회 머물렀던 우시마도 지역 주민들이 발전시킨 축제 춤
- 朝鮮通信使가 11回宿泊した牛窓の住民が発展させた祭りの踊り
- 「가라(唐)」는 당나라가 아닌, 한국을 포함한 외국 전반을 의미
- 「唐」は唐王朝ではなく、韓国を含む外国全般を意味する語
- 통신사 행렬의 소동(小童)들이 주된 춤에서 유래
- 通信使行列に同行した小童が踊った舞に由来
- 장엄하고 화려한 통신사 행렬은 일생일대의 스펙타클
- 壮麗で華麗な通信使行列は一生に一度のスペクタクル
- 당시 일본인들이 접할 수 있던 거의 유일한 외국 문화
- 当時の日本人が接することのできたほぼ唯一の外国文化
- 민중이 외국 문화와의 조우를 기억·수용·재현·찬미
- 民衆の外国文化との出会いを記憶・受容・再現・讃美

## 가라코오도리 唐子踊



## 가라코오도리 의의 唐子踊の意義

- 민중 차원의 평화·우호·연대의 상징 民衆レベルの平和・友好・連帯の象徴
- 전승 과정에서 변형되었으나, 민간의 문화 외교 유산으로 자리
- 伝承の過程で変化したが、民間の文化外交遺産として位置づけられる
- 중요무형민속문화재 지정, 보존회 결성.
- 重要無形民俗文化財指定、保存会結成
- 세토우치 우시마도 국제교류축제, 瀬戸内牛窓国際交流フェスタ(2010년 ~)
- 우시마도 주민, 재일 한국인 단체 및 학교, 부산문화재단, 자매도시 밀양시
- 牛窓の住民、在日韓国人の団体や学校、釜山文化財団、姉妹都市の密陽市も参加
- 전후 문화교류 외교가 민중 생활 속 축제 형태로 기억·재창조
- 戦後の文化交流外交が民衆生活の中で祭りの形として記憶・再創造されている
- 미에현 쓰시 분배초, 스즈카시 히가시타마가키초에서도
- 三重県津市分部町、鈴鹿市東玉垣町にも

## 蒹葭堂雅集圖

木村蒹葭堂・1736-1802) 筆・蒹葭堂会 会員8人の題跋  
(国立中央博物館所蔵)

1763 癸未使行・1763年癸未の通信使行。正使の書記であつた成大中(1732-1809)が木村蒹葭堂に制作を依頼し、贈り物として受け取る

[https://www.museum.go.kr/files/zin/curator\\_228\\_1.jpg](https://www.museum.go.kr/files/zin/curator_228_1.jpg)





洪世泰(1653~1725) 人耳魏山 筆?  
滋賀県高月観音の里歴史民俗資料館所蔵。1883年、安積良斎(あさか こんさい)がかつての肖像画を入手して模写した。洪世泰の肖像画は1682年のもの(出典 Oh My News 李鍾憲 - 滄浪 洪世泰 肖像画)



## 비공식적 민간 교류의 의미 非公式な民間交流の意義

- 国境 넘어서는 인간적 유대의 싹
- 国境을越える人的絆の芽生え
- 통신사 횡수의 제한과 재정 부담
- 通信使 回数 制限과 財政的負擔
- 결국은 재정을 이유로 역지빙례. 이후 중단
- 最終的には財政を理由に易地聘礼となり、その後中断
- 더 확대되지 못 아쉬움
- さらに拡大できなかったことへの惜しさ

## 4. 유네스코 유산 제도에서의 시사점 4. 그 네 스 코 遺産制度への示唆

- 가장 유네스코다운 기록물
- 最もユネスコらしい記録物
- 현행 유산 제도의 한계로 등재 어려운 것들
- 現行遺産制度の限界によって登録が困難なもの
- 유산의 유형 무형 분류와 범주 문제
- 遺産の三つのカテゴリーと分類
- 등재 기준의 문제
- 登録基準の課題
  - world significance, outstanding universal value
  - authentic, original, irreplaceable, with demonstrated historic, aesthetic, or community significance
- 조선통신사 사례 - 미래의 새로운 방향 제시 기대
- 朝鮮通信使の事例 - 未来への新たな方向性の提示を期待

## 새로운 제도 개선 필요 新たな制度改善の必要性

- 시대에 뒤떨어진 낡은 무형유산과 유형유산 구분
- 無形遺産と有形遺産など時代遅れで廃れた区分
- 새로운 범주로써 종합유산(?)의 필요성
- 新たなカテゴリーとして総合遺産(?)の必要性
- 다양한 유산들을 포괄할 수 있었으면...
- 多様な遺産を包括できれば...
- 대량 복제 기술 등 디지털 시대 변화 수용해야
- 大量複製技術などデジタル時代の変化を受け入れるべき

## 5. 무엇이든 할 것인가

5.何をすべきか

- 평화교육의 교재로서 조선통신사
- **平和教育の教材としての朝鮮通信使**
- 전쟁이후 무지와 편견 극복의 기록
- **戦後の無知と偏見を克服した記録**
- 신뢰와 우정, 연대 형성 사례
- **信頼と友情・連帯を築いた事例**
- 네스코 창설 목적, 유네스코 유산 제도 모두 교류를 통한 지적 노력적
- **ユネスコ創設の目的も、ユネスコ遺産制度も、すべて交流による知的・道徳的連帯の上に平和を築くこと**

## 조선통신사의 의미

## 朝鮮通信使の意義

- 전쟁을 했던 국가들이 문화교류 외교를 지속
- 戦争をした国家同士が文化交流外交を続けた
- 문화교류를 통한 지적, 도덕적 연대와 평화 구축
- 文化交流を通じて知的・道徳的連帯と平和を構築した
- 민간과 국가외교가 결합된 독창적 역사
- 民間と国家の外交が結合した独自の歴史

## 조선통신사 2.0이 필요한 시대

## 朝鮮通信使2.0が必要な時代

- 우리들의 노력은 아직 시작에 불과
- **われわれの努力はまだ始まったばかり**
- 세게시민 교육, 평화교육 교육 자료로 활용 가능
- **世界市民教育、平和教育の教育資料として活用可能**
- 인류적 가치와 보편성 전달해야
- **人類的価値と普遍性を伝えるべき**

조선통신사 기록물이 보여준  
朝鮮通信使の記録物が示した  
국경을 넘는 연대와 평화의 역사  
国境を越えた連帯と平和の歴史、  
그 정신은 지금도 그리고 미래에도  
その精神は今も、そして未来にも  
全人類が進むべき道である  
감사합니다  
ありがとうございます







• 발제 発題

BUSAN CULTURAL FOUNDATION

# 세계가 기억하는 평화와 연대

조선통신사선 재현과 261년만의 오사카 입항

## 世界が記憶する平和と連帯

朝鮮通信使船の再現と、261年ぶりの大阪入港

홍순재

(국립해양유산연구소 학예연구사)

ホン・スンジェ

(国立海洋遺産研究所 学芸研究士)

강원춘

(국립해양유산연구소 학예연구사)

カン・ウオンチュン

(国立海洋遺産研究所 学芸研究士)



Profile

국립해양유산연구소 학예연구사

国立海洋遺産研究所 学芸研究士



Profile

국립해양유산연구소 학예연구사

国立海洋遺産研究所 学芸研究士



Ministry of Culture, Sports and Tourism

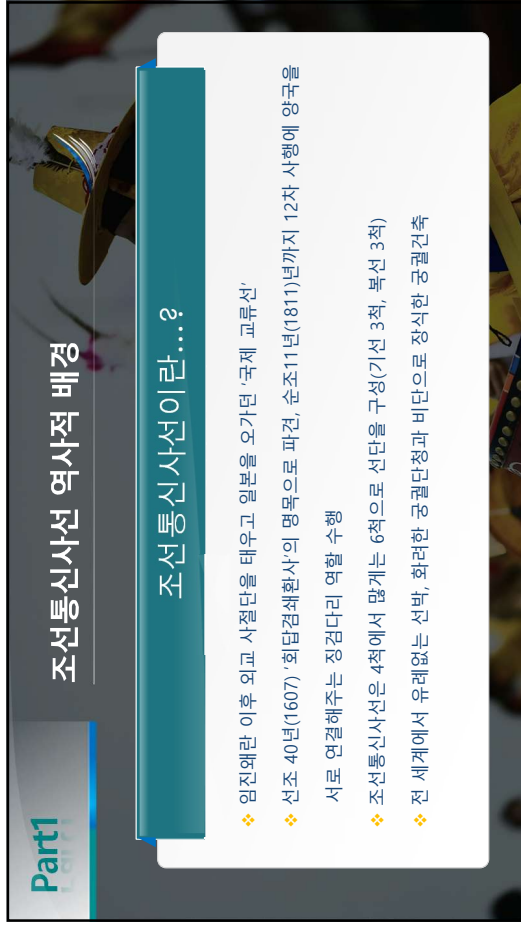
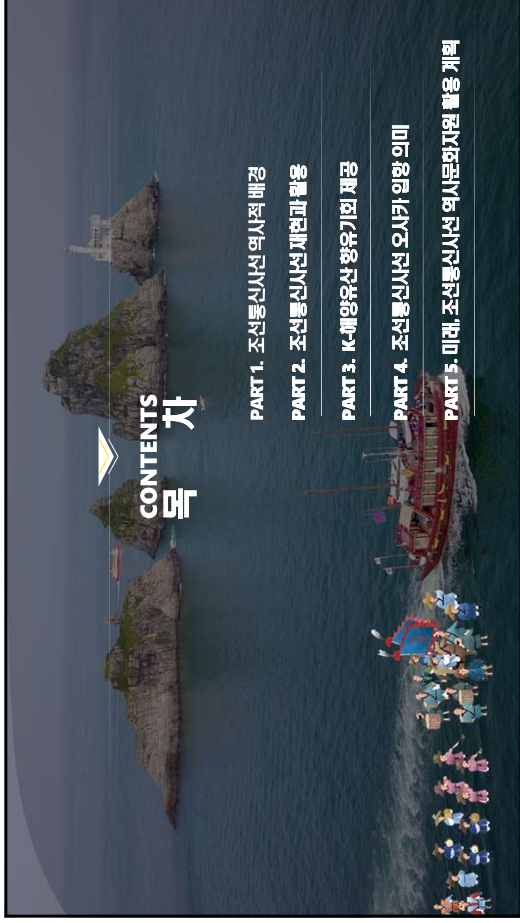
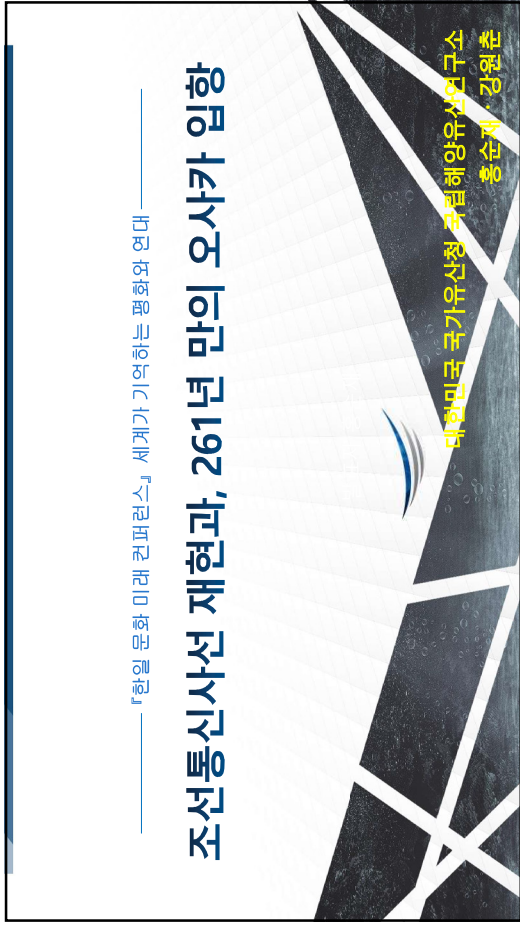


부산문화재단

협력 協力 : BankART 1929









## Part 2

### 조선통신사선 재현과 활용

전장 34m 선폭 9.3m  
**149톤**

**조선통신사선 심층연구**

- 기초자료조사·복원설계·3D모델링·조선공학적 분석
- 설계 28회 수정 소나무(대경제) 900그루 확보 및 건조
- 모형제작실험 1/30, 실물 재현 성공

## Part 2

### 조선통신사선 재현과 활용(국내외기관 교류협력)

**MOU 협약 체결**

↙ **(국내) 조선통신사선 역사문화자원 활용방안**

- '16.7. 연구소·국립해양박물관·(재)부산문화재단
- '25.3. 연구소·(재)부산문화재단·범어사정보박물관

↘ **(국외) 조선통신사선, 한·일 문화교류 뱃길 재현**

- '19.7. 연구소·(재)부산문화재단·일본 쓰시마시
- '23.6. 연구소·(재)부산문화재단·일본 쓰시마시·이즈하라항축제진흥회
- '24.7. 연구소·(재)부산문화재단·일본 시모노키시
- '25.4. 연구소·(재)부산문화재단·일본 조선통신사연지연락협의회

## Part 2

### 조선통신사선 재현과 활용

**대국민 체험서비스**

- (연구소) 선상박물관 문화기행
- (부산) 조선통신사 축제, 뱃길탐방 배타리까지 운영
- (여수) 대한민국 글로벌 미래교육박람회
- (목포) 목포항구축제

**조선통신사선 역사문화자원 활용 고객 만족도 조사**

**95% 이상 만족**

**K-해양유산 체험**

- (23년) 목포 → 부산 → 쓰시마
- (24년) 목포 → 부산 → 쓰시마 → 이키 → 아이노시마 → 시모노세키
- (25년) 목포 → 부산 → 쓰시마 → 이키 → 시모노세키 → 카미노세키 → 쿠레 → 후쿠야마 → 세토우치 → 탄젠 → 오사카

국내 **147회** 진행,  
**6,173명** 참여

일본 **3회** 진행,  
**8,620명** 참여

## Part 2

### 조선통신사선 재현과 활용(실증 항해)

**서해, 영호남 항로 탐사**

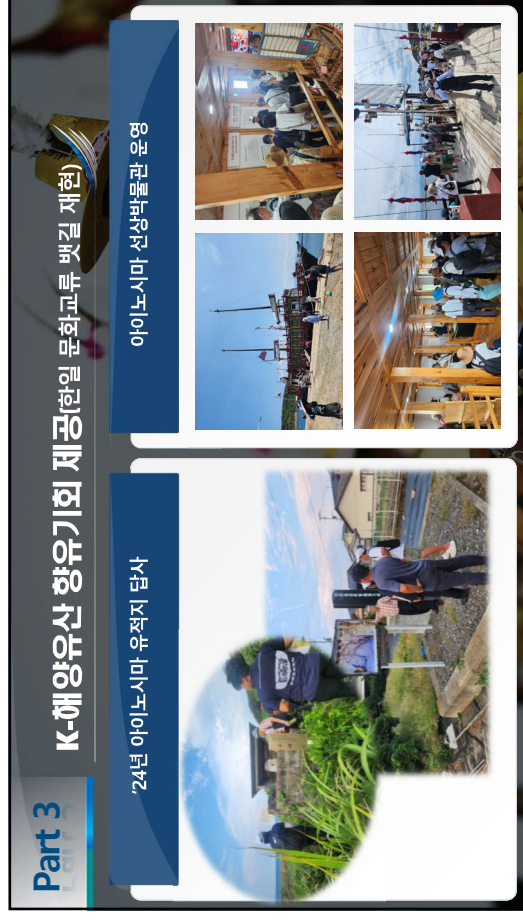
- 서해항로: 신안·가거도(21)~군산·신유도(22)~태안·신진도(23)/1,439km
- 영호남 항로: 목포~부선(19~25)/7,250km

↙ **조선통신사선 운항능력 시험, 항해 안전성 확보**

**고려시대 서해 항로 탐사**

**영호남 항로 탐사**

**8,689km 항해**





### Part 3 K-해양유산 항유기회 제공(한일 문화교류 배길 재현)

'24년 조선통신사선 부산-시모노세키 배길 재현

시모노세키 학술대회 및 선상박물관 운영

### Part 4 조선통신사선 오사카 입항 의미

'25년 조선통신사선 부산-오사카 배길 재현(25. 4. 28. ~5. 27(30일)/8명)

[261년 만의 오사카 입항, 10년 연구로 평화의 배길 입증]

### Part 4 조선통신사선 오사카 입항 의미

일본 내 기착지(쿠레시) 문화교류

일본 내 기착지(후쿠야마시) 문화교류

### Part 4 조선통신사선 오사카 입항 의미

일본 내 기착지(타츠노시) 문화교류

일본 내 기착지(오사카시) 문화교류

### Part 4 조선통신사선 오사카 입항 의미

오사카 문화교류(성상박물관 운영)





한일 수교 60주년 '한국의 날' 기념행사





### Part 4 조선통신사선 오사카 입항 의미

일본 내 기착지(세토우치시) 문화교류






일본 내 기착지(시모노세키시) 문화교류






### Part 3 조선통신사선 오사카 입항 의미

'22~'24년 언론 홍보 (국내외 500건)

'25년 언론 홍보 (국내외 212건)

### Part 4 조선통신사선 오사카 입항 의미

Anirang TV, '25. 7. 16.  
[Anirang Special] Joseon Tongginsae Sailing Toward Tomorrow



朝日新聞 '25. 8. 28.  
[이사하신문 기획기사] 조선통신사에 가는 길 ④  
"300년 전의 여정을 따라 강을 거슬러 오르다."





Part 4

조선통신사선 오사카 입항 의미

10년의 결실로 얻어낸 1,250km 항해의 의미

- ❖ 1763년 제11차 사행 이후 단절, 조선통신사의 뱃길을 261년 만에 재현
- ❖ 12차례 평화외교의 여정 복원, 동아시아 외교사의 상징적 사건으로 평가
- ❖ 조선통신사의 평화외교적 성격을 현대적으로 재해석
- ❖ 한일 양국이 미래 지향적 협력 관계를 모색할 수 있는 토대 마련
- ❖ 일본 세토나해 항해로 전통 선박 구조와 항해술 입증
- ❖ 동아시아 해양 교류 전통의 부활 상징
- ❖ 오사카 국제 박람회, 세계적 행사에 한국 해양유산 국제적 위상 고양, 문화외교적 성과 확대
- ❖ 과거의 평화정신 현대 문화적 메시지로 재해석, 미래 세대 공유 및 역사교육의 장 마련

Part 5

향후 계획

미래, 조선통신사선 역사문화자원 활용 계획

- ❖ '26년 제48차 유네스코 세계유산회의 개최에 맞춘 'K-해양유산, 조선통신사선' 가치 확산
  - (국외) 일본 나가사키 범선대회 참가(4월 말)
  - (국내) 부산 WHC 연계(7월) 환영행사·승선체험·선상전시·선상 문화 공연 등을 통한 K-해양유산 국제 홍보
- ❖ '조선통신사선과 함께하는 해양유산' 체험 프로그램 확대 운영
  - 청소년·일반시민 대상 체험(승선·선상박물관 관람·해양문화 해설 등) 상시화 추진







